

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート
調査結果報告書



平成27年10月

中標津町 総務部 企画課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
(1) 一般町民（20歳以上の町内に居住する男女）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
(1) まちへの愛着度について	5
(2) 今後の定住意向について	7
(3) 住み続けたい主な理由	9
(4) 住みたくない主な理由	10
2 中標津町の取り組みに対する町民の声	11
(1) 中標津町全体について	11
(2) 生活環境について	15
(3) 環境問題への取り組みについて	33
(4) 産業振興について	35
(5) 保健・医療・福祉について	42
(6) 教育・文化・スポーツについて	52
(7) 人権・男女共同参画について	61
(8) 地域間交流について	63
(9) 北方領土問題について	65
3 費用負担について	35
(1) 取り組みに対する費用負担の可否について	66
4 町民活動・協働について	68
(1) 地域活動・ボランティア活動について	68
(2) 参加したい地域活動について	70
5 中標津町役場について	71
(1) 情報共有について	71
(2) 役場の窓口について	73
6 将来人口目標について	75
(1) 目標達成に必要なこと	75
7 行政との関わりについて	77
(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの	77

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見	78
(1) 自由意見の記入状況	78

Ⅳ 設問別記述

1 設問別記述意見（主な意見）	81
-----------------	----

Ⅳ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期中標津町総合発展計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調査対象 : 20歳以上の町内に居住する男女
- ◆ 抽出法 : 無作為抽出(住民基本台帳より抽出)
- ◆ 調査方法 : 郵送法(郵送による配布・回収)
- ◆ 調査時期 : 平成27年5月
- ◆ 調査区域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配布数 : 500票
- ◆ 有効回収数 : 145票
- ◆ 有効回収率 : 29.0%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

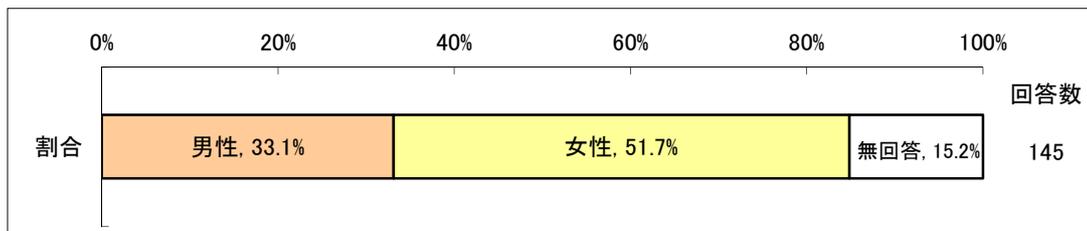
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=000”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）

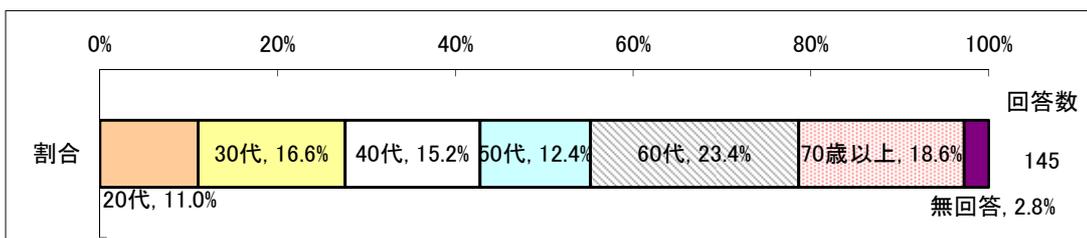
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が48名・33.1%、「女性」が75名・51.7%、「無回答」が22名・15.2%となっています。



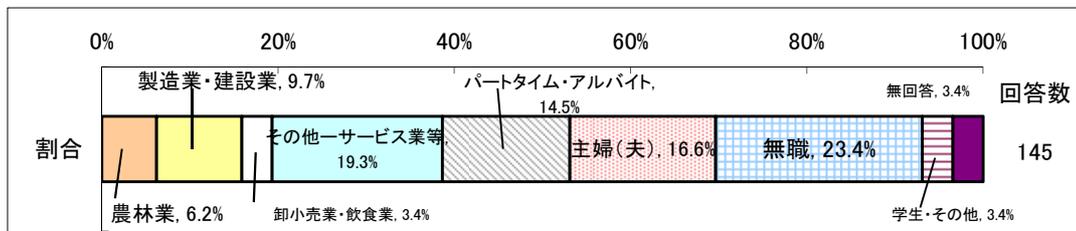
② 年齢

回答者の年齢構成は、「60代」が34名・23.4%で最も多く、次いで「70歳以上」が27名・18.6%、「30代」が24名・16.6%、「40代」が22名・15.2%、「50代」が18名・12.4%、「20代」が16名・11.0%の順となっています。



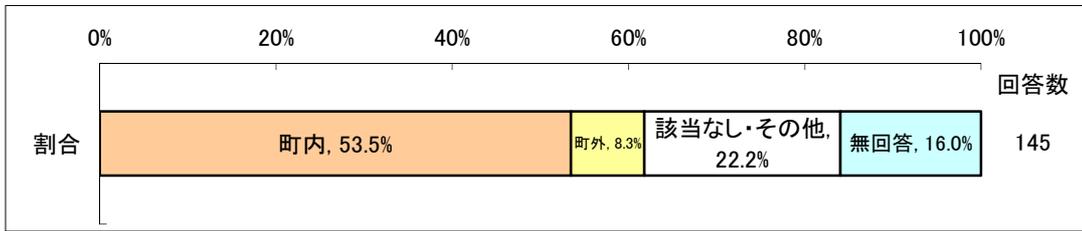
③ 職業

回答者の職業は、「無職」が34名・23.4%で最も多く、次いで「その他サービス業等」が28名・19.3%、「主婦（夫）」が24名・16.6%、「パートタイム・アルバイト」が21名・14.5%、「製造業・建設業」が14名・9.7%、「農林業」が9名・6.2%、「卸小売業・飲食業」が5名・3.4%、「学生・その他」が5名・3.4%の順となっています。



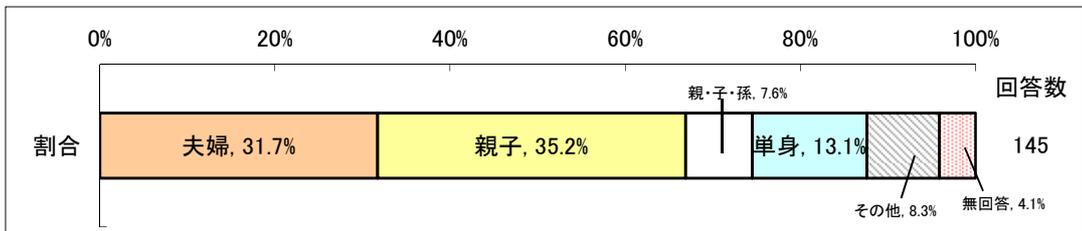
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が77名・53.5%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が32名・22.2%、「町外」が12名・8.3%の順となっています。



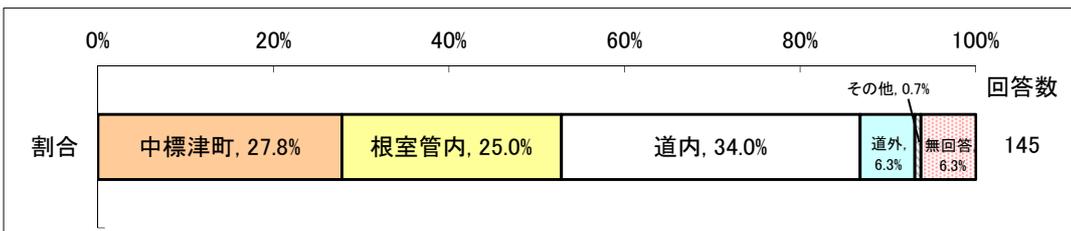
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が51名・35.2%で最も多く、次いで「夫婦」が46名・31.7%、「単身」が19名・13.1%、「その他」12名・8.3%、「親・子・孫」が11名・7.6%の順となっています。



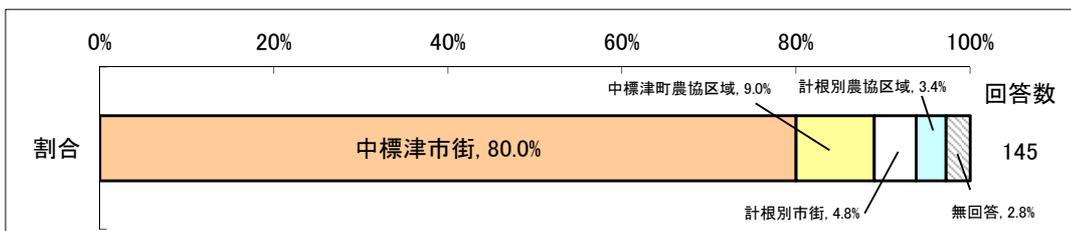
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「道内」が49名・34.0%で最も多く、次いで「中標津町」が40名・27.8%、「根室管内」が36名・25.0%、「道外」が9名・6.3%、「その他」が1名・0.7%の順となっています。



⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津町市街」が116名・80.0%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が13名・9.0%、「計根別市街」が7名・4.8%、「計根別農協区域」が5名・3.4%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が217名・56.2%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が87名・22.5%、「1年以上5年未満」が57名・14.8%、「1年未満」が17名・4.4%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

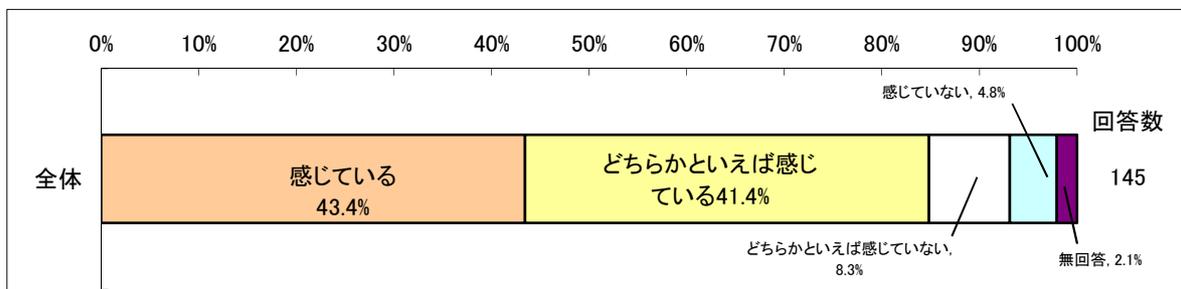
● “愛着を感じている” が84.8%。一方、“愛着を感じていない” は13.1%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が63名・43.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が60名・41.4%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が84.8%となりました。

これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」12名・8.3%及び「感じていない」7名・4.8%の合計）は19名・13.1%と1割程度にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえます。【図表1参照】

図表1 まちへの愛着度について（全体）

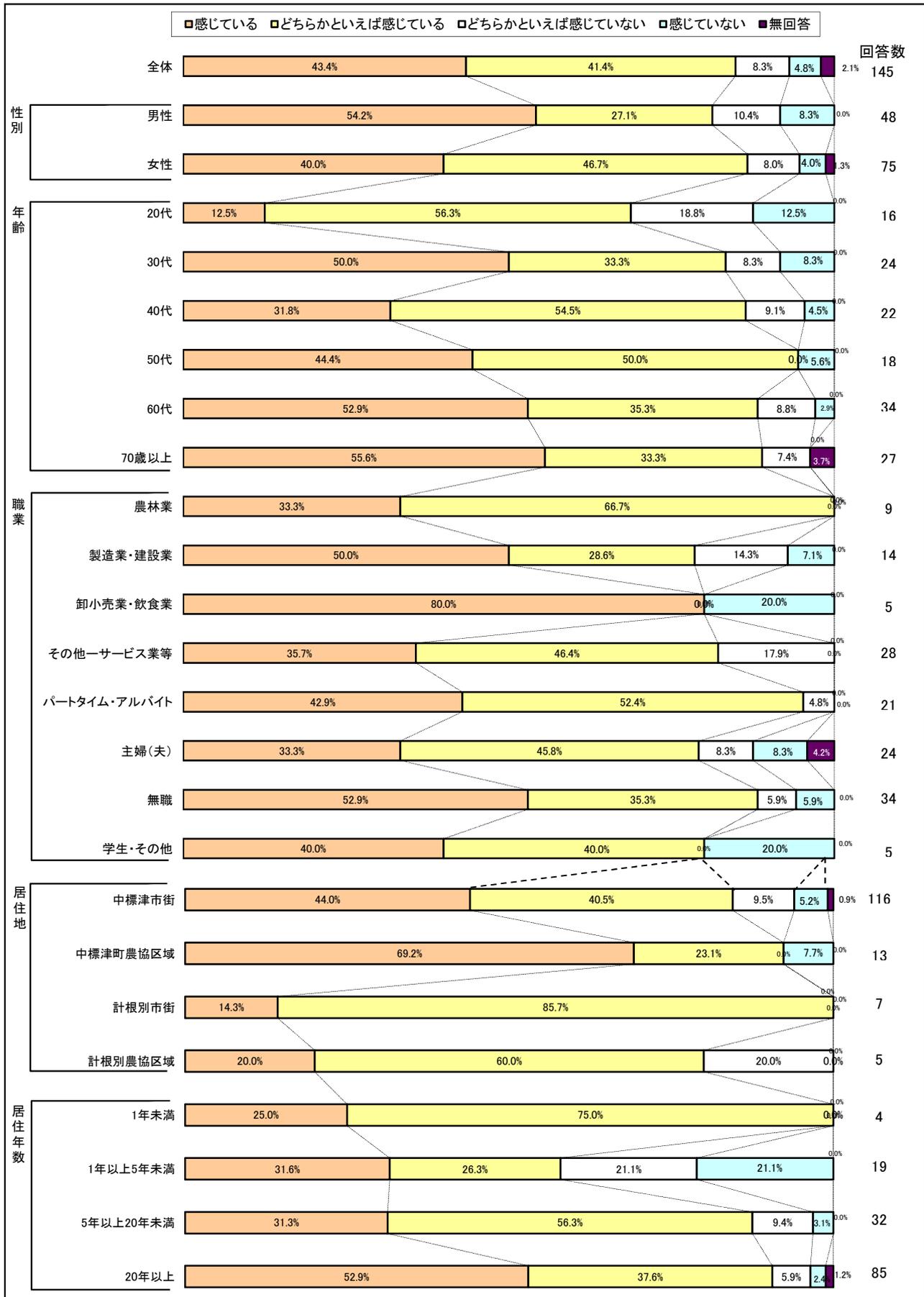


性別で“愛着を感じている”率をみると、女性（86.7%）が男性（81.3%）より5.4ポイント上回り、女性の愛着度が比較的高いことがうかがえます。

年齢別では、概ね加齢とともに愛着度が高くなる傾向がみられ、50歳代では94.4%と9割以上の方が“愛着を感じている”となっています。一方で20代では68.8%の7割以下と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では農林業（100.0%）、居住地では計根別市街（100.0%）、居住年数では1年未満（100.0%）などとなっています。【図表2参照】

図表2 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

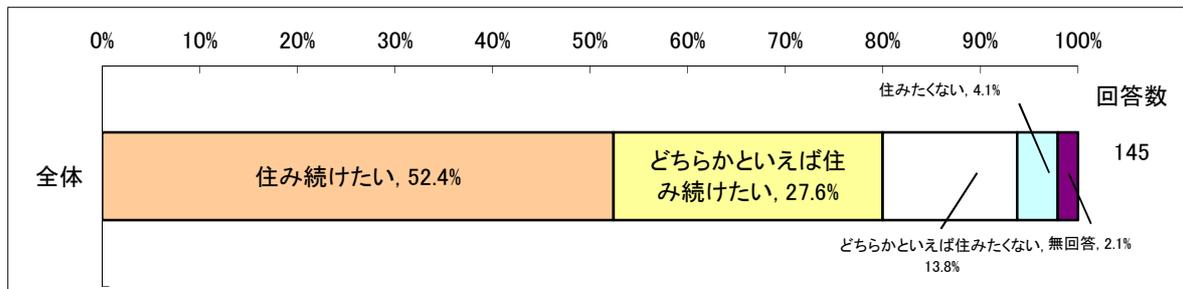
問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

- “住み続けたい” が80.0%、一方、“住みたくない” は17.9%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が76名・52.4%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（40名・27.6%）をあわせた116名・80.0%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」（20名・13.8%）及び「住みたくない」（6名・4.1%）と答えた“住みたくない”という人の合計は26名・17.9%と2割以下にとどまり、定住意向が強い結果となっています。【図表3参照】

図表3 今後の定住意向について（全体）



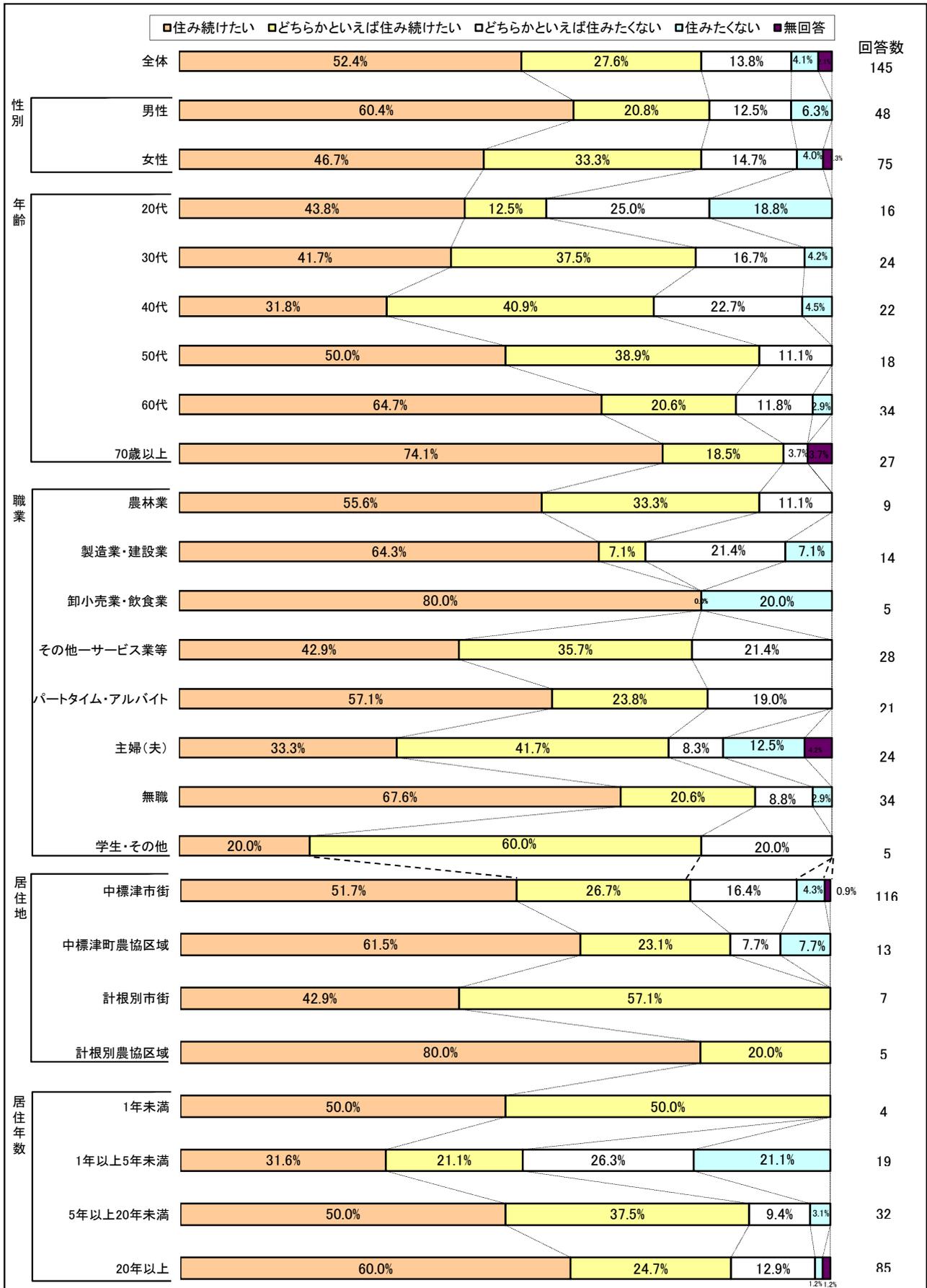
性別で“住み続けたい”率をみると、男性が81.2%、女性が80.0%と1.2ポイント上回っており、男性の方が定住意向が比較的高いことがうかがえます。

年齢別では、概ね加齢とともに定住意向が強くなる傾向がみられ、70歳以上では、“住み続けたい”率が92.6%となっています。

一方で20歳代では、“住み続けたい”率が56.3%と最も低い結果となっています。このため、本町にとって若年層の定住化が重要な課題であることが改めて認識できる結果となっています。

職業別・居住歴別・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では農林業(88.9%)、居住地では計根別市街地及び計根別農協区域(100.0%)、居住年数では1年未満(100.0%)などとなっています。【図表4参照】

図表4 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



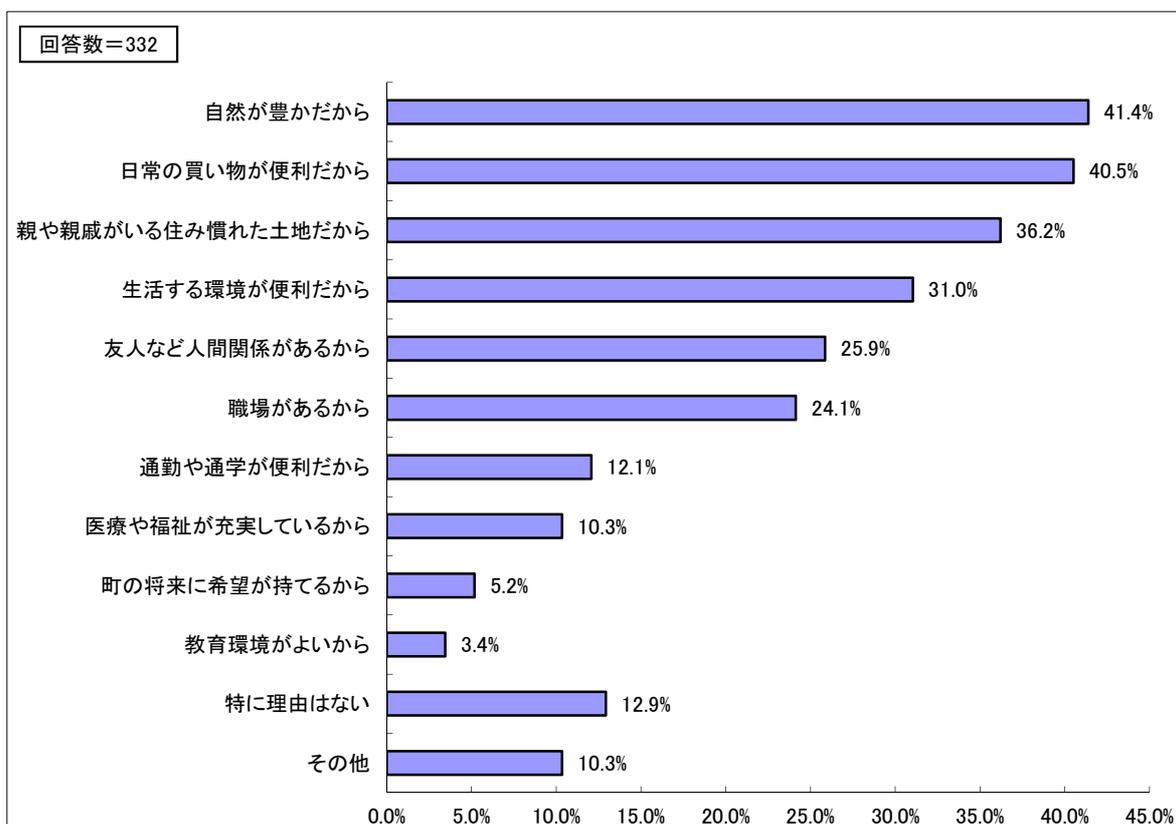
(3) 住み続けたい主な理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

● 「自然が豊かだから」が第1位。次いで日常の買い物が便利だから」、「親や親戚がいる住みなれた土地だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の80.0%・116名)にその理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」が41.4%で第1位に挙げられ、次いで、「日常の買い物が便利だから」(40.5%)が続き、以下、「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(36.2%)、「生活する環境が便利だから」(31.0%)、「友人などの人間関係があるから」(25.9%) (31.3%)などの順となっています。【図表5参照】

図表5 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりとなっています。

家がある
住みやすい
飛行場があり便利
自然災害の危険度が低い
生まれた地

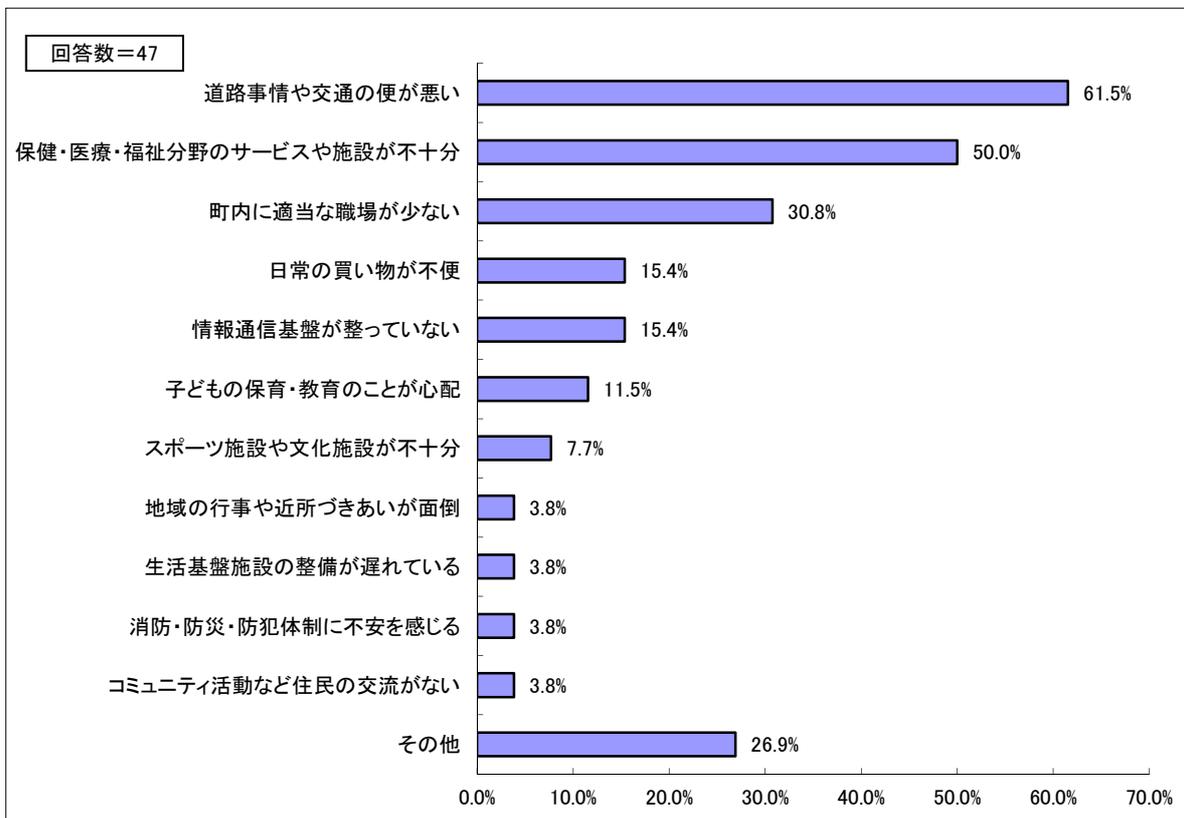
(4) 住みたくない主な理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(①で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

● 「道路事情や交通の便が悪い」が第1位。次いで「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」、「町内に適当な職場が少ない」の順。

問3で“住みたくない”と回答した人(全体の17.9%・26名)にその理由をたずねたところ、「道路事情や交通の便が悪い」(61.5%)が第1位に挙げられ、次いで「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」(50.0%)が続き、次いで「町内に適当な職場が少ない」(30.8%)が続き、以下、「日常の買い物が不便」と「情報通信基盤が整っていない」(同率15.4%)などの順となっています。[図表6参照]

図表6 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりとなっています。

牧草、肥料の臭いがひどく、外に洗濯物干せない
町内バス9便が4便になり町政が赤字はわかる。しかし足が不自由で病院から歩いてくるのが大変だ。
病院に不満
偏った感じ。
行政に不満
冬の天候
実家のある土地に戻りたい
税金、水道代等が高い
除雪が悪い

2 中標津町の取り組みに対する町民の声

(1) 中標津町全体について

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

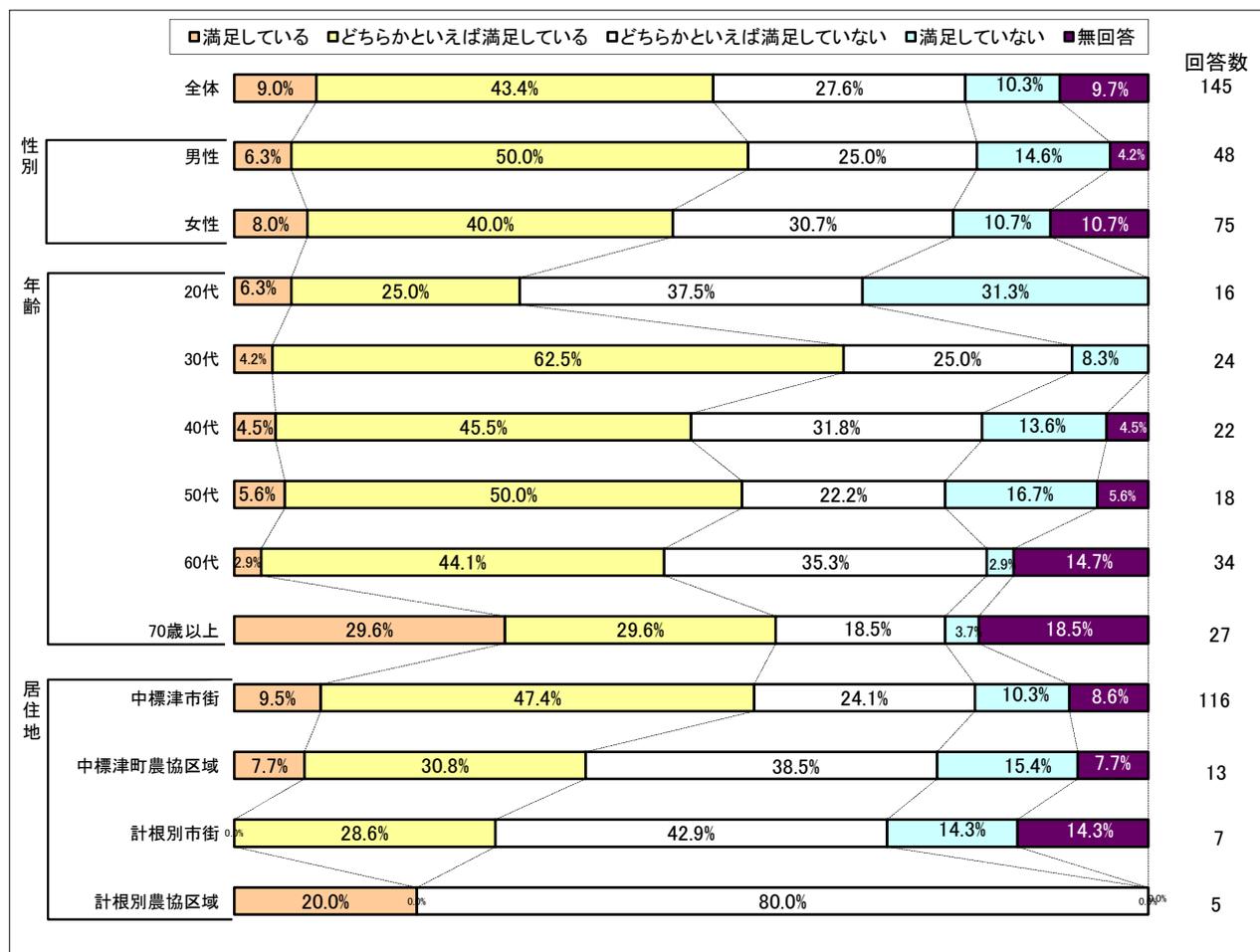
● “満足している” が52.4%、“満足していない” が37.9%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が43.4%、これに「満足している」（9.0%）をあわせた“満足している”という人が52.4%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（27.6%）及び「満足していない」（10.3%）の合計）は37.9%となっており、全体的に満足している町民が過半数を占めています。

年齢別の“満足している”率は、30代が（66.7%）と6割を超えています、20代（31.3%）と3割にとどまっています。【図表7参照】

図表7 町政への関心について（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は81ページに掲載しています。

問5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている” が53.8%、“関心を持っていない” が35.2%。

「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が37.2%で、これに「関心を持っている」(16.6%)をあわせた“関心を持っている”という人が53.8%となりました。

一方、“関心を持っていない”(「どちらかといえば関心を持っていない」(26.9%)及び「関心を持っていない」(8.3%)の合計)は35.2%となり、関心を持っている人が持っていない人を約2割上回る結果となりました。

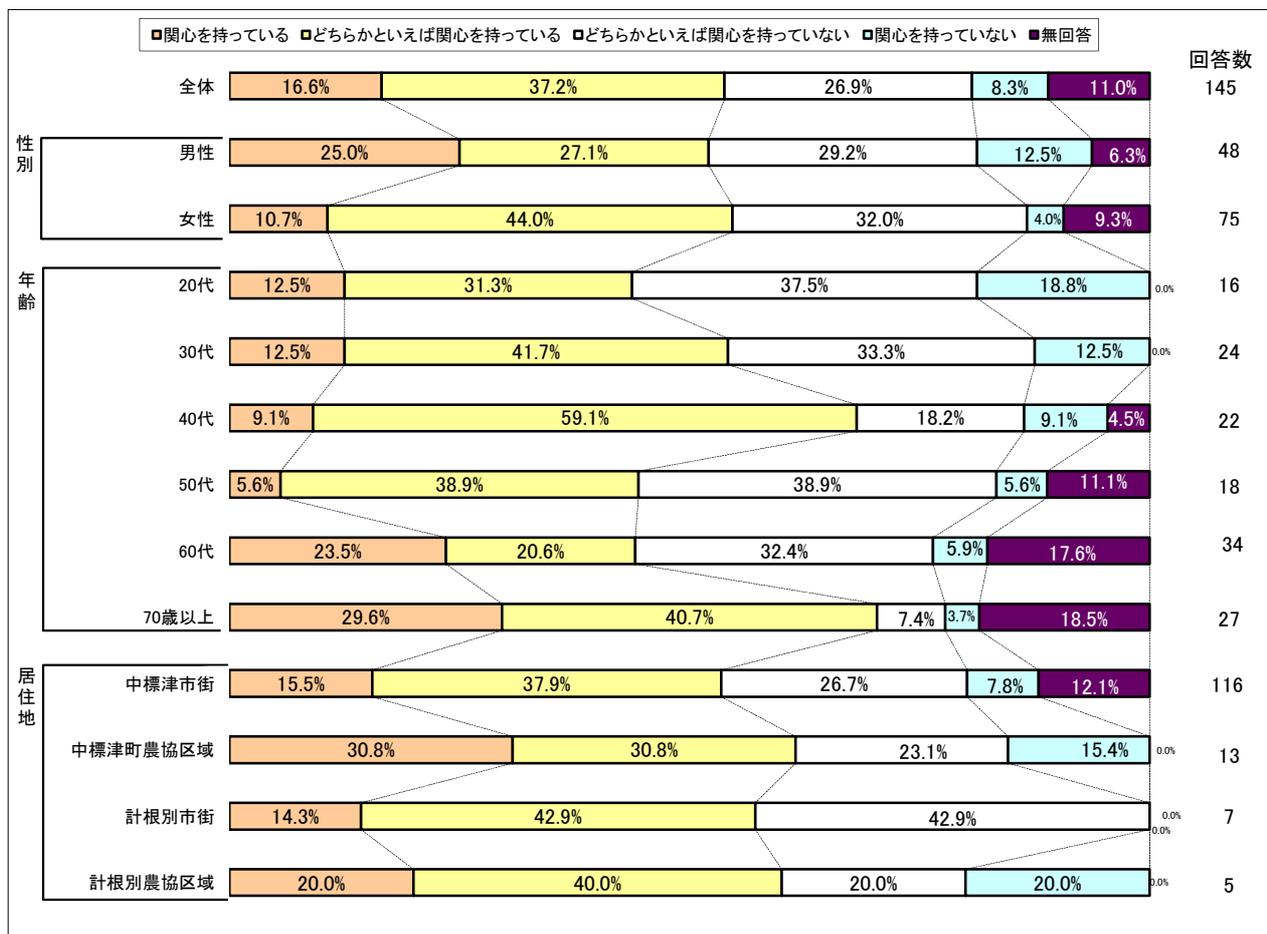
性別でみると、女性(54.7%)が男性(52.1%)より若干関心が高いことがうかがえます。

年齢別でみると、70歳以上が70.3%、40代が68.2%と“関心を持っている”率が高い一方で他の年代では5割前後と低い結果となりました。

居住地別でみると、全て地区において関心がある人の率は約6割となりました。

[図表8参照]

図表8 まちの計画や取り組みへの関心について(全体、性別、年齢、居住地)



問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

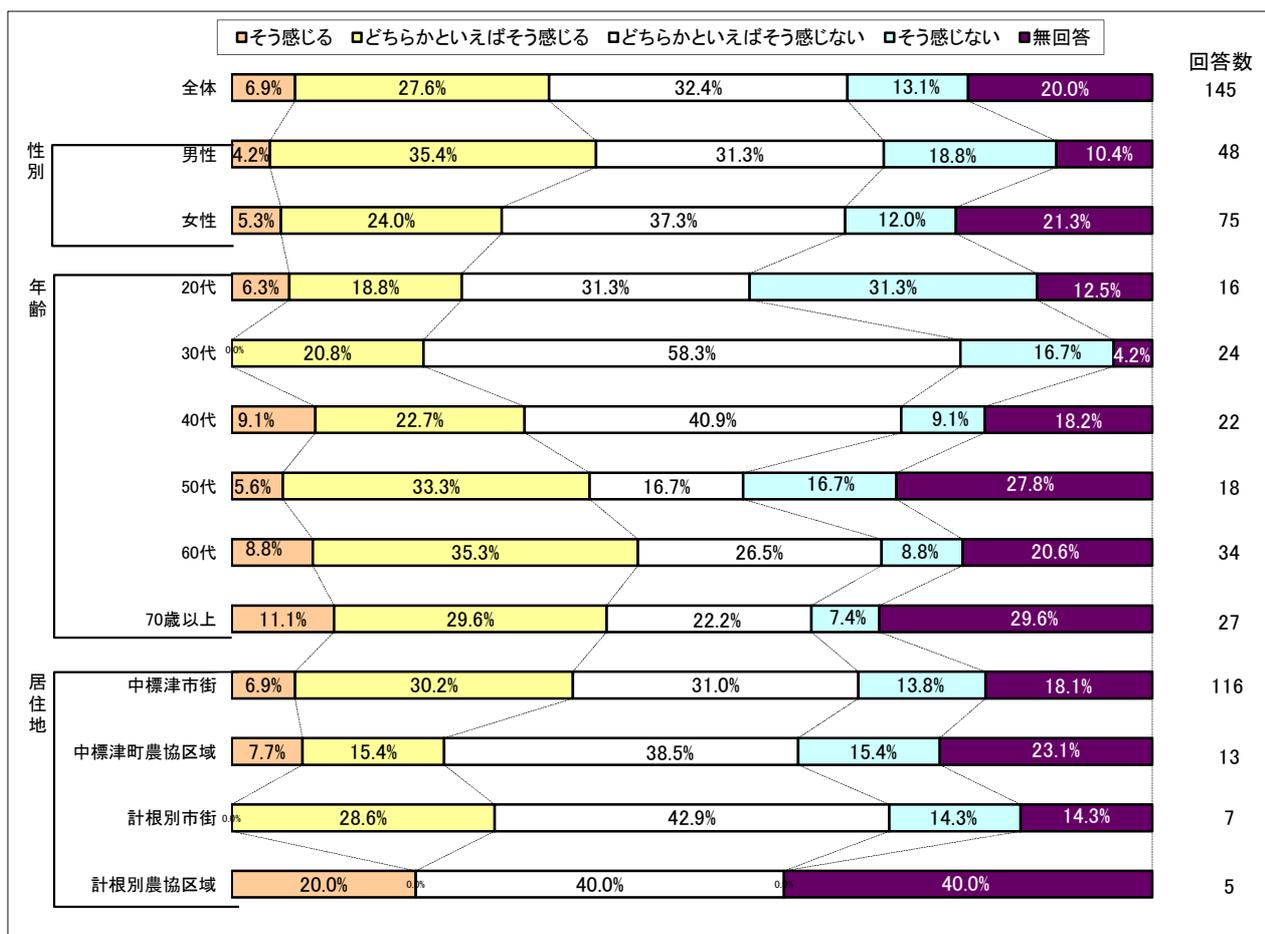
● “そう感じる” が45.4%、“そう感じない” が53.9%。

「そう感じる」(6.9%)と「どちらかといえばそう感じる」(27.6%)をあわせた“そう感じる”が34.5%、一方“そう感じない”(「どちらかといえばそう感じない」(32.4%)と「そう感じない」(13.1%)の合計)が45.5%となり、町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる人が、そう感じない人を下回っています。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“そう感じる”率が高くなり、60代では44.1%の人が“そう感じる”と回答しています。

居住地別でみると、中標津市街の37.1%と高くなっていますが、計根別農協区域では20.0%と低くなっています。 [図表9参照]

図表9 町民と行政が協力してまちづくりを行っているか(全体、性別、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は81ページに掲載しています。

問7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

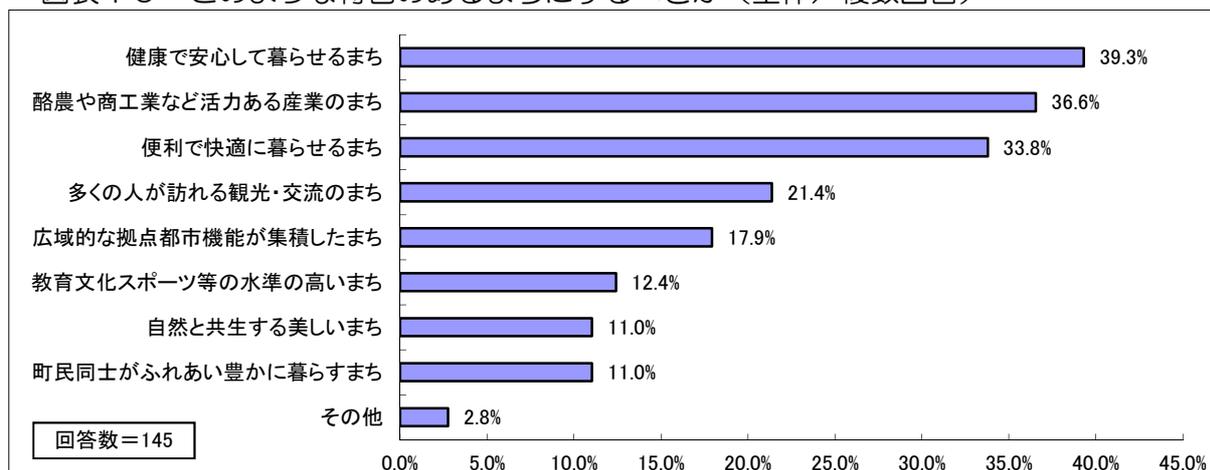
●「健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「酪農や商工業など活力あふれる産業のまち」、「便利で快適に暮らせるまち」の順。

今後のまちづくりにおいて、どのような特色のあるまちにするべきかたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」（39.3%）が第1位にあげられ、次いで「酪農や商工業など活力ある産業のまち」（36.6%）、「便利で快適に暮らせるまち」（33.8%）、「多くの人を訪れる観光・交流のまち」（21.4%）、「広域的な拠点都市機能が集積したまち」（17.9%）の順となりました。

年齢別の第1位は、20代・40代が「便利で快適に暮らせるまち」、30代・50代が「酪農や商工業など活力ある産業のまち」、60代・70歳以上が「健康で安心して暮らせるまち」となっています。

また、居住地別では、中標津市街地は「健康で安心して暮らせるまち」、他の地域では「酪農や商工業など活力ある産業のまち」が第1位となっています。[図表10～11参照]

図表10 どのような特色のあるまちにするべきか（全体／複数回答）



図表11 どのような特色のあるまちにするべきか（年齢、居住地／複数回答（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		特色	割合	割合	特色	割合	割合	特色	割合	割合
年 齢	20代	便利で快適に暮らせるまち	43.8	酪農や商工業など活力のある産業のまち	37.5	広域的な拠点都市機能が集積したまち	31.3			
	30代	酪農や商工業など活力のある産業のまち	37.5	便利で快適に暮らせるまち	37.5	健康で安心して暮らせるまち	29.2			
	40代	便利で快適に暮らせるまち	54.5	健康で安心して暮らせるまち	50	酪農や商工業など活力のある産業のまち	22.7			
	50代	酪農や商工業など活力のある産業のまち	33.3	同率複数のため省略	-	同率複数のため省略	-			
	60代	健康で安心して暮らせるまち	47.1	酪農や商工業など活力のある産業のまち	38.2	多くの人を訪れる観光・交流のまち	26.5			
	70歳以上	健康で安心して暮らせるまち	55.6	酪農や商工業など活力のある産業のまち	44.4	同率複数のため省略	-			
	居住地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち	42.2	便利で快適に暮らせるまち	37.9	酪農や商工業など活力のある産業のまち	28.4		
中標津町農協区域		酪農や商工業など活力のある産業のまち	76.9	多くの人を訪れる観光・交流のまち	38.5	広域的な拠点都市機能が集積したまち	30.8			
計根別市街		酪農や商工業など活力のある産業のまち	57.1	健康で安心して暮らせるまち	28.6	多くの人を訪れる観光・交流のまち (同率2位)	28.6			
計根別農協区域		酪農や商工業など活力のある産業のまち	80.0	健康で安心して暮らせるまち	60	同率複数のため省略	-			

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

医療に心配なく暮らしたい。

年寄りが多くなってきてますので、福祉施設を充実してほしい。

管外や道外から人が集まる町

(2) 生活環境について

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が57.9%、 “そう感じない” が35.1%。

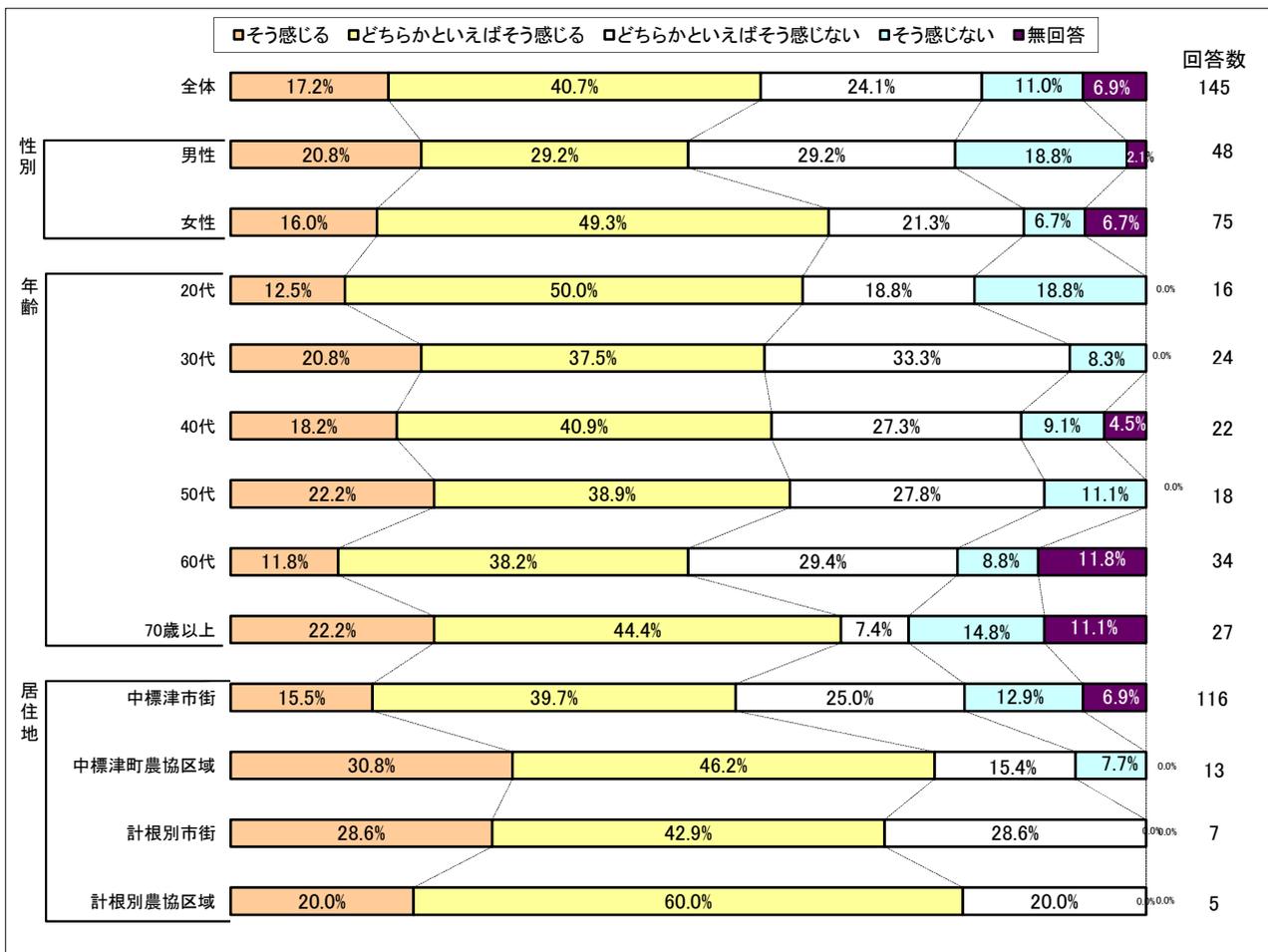
中心市街地の利便性について、たずねたところ、「そう感じる」が17.2%、これに「どちらかといえばそう感じる」40.7%を合わせた57.9%の人が中心市街地は利用しやすいと感じています。

一方、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」24.1%、「そう感じない」11.0%の合計）は35.1%となっており、全体的には中心市街地は便利で利用しやすいと感じている町民が半数以上を占めています。

性別の“中心市街地は便利で利用しやすいと感じている”人の割合は男性が（50.0%）、女性が（65.3%）と女性が15.3ポイント上回っています。

年齢別の割合は60代が50.0%と低ですが、他の年代では60%前後と半数以上の方が「中心市街地は便利で利用しやすいと感じています」。

図表12 中心市街地は便利で利用しやすいか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は82ページに掲載しています。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

● “そう感じる” が54.4%、“そう感じない” が37.2%。

道路や河川などが適切に維持管理されているかについてたずねたところ、「どちらといえばそう感じる」（43.4%）、これに「そう感じる」（11.0%）を合わせた54.4%の人が“適切に維持管理されている”と感じられています。

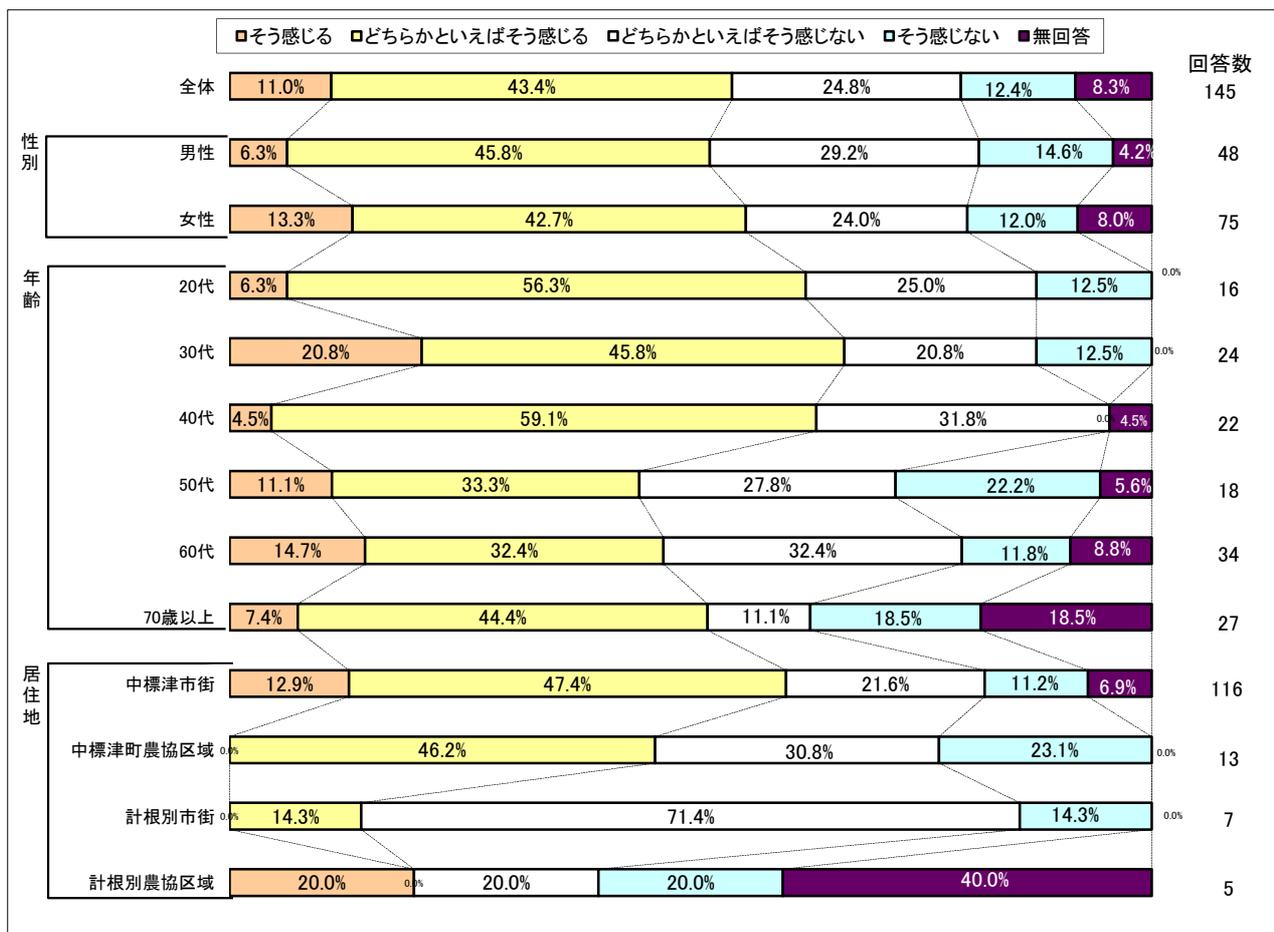
一方、“感じない”（「どちらといえばそう感じない」（24.8%）、「そう感じない」（12.4%）の合計）は37.2%と4割弱となっています。

性別で“道路や河川などが適切に維持管理されていると感じる人”の割合は男性が52.1%、女性が56.0%と女性が3.9ポイント上回っています。

年齢別の“道路や河川などが適切に維持管理されていると感じる”人の割合は30代が66.6%と高い一方50代では44.4%と低くなっています。

居住地別で“道路や河川などが適切に維持管理されていると感じる”人の割合は中標津市街地が60.3%となっていますが、計根別市街地は14.3%と低くなっています。[図表13参照]

図表13 道路や河川などが適切に維持管理されていると感じるか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は82ページに掲載しています。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

● “満足している” が73.8%、“満足していない” が16.5%。

「まちの緑」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(44.1%)と、これに「満足している」(29.7%)をあわせた“満足している”という人が73.8%となっています。

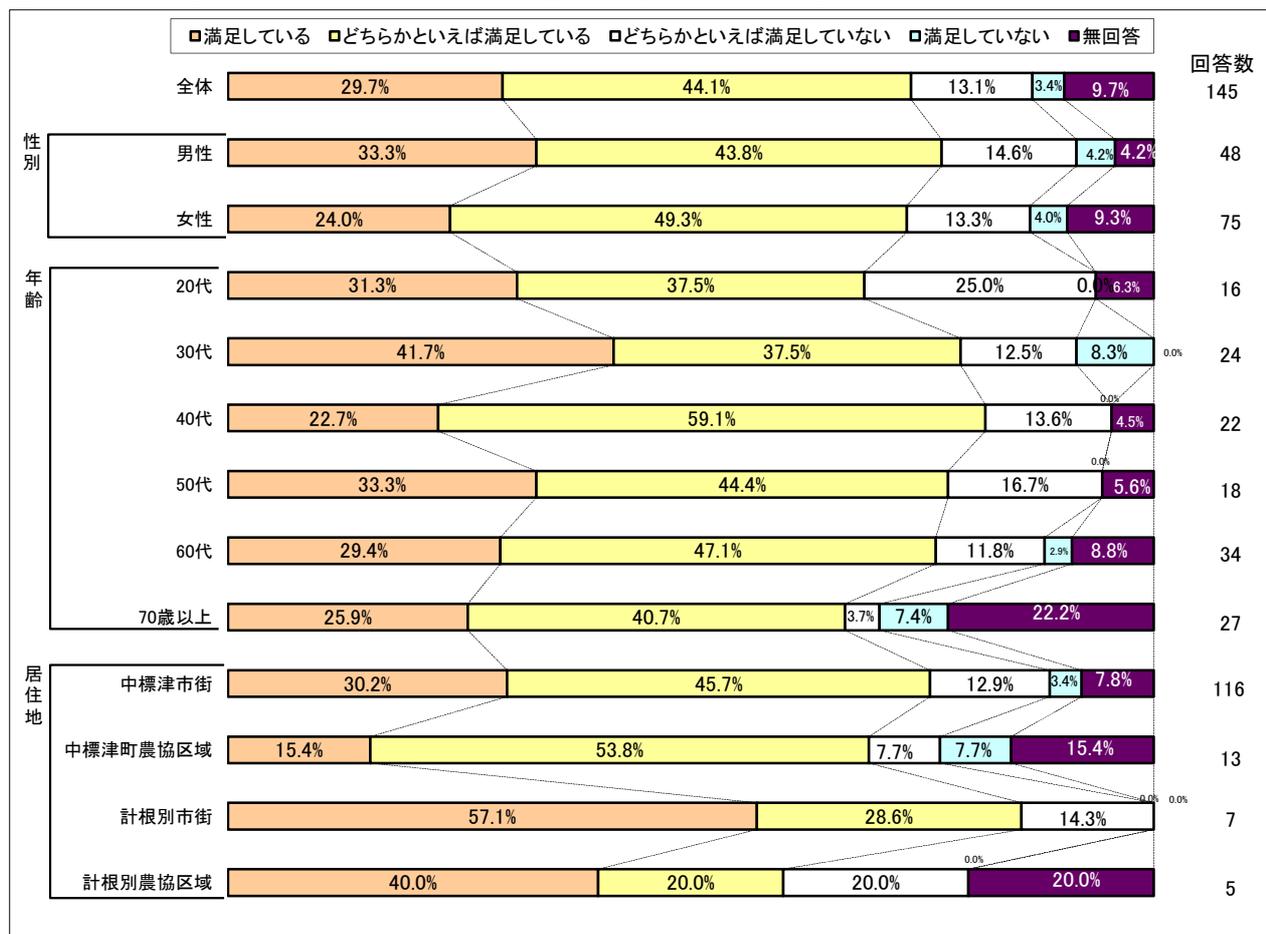
一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(13.1%)「満足していない」(3.4%)の合計）は16.5%となっています。

性別で“満足している”人は男性(77.1%)、女性(73%)と男性が3.8ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は、40代(81.8%)が高く、一方70歳以上(66.6%)と低くなっています。

居住地別で“満足している”人の割合は計根別市街地が85.7%と高くなっていますが、計根別農協区域では60.0%となっています。[図表14参照]

図表14 「まちの緑」に満足してるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は83ページに掲載しています。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。

● “そう感じる” が26.2%、 “そう感じない” が62.8%。

公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」が18.6%、これに「そう感じる」の7.6%を合わせた26.2%の人が“便利に暮らせる”と感じられています。

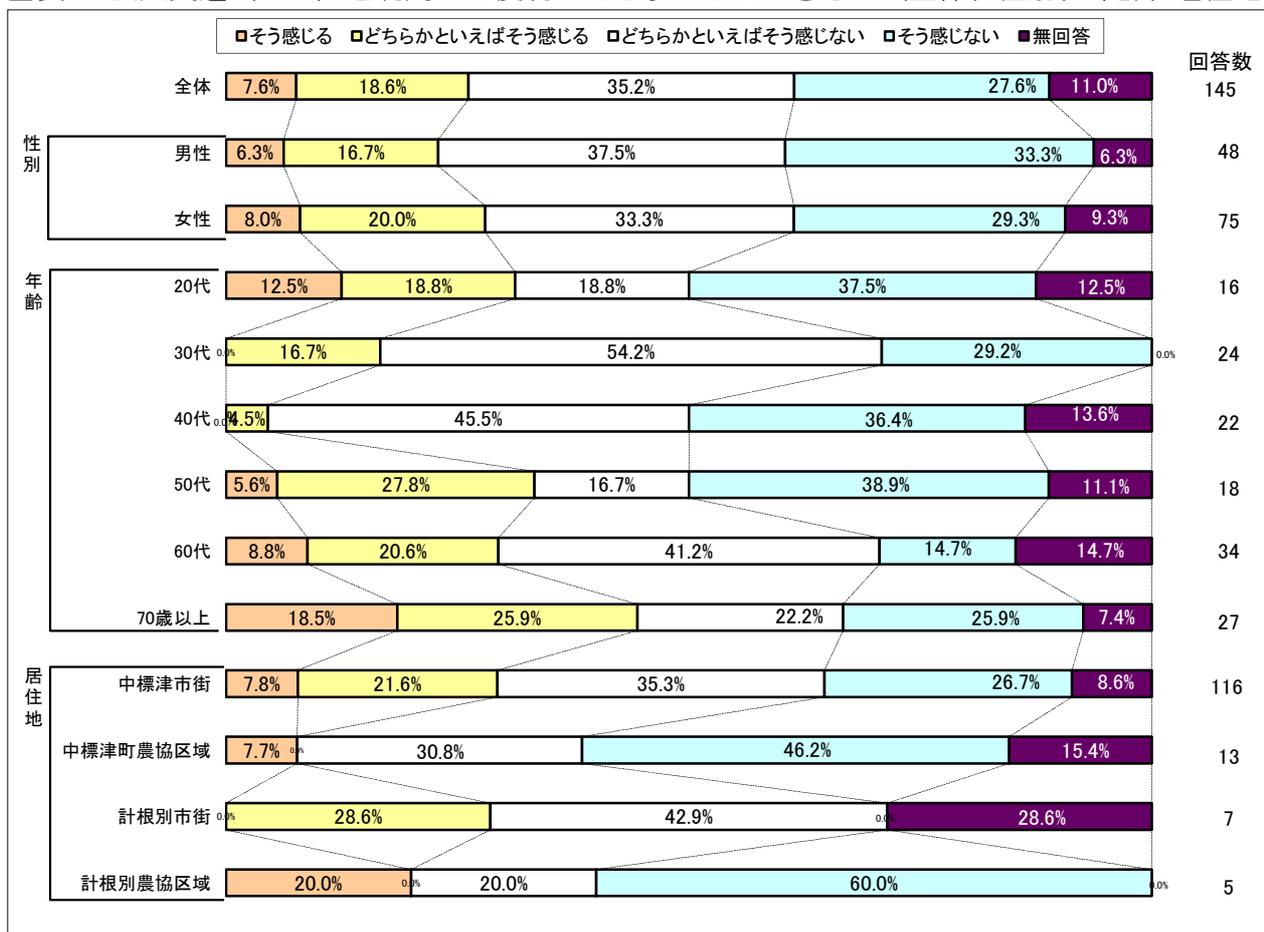
一方、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(35.2%)「そう感じない」(27.6%)の合計）は62.8%となっています。

性別で“公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じている”人の割合では男性が23.0%、女性が28.0%と女性が5ポイント上回っています。

年齢別の“公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じている”人の割合は70歳以上が44.4%となっていますが40代では4.5%と低くなっています。

居住地別で“公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じている”人の割合は中標津市街は29.4%となっていますが中標津町農協区域では7.7%と低くなっています。
[図表15照]

図表15公共交通（バス）を利用して便利にくらすことができるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は83ページに掲載しています。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している” が64.2%、 “満足していない” が27.6%。

「中標津空港の利便性」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(41.4%)これに「満足している」(22.8%)をあわせた“満足している”という人が64.2%となっています。

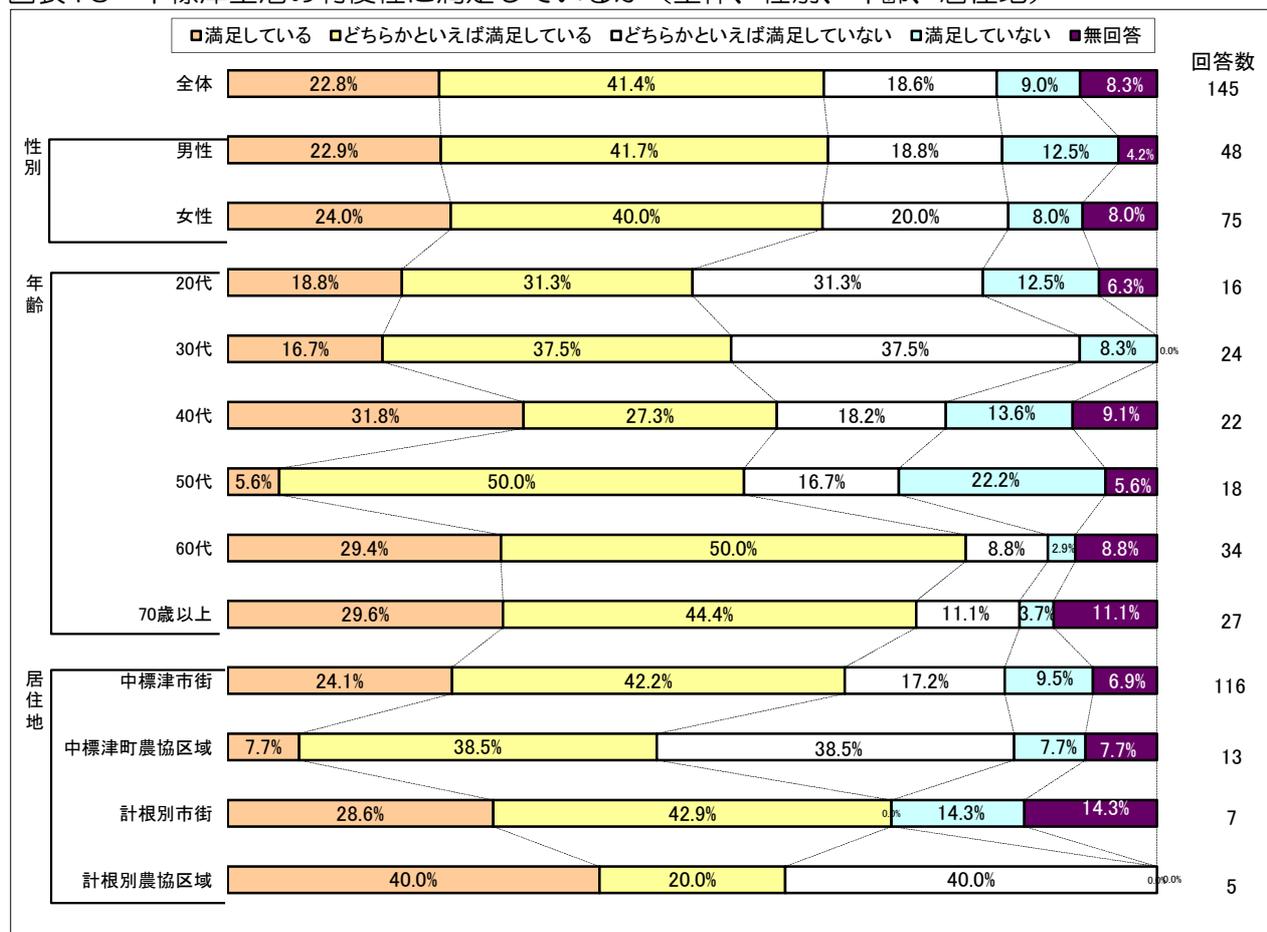
一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（18.6%）「満足していない」（9.0%）の合計）は27.6%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性(64.6%)、女性（64.0%）となり、ほぼ同率となっています。

年齢別の“満足している”人の割合は、60代（79.4%）が高くなっていますが、20代は（50.1%）と低くなっています。

居住地別で“満足している”人の割合では計根別市街が71.5%と高くなっていますが、中標津町農協区域では46.2%と低くなっています。[図表16参照]

図表16 中標津空港の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は84ページに掲載しています。

問13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】



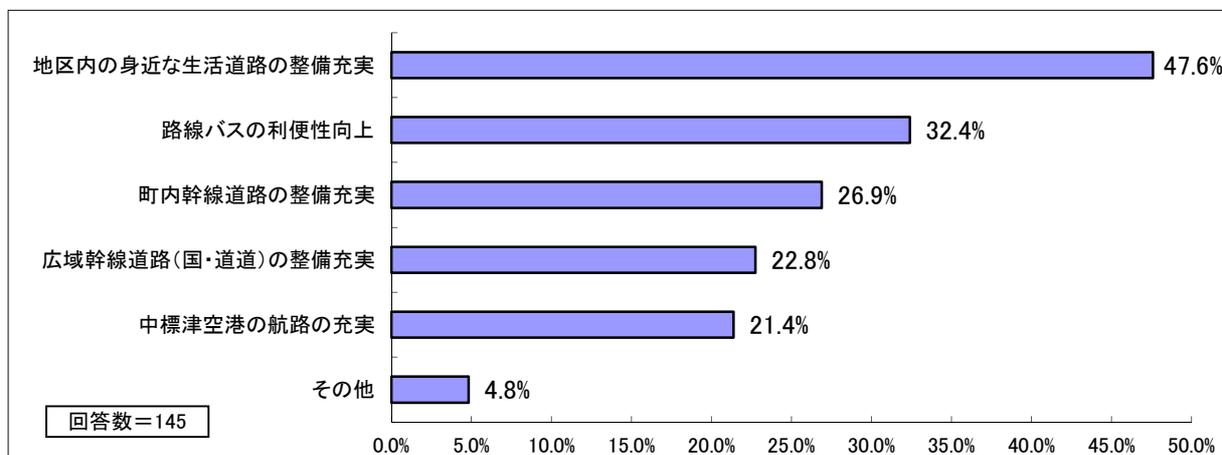
●「地区内の身近な生活道路の整備充実」が第1位。次いで「路線バスの利便性向上」、
「町内幹線道路の整備充実」の順。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「地区内の身近な生活道路の整備充実」（47.6%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「路線バスの利便性の向上」（32.4%）、「町内幹線道路の整備充実」（26.9%）、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」（22.8%）などの順となっています。

これを年齢別、居住地別でも、ほとんどの層で「地区内の身近な生活道路の整備充実」が第1位となっていますが、年齢別の20代では「広域幹線道路(国・道道)の整備充実」(50.0%)、70歳以上では「路線バスの利便性向上」（55.6%）が第1位となっています。

[図表17~18参照]

図表17今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



図表18今後必要な道路交通手段について（年齢、居住地／複数回答）

(上位3位 %)

年 齢	項目	順位		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 50.0	町内幹線道路の整備充実 (同率1位) 50.0	同率複数のため省略 -
	30代	地区内の身近な生活道路の整備充実 58.3	町内幹線道路の整備充実 41.7	中標津空港の航路の充実 33.3
	40代	地区内の身近な生活道路の整備充実 45.5	路線バスの利便性向上 27.3	中標津空港の航路の充実 (同率2位) 27.3
年 齢	50代	地区内の身近な生活道路の整備充実 38.9	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 33.3	同率複数のため省略 -
	60代	地区内の身近な生活道路の整備充実 61.8	路線バスの利便性向上 44.1	町内幹線道路の整備充実 26.5
	70歳以上	路線バスの利便性向上 55.6	地区内の身近な生活道路の整備充実 44.4	同率複数のため省略 -
居住地	中標津市街	地区内の身近な生活道路の整備充実 51.7	路線バスの利便性向上 32.8	町内幹線道路の整備充実 25.0
	中標津町農協区域	広域幹線道路(国・道道)の整備充実 53.8	路線バスの利便性向上 46.2	町内幹線道路の整備充実 38.5
	計根別市街	中標津空港の航路の充実 57.1	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	地区内の身近な生活道路の整備充実 60.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

中標津町のコミュニティバス。
大型バスではなく小型の車で回数を増やす
鉄道の復活を（第3セクターでも良し）
高速道があれば

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

● “そう感じる” が90.3%、“そう感じない” が5.5%。

安定して水道水が利用できていると感じるかについてたずねたところ、「そう感じる」(71.0%)に「どちらかといえばそう感じる」(19.3%)を合わせた90.3%の人が“安定して利用できている”と感じられています。

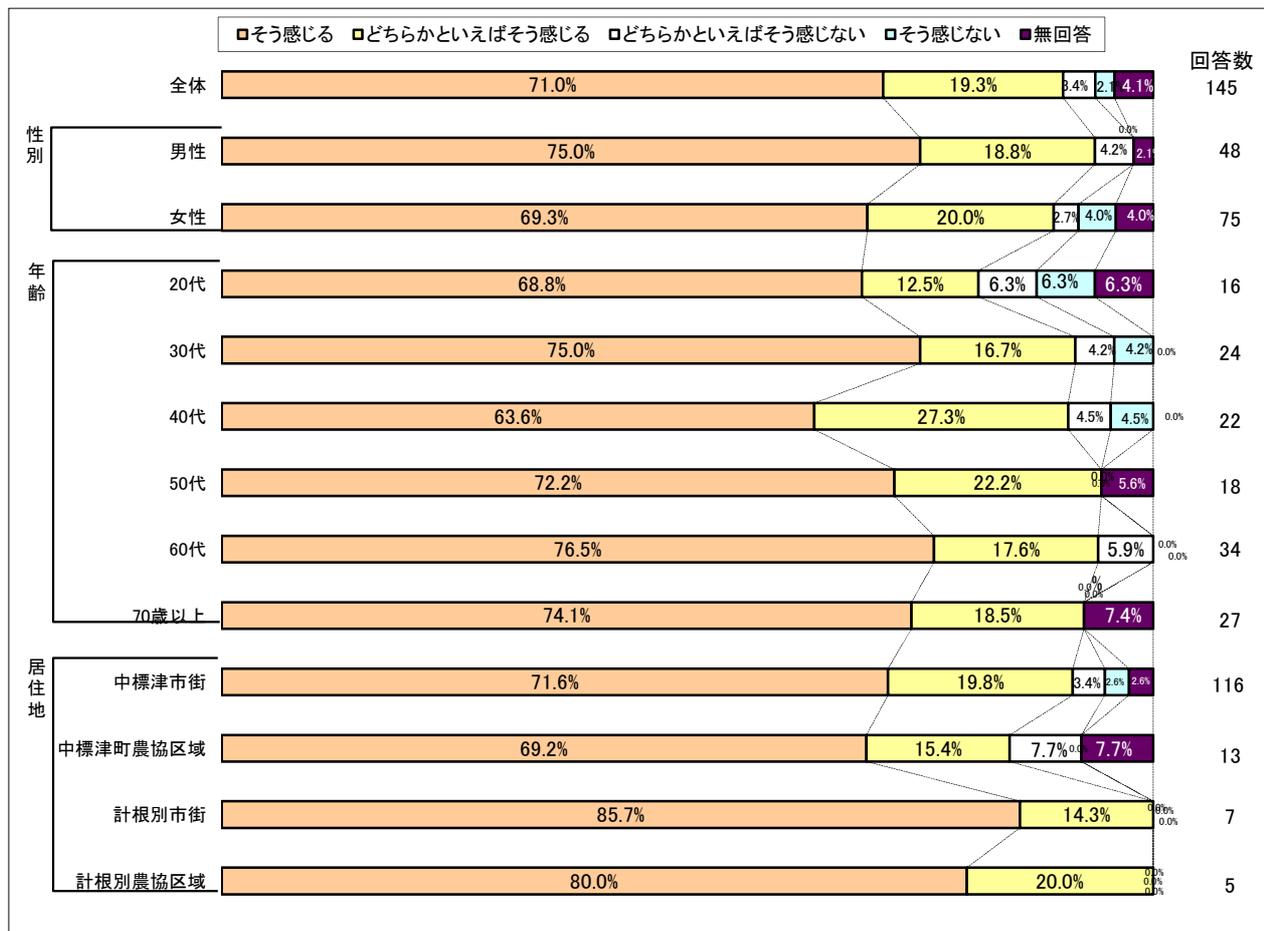
一方、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(3.4%)「そう感じない」(2.1%)の合計）は5.5%となっています。

性別で“安定して水道水が利用できていると感じている”人の割合は男性が93.8%、女性が89.3%と男性が4.5ポイント上回っています。

年齢別の“安定して水道水が利用できていると感じている”人の割合は50代が94.4%となっていますが20代では81.3%と低くなっています。

居住地別で“安定して水道水が利用できていると感じている”人の割合は計根別市街と計根別農協区域では100%ですが、中標津町農協区域は84.6%と低くなっています。[図表19参照]

図表19安心して水道水が利用できているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は84ページに掲載しています。

問15 墓地の施設に満足していますか。

● “満足している” が58.7%、“満足していない” が17.9%。

「墓地の施設」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(29.7%)、これに「満足している」(29.0%)をあわせた“満足している”という人が58.7%となっています。

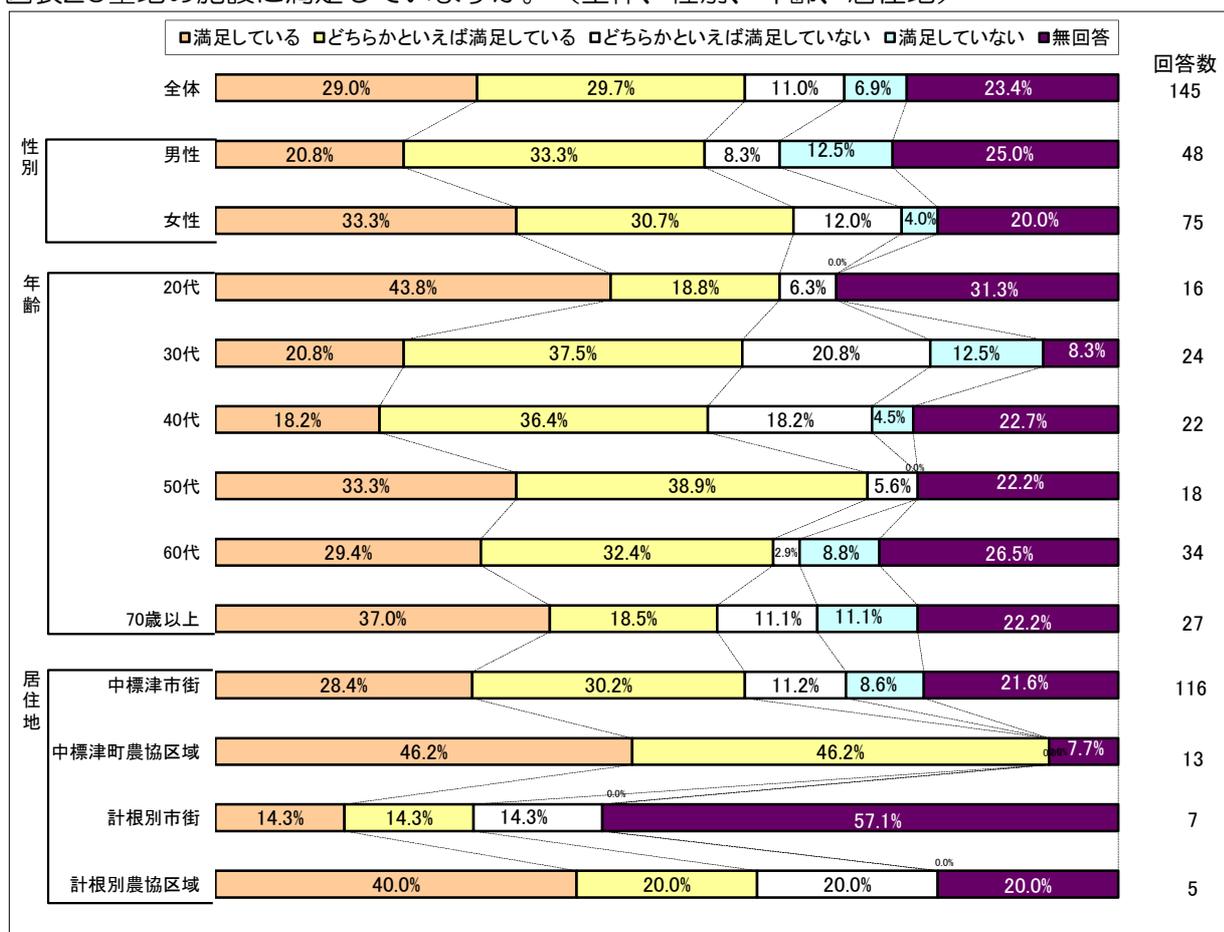
一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（11.0%）「満足していない」（6.9%）の合計）は17.9%となっています。

性別で“満足している”人は男性(54.1%)、女性（64.0%）と女性が9.9ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人は、50代（72.2%）が高く、一方40代は（54.6%）と低くなっています。

居住地別で“満足している”人は中標津町農協区域が92.4%と高くなっていますが、計根別市街では28.6%と低くなっています。[図表20参照]

図表20墓地の施設に満足していますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は84ページに掲載しています。

問16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
【複数回答】

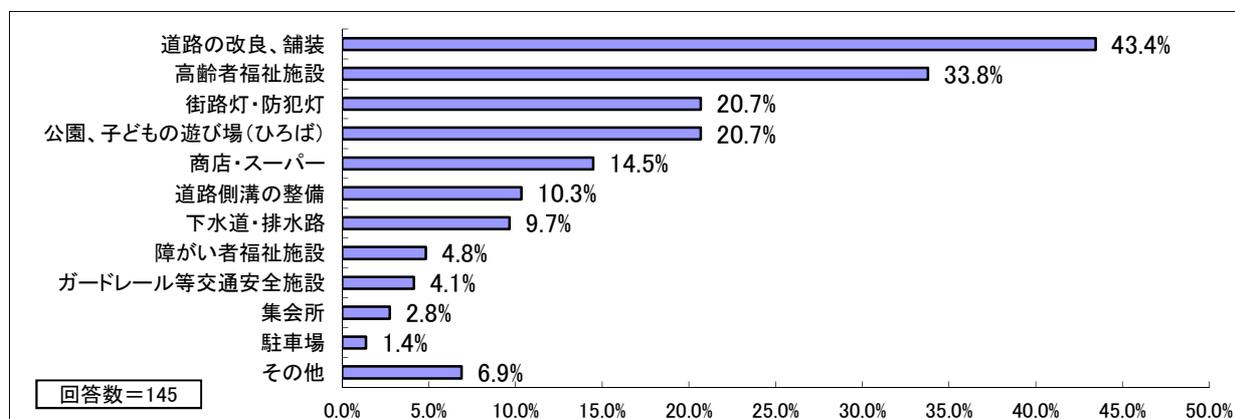
●「道路の改良、舗装」が第1位。次いで「高齢者福祉施設」、「街路灯・防犯灯」の順。

今後必要な施設整備についてたずねたところ、「道路の改良、舗装」（43.4%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「高齢者福祉施設」（33.8%）、「街路灯・防犯灯」及び「公園、子どもの遊び場（ひろば）」がともに20.7%で続き、以下「商店・スーパー」（14.5%）、「道路側溝の整備」（10.3%）、「下水道・排水路」（9.7%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、30代が「街路灯・防犯灯」、70歳以上が「高齢者福祉施設」となっていますが、他の年齢層では「道路の改良、舗装」となっています。

また、居住地別の第1位は、計根別市街地が「高齢者福祉施設」となっていますが、他の地域では「道路の改良、舗装」となっています。[図表21～22参照]

図表21 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表22 後必要な施設整備について（年齢、居住地／複数回答）

(上位3位 %)

年	年齢	順位		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	道路の改良、舗装 56.3	公園、子どもの遊び場 37.5	商店・スーパー 31.3
	30代	街路灯・防犯灯 41.7	公園、子どもの遊び場 37.5	道路の改良、舗装 33.3
	40代	道路の改良、舗装 40.9	高齢者福祉施設 36.4	街路灯・防犯灯 22.7
	50代	道路の改良、舗装 50.0	高齢者福祉施設 44.4	公園、子どもの遊び場 27.8
	60代	道路の改良、舗装 47.1	高齢者福祉施設 41.2	街路灯・防犯灯 26.5
	70歳以上	高齢者福祉施設 55.6	道路の改良、舗装 40.7	同率複数のため省略 -
居住地	中標津市街	道路の改良、舗装 41.4	高齢者福祉施設 32.8	街路灯・防犯灯 24.1
	中標津町農協区域	道路の改良、舗装 84.6	高齢者福祉施設 38.5	下水道・排水路 30.8
	計根別市街	高齢者福祉施設 57.1	商店・スーパー (同率1位) 57.1	公園、子どもの遊び場 42.9
	計根別農協区域	道路の改良、舗装 40.0	高齢者福祉施設 (同率1位) 40.0	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

高齢者、母子家庭に体調悪くなったり、災害等に対応できる救急医療キットの導入
観光客をよぶ事を考えてほしい
病院
娯楽施設
未舗装の場所をなくす
複合アミューズメント施設
ひきこもり！？特に障がいもないのに働かない？働く勇気のない20歳過ぎた人達の、働ける支援と働ける場所づくり（職業訓練所みたいな所があれば）
野球スタジアム

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

● “そう感じる” が63.5%、 “そう感じない” が30.7%。

お住まいの地域は、良好なまちなみ（住環境）であると感じるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（27.6%）に「そう感じる」（35.9%）を合わせた63.5%の人が「良好なまちなみである」と感じられています。

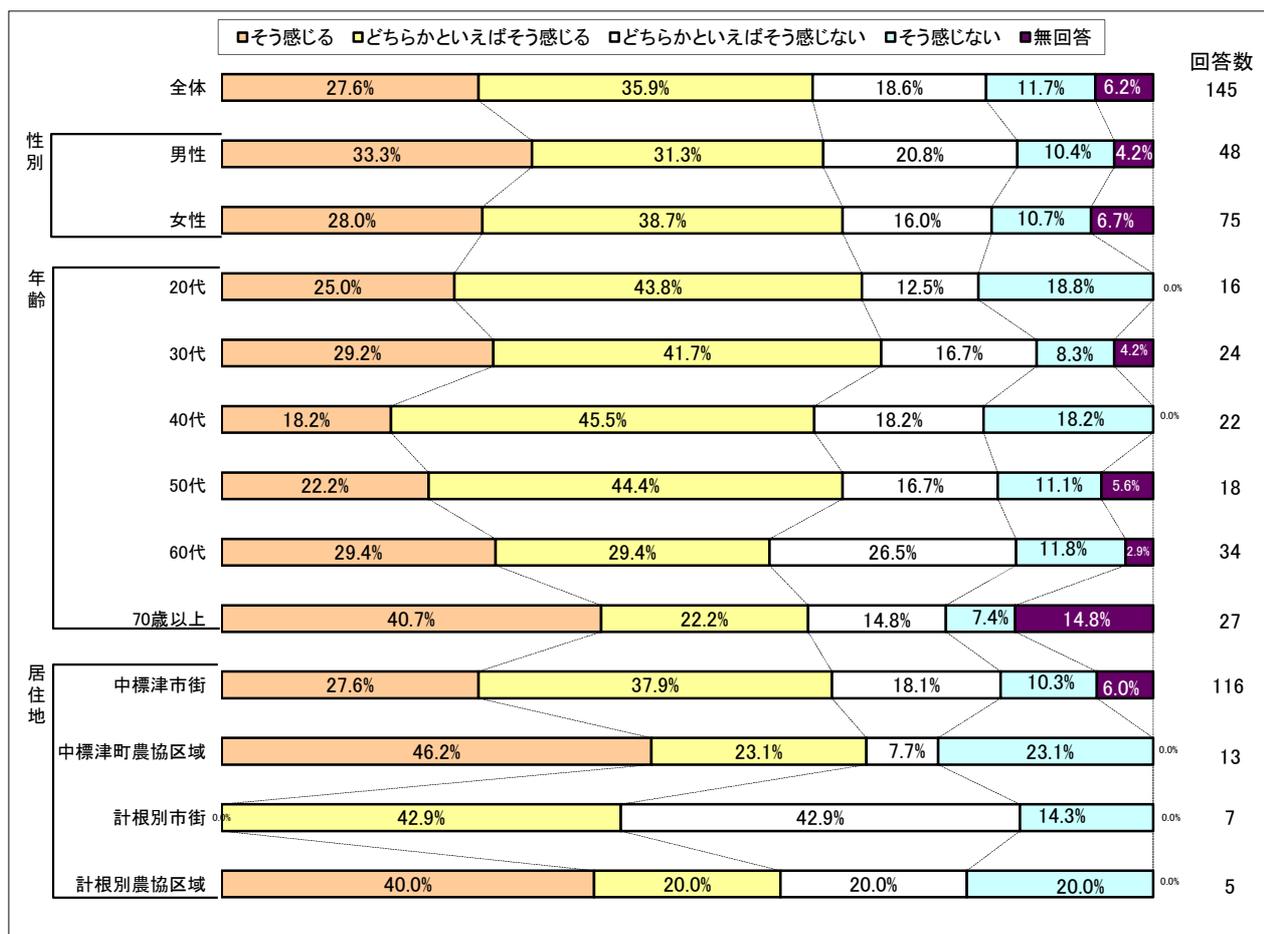
一方、“感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（18.6%）「そう感じない」（11.7%）の合計）は30.7%となっています。

性別で“良好なまちなみであると感じている”人の割合は男性が64.6%、女性が66.7%と女性が2.1ポイント上回っています。

年齢別の“良好なまちなみであると感じている”人の割合は30代が70.9%と高くなっていますが60代では58.8%と低くなっています。

居住地別で“良好なまちなみであると感じている”人の割合は中標津町農協区域が69.3%となっていますが、計根別市街は42.9%と低くなっています。[図表23参照]

図表23 お住まいの地域は良好なまちなみと感じますか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は85ページに掲載しています。

問18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

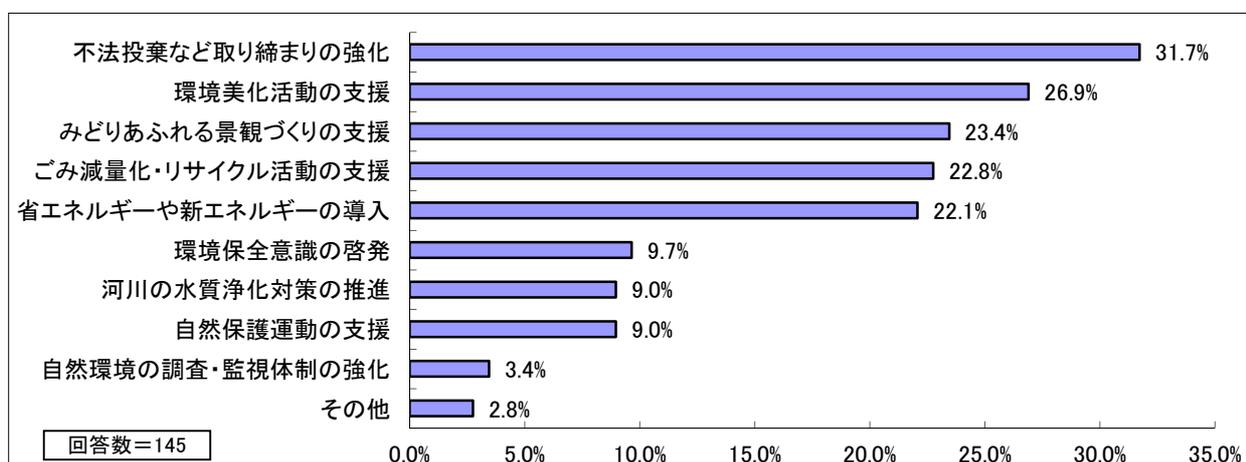
● 「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位。「環境美化活動の支援」が続く。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄などの取り締まりの強化」(31.7%)が第1位に挙げられ、次いで「環境美化活動の支援」(26.9%)、「みどりあふれる景観づくりの支援」(23.4%)、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」(22.8%)などの順となっています。

年齢別でみると、30代・40代・50代で「不法投棄などの取り締まり強化」が第1位となっています。

また、居住地別では中標津市街地と中標津町農協地域では、「不法投棄などの取り締まり強化」、計根別市街では「河川の水質浄化対策の推進」、計根別農協区域では「環境美化活動の支援」が第1位となっています。[図表24~25参照]

図表24 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



図表25 今後必要な施設整備について（全体、年齢、居住地／複数回答）

		（上位3位 %）		
		第1位	第2位	第3位
全 体		不法投棄などの取り締まりの強化 31.7	環境美化活動の支援 26.9	みどりあふれる景観づくりの支援 23.4
年 齢	20代	環境美化活動の支援 31.3	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 25.0	河川の水質浄化対策の推進 (同率2位) 25.0
	30代	不法投棄などの取り締まりの強化 54.2	省エネルギーや新エネルギーの導入 37.5	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 25.0
	40代	不法投棄などの取り締まりの強化 40.9	みどりあふれる景観づくりの支援 31.8	環境美化活動の支援 27.3
	50代	不法投棄などの取り締まりの強化 38.9	環境美化活動の支援 22.2	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 (同率2位) 22.2
	60代	みどりあふれる景観づくりの支援 38.2	環境美化活動の支援 32.4	不法投棄などの取り締まりの強化 29.4
	70歳以上	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 29.6	環境美化活動の支援 25.9	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率2位) 25.9
	居 住 地	中標津市街	不法投棄などの取り締まりの強化 32.8	環境美化活動の支援 25.0
中標津町農協区域		不法投棄などの取り締まりの強化 53.8	環境美化活動の支援 30.8	同率複数のため省略
計根別市街		河川の水質浄化対策の推進 42.9	環境美化活動の支援 28.6	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率2位) 28.6
計根別農協区域		環境美化活動の支援 60.0	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 40.0	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

町内バスの便をもとにもどして下さい。

酪農排水の対策。

問19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。

● “活用している” が52.4%、“活用していない” が43.5%。

日常生活でインターネットなど活用しているかたずねたところ、「活用している」（43.4%）に「どちらかといえば活用している」（9.0%）を合わせた52.4%の人が“インターネットなど”を活用していると回答しています。

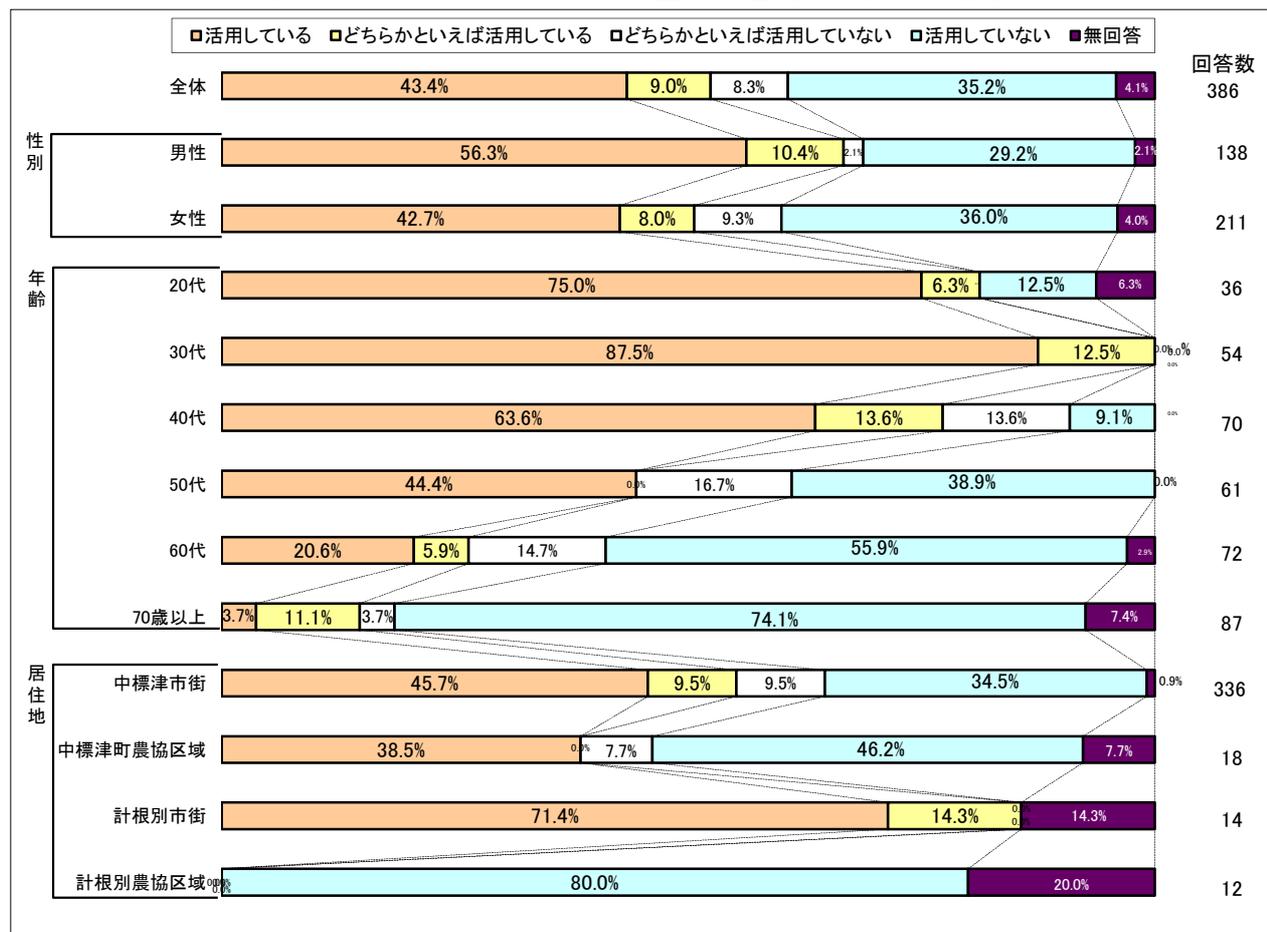
一方、“活用していない”（「活用していない」（35.2%）「どちらかといえば活用していない」（8.3%）の合計）人は43.5%となっています。

性別で活用している（「活用している」、「どちらかといえば活用している」の合計）人は男性が66.7%、女性が50.7%と男性が16ポイント上回っています。

年齢別では若いほどインターネットを活用している人が多く、30代では100%となっていますが、一方で70歳以上では14.8%と低くなっています。

居住地別の活用している人は、計根別市街は85.7%と高くなっています。[図表26参照]

図表26 インターネットの活用について（全体、性別、年齢、居住地）



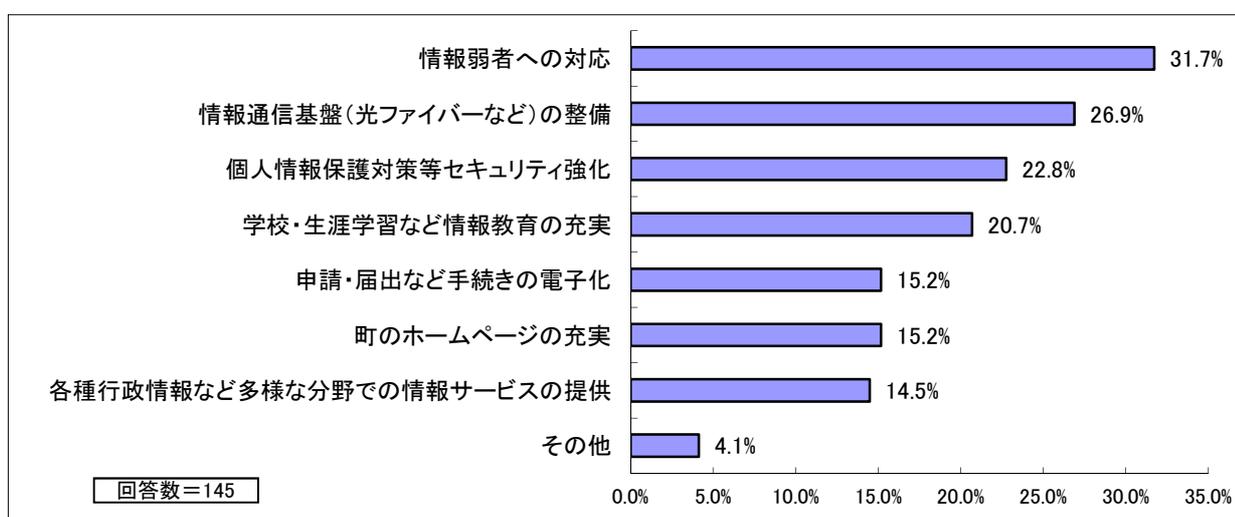
問20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

●「情報弱者への対応」が第1位。次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」の順。

インターネットを活用した社会に対応するため、今後の必要な取り組みについてたずねたところ、「情報弱者への対応」（31.7%）が第1位に挙げられ、次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」（26.9%）、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」（22.8%）、「学校・生涯学習など情報教育の充実」（20.7%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代から50代までが「情報通信基盤の整備」、となっていますが、60代及び70歳以上は「情報弱者への対応」となっています。[図表27～28参照]

図表27インターネット活用に対する今後の取組みについて（全体／複数回答）



図表28インターネット活用に対する今後の取組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	情報通信基盤の整備 56.3	個人情報保護対策等セキュリティ強化 31.3	町のホームページの充実 25.0
	30代	情報通信基盤の整備 41.7	申請・届出など手続きの電子化 (同率1位) 41.7	同率複数のため省略 —
	40代	情報通信基盤の整備 31.8	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	50代	情報通信基盤の整備 38.9	情報弱者への対応 (同率1位) 38.9	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 22.2
	60代	情報弱者への対応 32.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 26.5	学校・生涯学習など情報教育の充実 23.5
	70歳以上	情報弱者への対応 43.7	町のホームページの充実 18.5	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 (同率2位) 18.5
	居住地	中標津市街	情報弱者への対応 33.6	個人情報保護対策等セキュリティ強化 24.1
中標津町農協区域		情報通信基盤の整備 61.5	情報弱者への対応 30.8	同率複数のため省略 —
計根別市街		情報通信基盤の整備 85.7	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
計根別農協区域		情報通信基盤の整備 40.0	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 (同率1位) 40.0	情報弱者への対応 (同率1位) 40.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

パソコンが使えない。
子どもが安易に有害サイト、トラブルにあわないための対策。
インターネット料金等で利用しやすい様に。
所得が少ないので使えません

問21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

● “している” が35.2%、 “していない” が62.7%。

日頃から家庭で災害への備えをしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(22.8%)に「している」(12.4%)を合わせた35.2%の人が家庭で災害への備えをしていると回答しています。

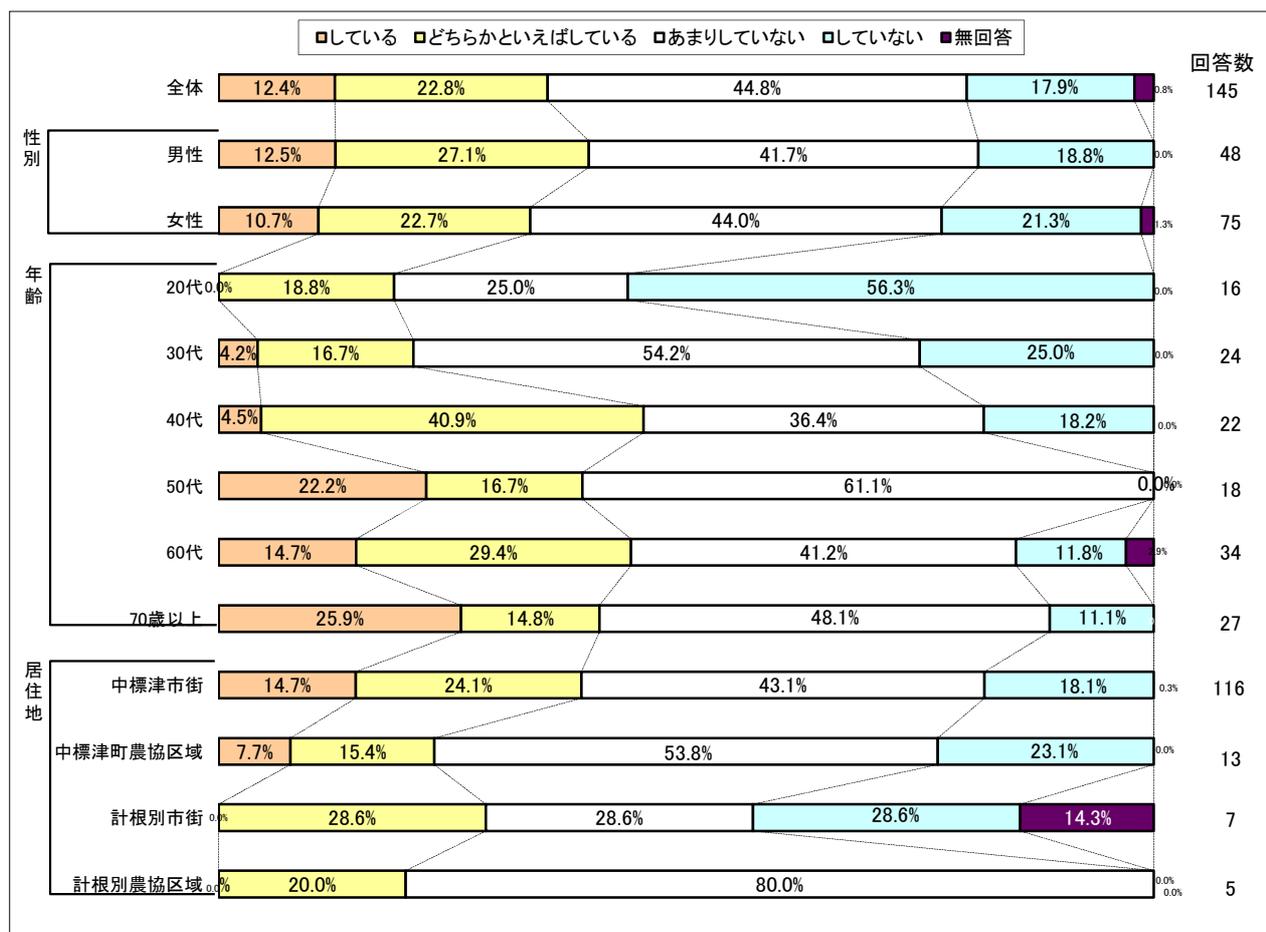
一方、“災害への備えをしていない”（「あまりしていない」(44.8%)「していない」(17.9%)の合計）は62.7%となっています。

性別で備えをしている（「している」と「どちらかといえばしている」の合計）人の割合は男性が39.6%、女性が33.4%と男性が6.2ポイント上回っています。

年齢別では年齢が上がるほど災害への備えをしている人が多くなり、40代が45.4%と一番高いですが、20代では18.8%と低くなっています。

居住地別で、備えをしている人の割合は中標津市街が38.8%となっていますが、計根別農協区域では20.0%と低くなっています。[図表29参照]

図表29 日頃から家庭で災害への備えをしているか。（全体、性別、年齢、居住地）



問22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している” が17.3%、“参加していない” が79.3%。

地域や企業などの防犯活動に参加しているかたずねたところ、「たまに参加している」(9.7%)に「参加している」(7.6%)を合わせた17.3%の人が防犯活動に参加していると回答しています。

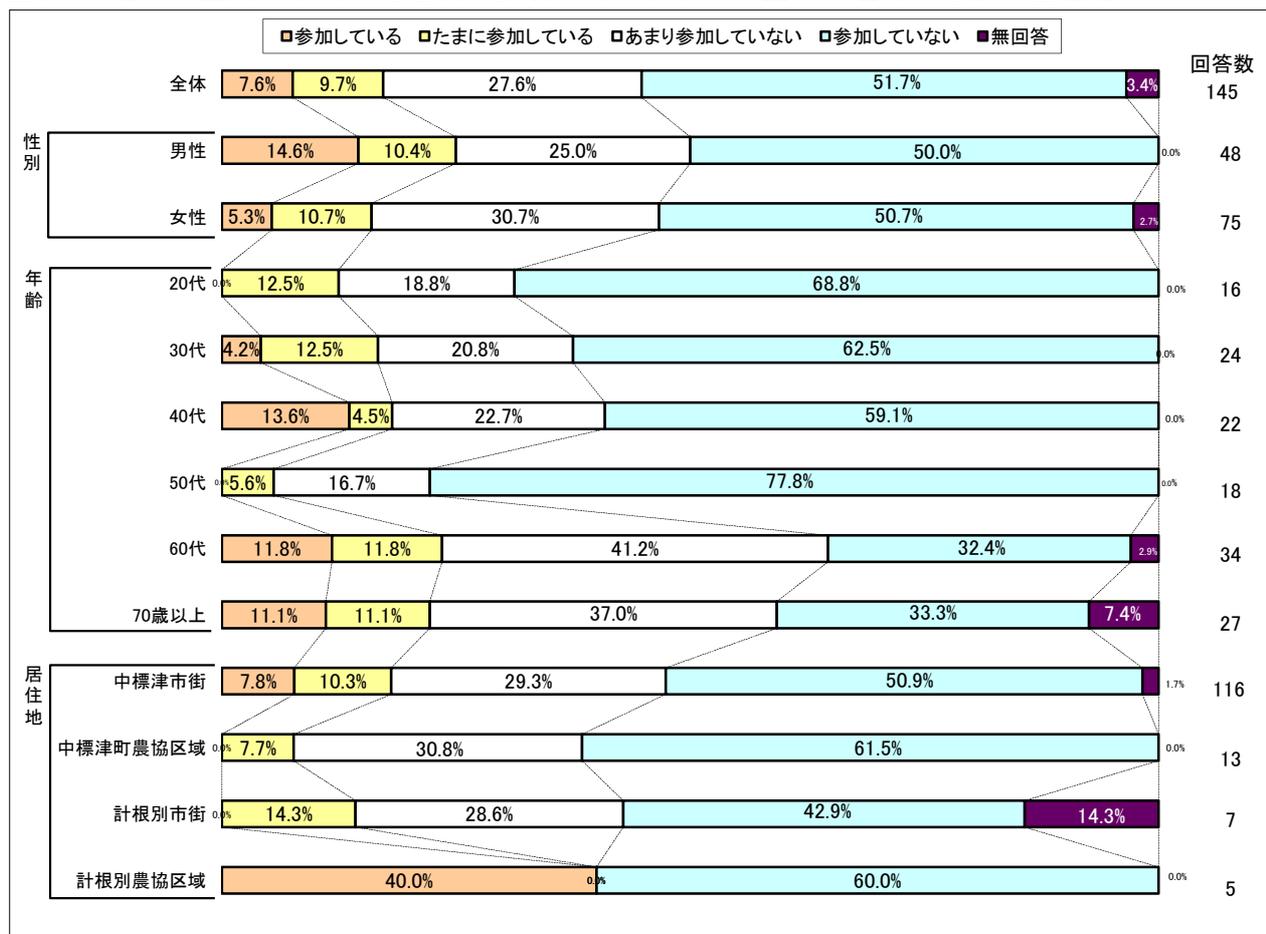
一方、“防犯活動に参加していない”（「参加していない」(51.7%)「あまり参加していない」(27.6%)の合計）は79.3%となっています。

性別で“防犯活動に参加をしている”（「参加している」と「たまに参加している」の合計）人の割合は男性が25.0%、女性が16.0%と男性が9ポイント上回っています。

年齢別で“参加している”人が多いのが60代の23.6%となっていますが、一方50代では5.6%と少なくなっています。

居住地別の防犯活動参加している人の割合は、計根別農協区域が40.0%と高い一方中標津町農協区域では7.7%と低くなっています。[図表30参照]

図表30地域や企業などで防犯活動に参加していますか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

●「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」の順。

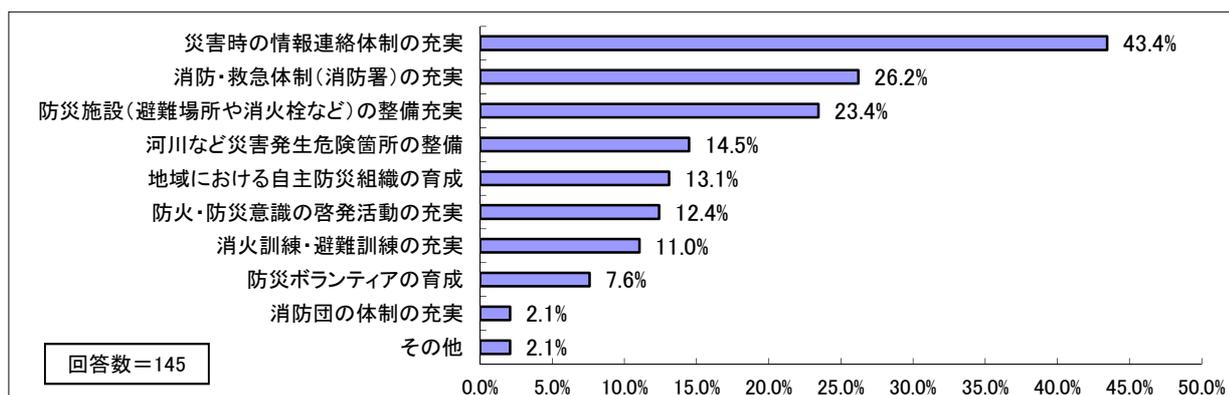
消防・防災対策について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」（43.4%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」（26.2%）、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（23.4%）「河川など災害発生危険箇所の整備」（14.5%）、「地域における自主防災組織の育成」（13.1%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、50代が「消防・救急体制（消防署）の充実」が、他の年代全ては「災害時の情報連絡体制の充実」となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街（42.2%）、中標津町農協区域（61.5%）、計根別市街（74.1%）で「災害時の情報連絡体制の充実」となっていますが、計根別農協区域では「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（60.0%）となっています。

[図表31～32参照]

図表31 消防・防災対策の今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表32 消防・防災対策の今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年	年齢	（上位3位 %）		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	災害時の情報連絡体制の充実 31.3	地域における自主防災組織の育成 25.0	消防・救急体制の充実 18.8
	30代	災害時の情報連絡体制の充実 50.0	消防・救急体制の充実 29.2	河川など災害発生危険箇所の整備 20.8
	40代	災害時の情報連絡体制の充実 50.0	防災施設の整備充実 36.4	同率複数のため省略 -
	50代	消防・救急体制の充実 33.3	防災施設の整備充実 (同率1位) 33.3	同率複数のため省略 -
	60代	災害時の情報連絡体制の充実 52.9	消防・救急体制の充実 29.4	防災施設の整備充実 (同率2位) 29.4
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 40.7	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	居住地	中標津市街	災害時の情報連絡体制の充実 42.2	消防・救急体制の充実 26.7
中標津町農協区域		災害時の情報連絡体制の充実 61.5	消防・救急体制の充実 38.5	河川など災害発生危険箇所の整備 23.1
計根別市街		災害時の情報連絡体制の充実 74.1	河川など災害発生危険箇所の整備 28.6	同率複数のため省略 -
計根別農協区域		防災施設の整備充実 60.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

考えた事がない。
高齢者の救助。
特に問題ないと思います。
消防団の活動が不明。

問24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。

●「知っている」が37.2%。「知らない」が59.3%。

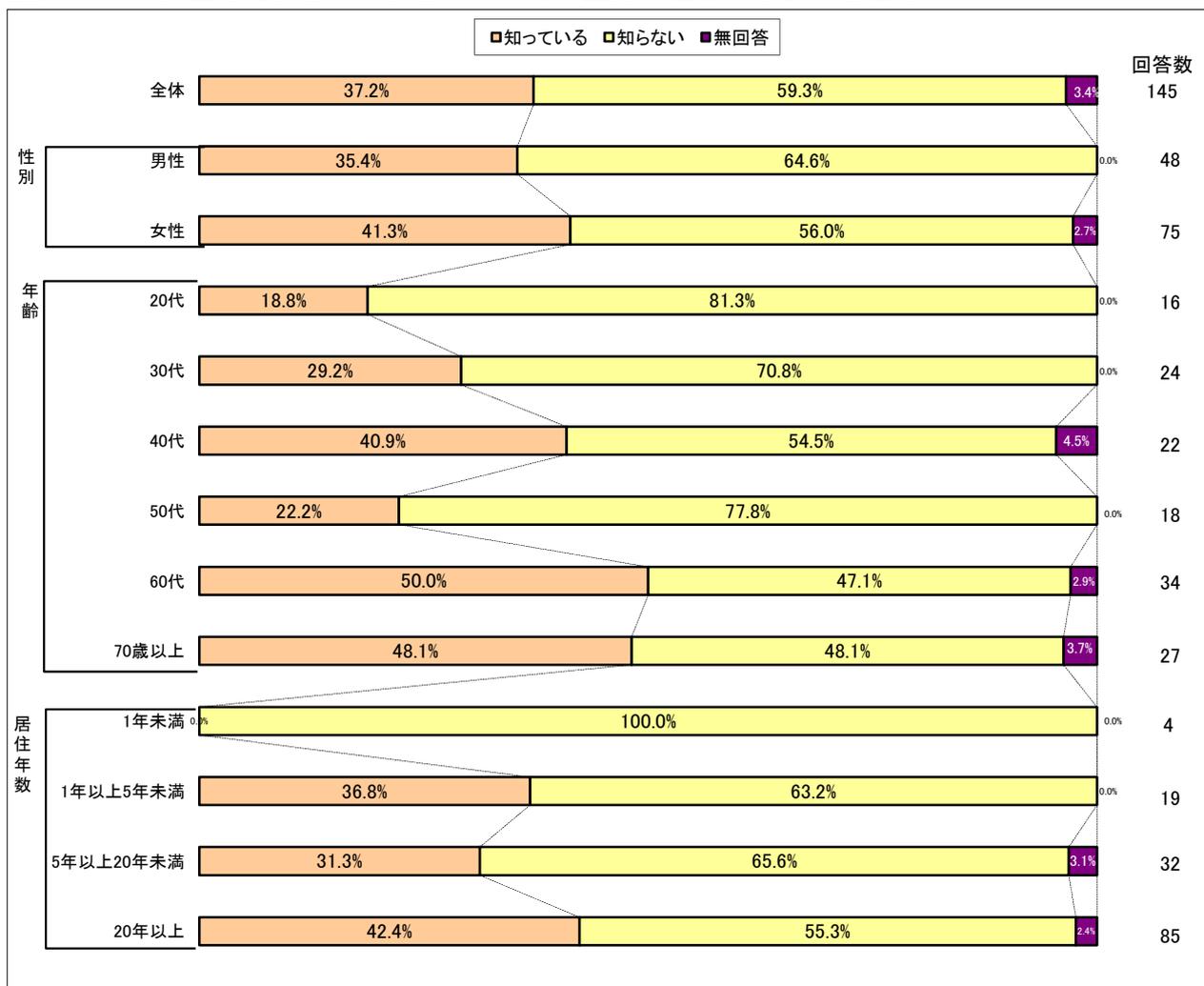
消費生活相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は37.2%となっているのに対し「知らない」と回答した人は59.3%と知らない人が大きく上回っています。

性別で知っていると回答した人は男性が35.4%、女性は41.3%と女性が5.9ポイント上回っています。

年齢別では年齢が上がるほど消費生活相談窓口があることを知っている傾向となっており、60代50.0%と半数の人が知っていますが、20代では18.8%と低くなっています。

[図表33参照]

図表33 消費生活相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住年数）



問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が45.5%、“そう感じない” が42.1%。

健康保険や年金の制度に関し、知りたい情報を得られているかたずねたところ、「そう感じる」(13.8%)これに「どちらかといえばそう感じる」(31.7%)をあわせた“そう感じる”という人が45.5%となっています。

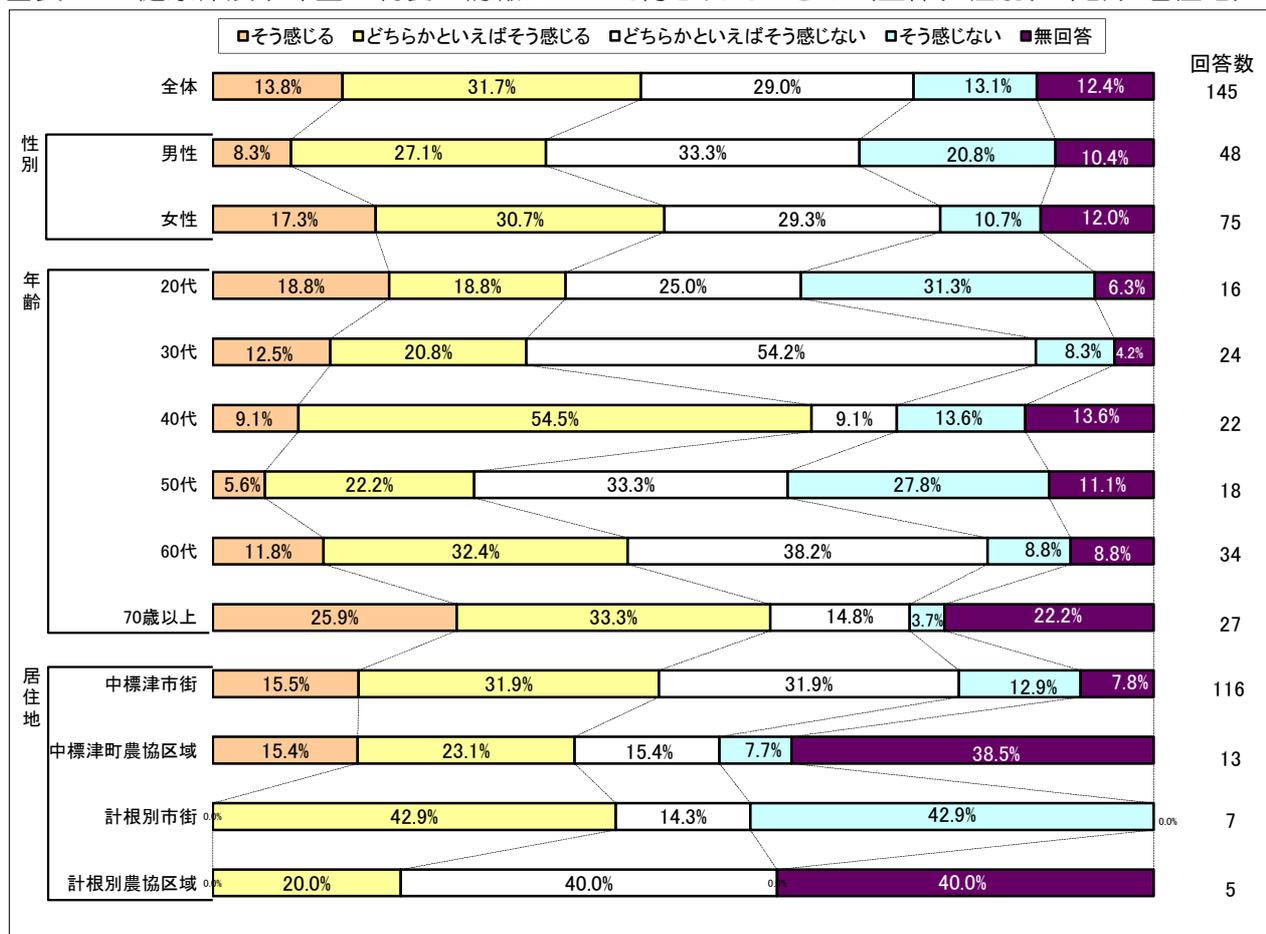
一方、“そう感じていない”（「どちらかといえばそう感じない」(29.0%)、「そう感じない」(13.1%)の合計）は42.1%となっています。

性別で“そう感じる”（「そう感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）人の割合は男性が35.4%、女性が48.0%と女性が12.6ポイント上回っています。

年齢別で“そう感じる”人が多いのは40代で63.6%となっていますが、50代では27.8%と少なくなっています。

居住地別の“そう感じる”人の割合は中標津市街が47.4%となっていますが、計根別農協区域では20.0%となっています。[図表34参照]

図表34 健康保険や年金の制度の情報について得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は85ページに掲載しています。

(3) 環境問題への取り組みについて

問26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。

● “意識している” が81.4%、“意識していない” が15.1%。

環境問題への取り組みについてたずねたところ、「どちらかといえば意識している」(39.3%)これに「意識している」(42.1%)をあわせた“意識している”という人が81.4%となっています。

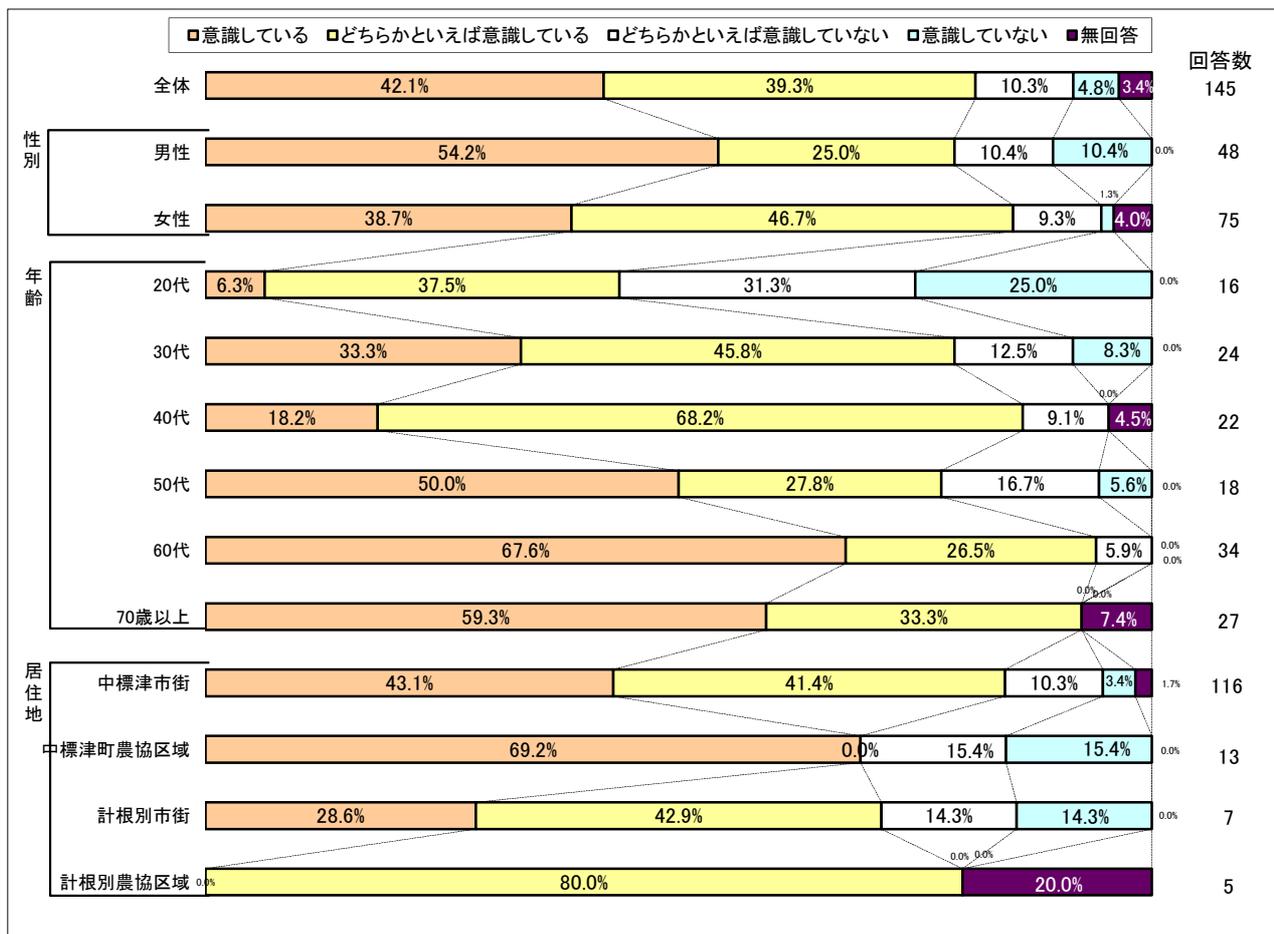
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(10.3%)、「意識していない」(4.8%)の合計）は15.1%となっています。

性別で“意識している”（「意識している」と「どちらかといえば意識している」の合計）人の割合をみると男性が79.2%、女性が85.4%と女性が6.2ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は60代が94.1%と高くなっていますが、20代は43.8%となっています。

居住地別の“意識している”人の割合は中標津市街が84.5%となっていますが、中標津町農協区域では69.2%となっています。[図表35参照]

図表35 環境問題について意識していますか。（全体、性別、年齢、居住地）



問27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している” が66.9%、 “していない” が30.3%。

3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）をしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(39.3%)これに「している」(27.6%)をあわせた“している”という人は66.9%となっています。

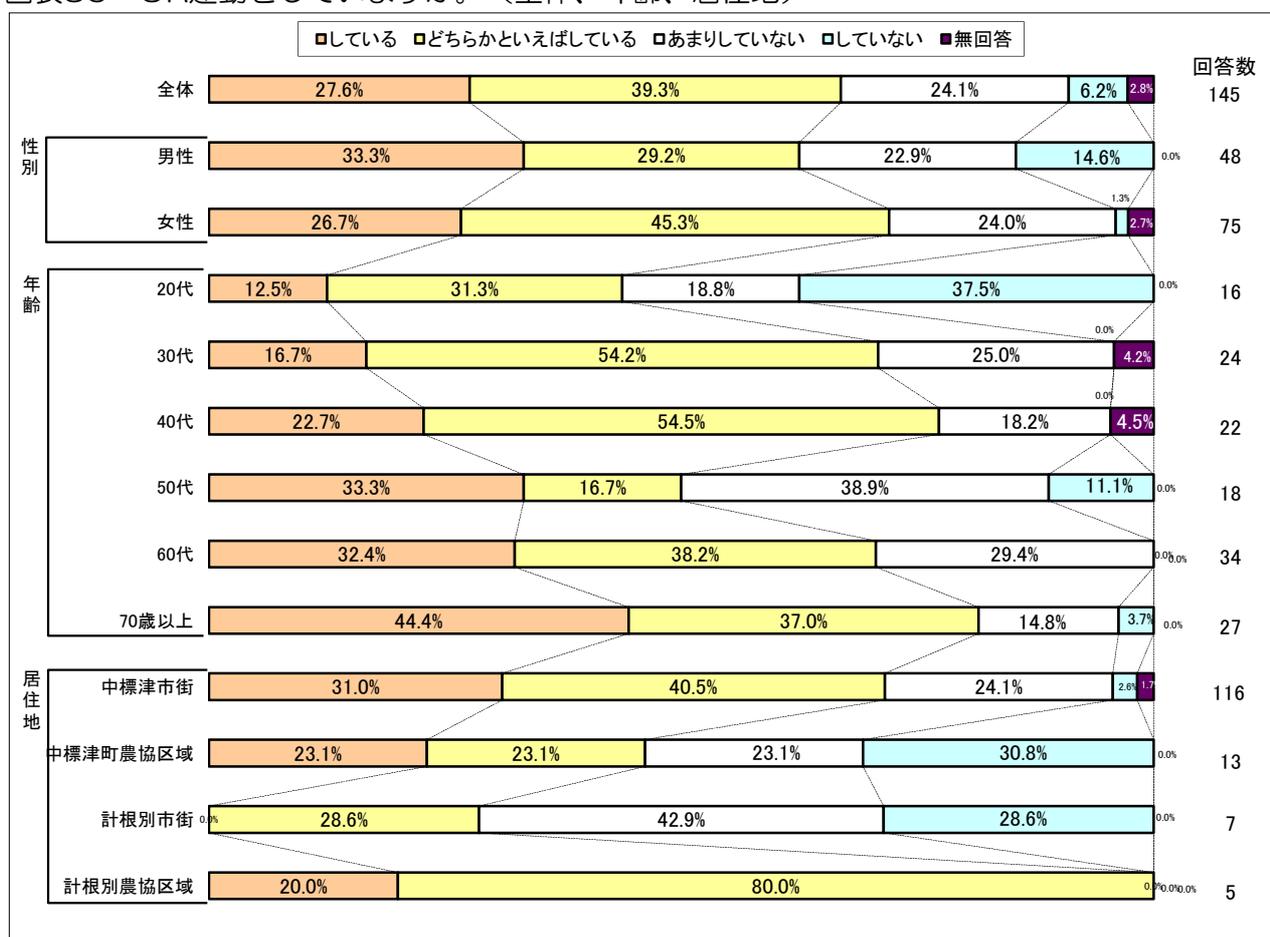
一方、“していない”（「あまりしていない」(24.1%)、「していない」(6.2%)）の合計は30.3%となっています。

性別で“している”（「している」と「どちらかといえばしている」の合計）人の割合は男性が62.5%、女性が72.0%と女性が9.5ポイント上回っています。

年齢別の“している”人の割合は70歳以上が81.4%と高くなっていますが、20代は43.8%と低くなっています。

居住地別の“している”人の割合は計根別農協区域では100%となっていますが、計根別市街では28.6%となっています。[図表36参照]

図表36 3R運動をしていますか。（全体、年齢、居住地）



(4) 産業振興について

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる” が62.0%、“そう感じない” が29.7%。

地元の農畜産物を身近に感じるかたずねたところ、「そう感じる」（30.3%）これに「どちらかといえばそう感じる」（31.7%）をあわせた“身近に感じている”人は62.0%となっています。

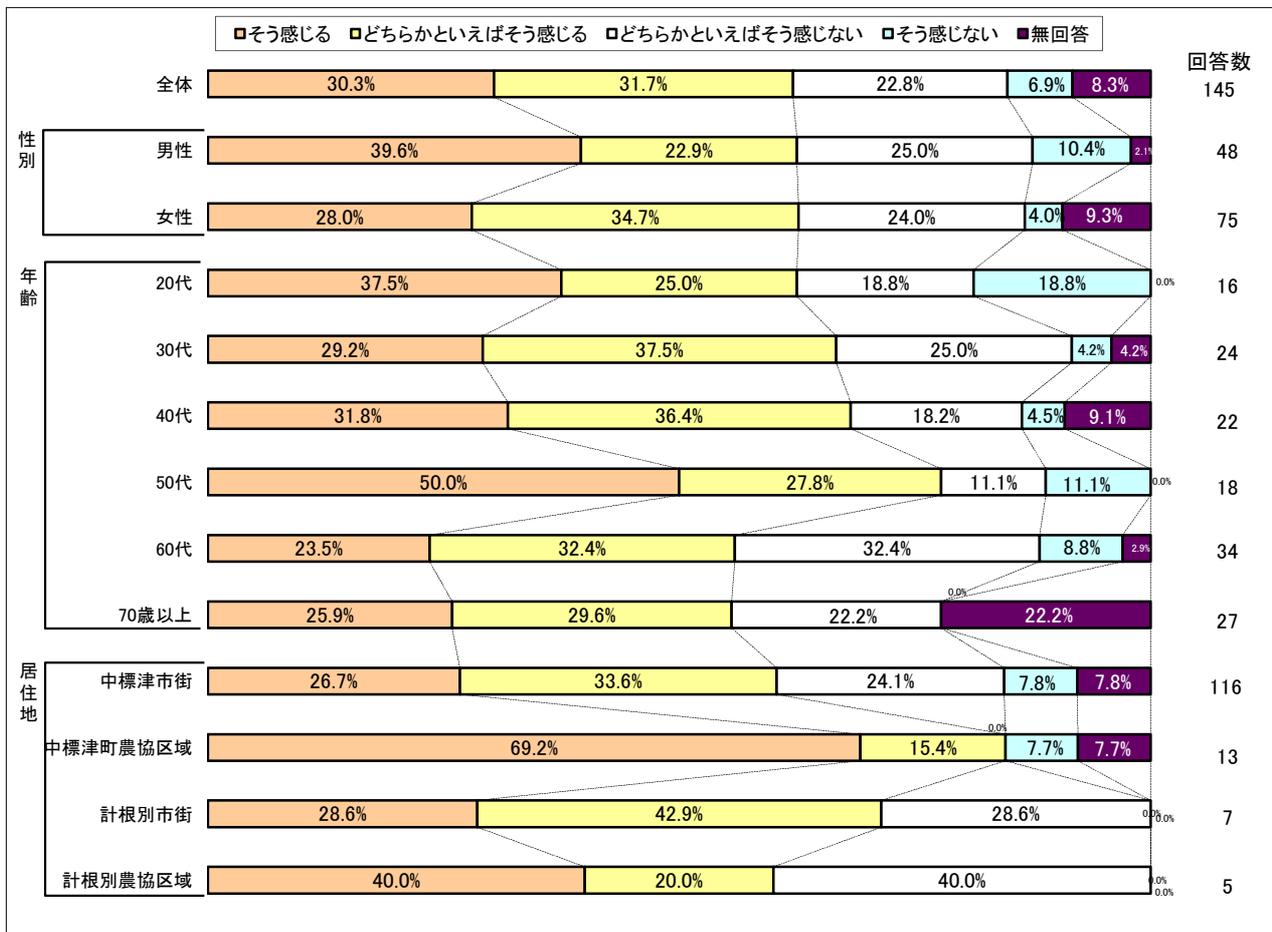
一方、“身近に感じていない”（「どちらかといえばそう感じない」(22.8%)、「そう感じない」(6.9%)の合計）は29.7%となっています。

性別で“身近に感じている”（「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」の合計）をみると男性が62.5%、女性が62.7%とほぼ同率となっています。

年齢別の“身近に感じている”人の割合はすべての年齢層で半数以上となっていますが、50代が一番多く77.8%となっています。

居住地別の“身近に感じている”人の割合が高いのは中標津町農協区域（84.6%）となっています。[図表37参照]

図表37 地元の農産物は身近に感じますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は86ページに掲載しています。

問29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。

● “参加している” が10.3%、“参加していない” 87.6%。

森林づくり活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」(5.5%)
これに「参加している」(4.8%)をあわせた“参加している”人は10.3%となっています。

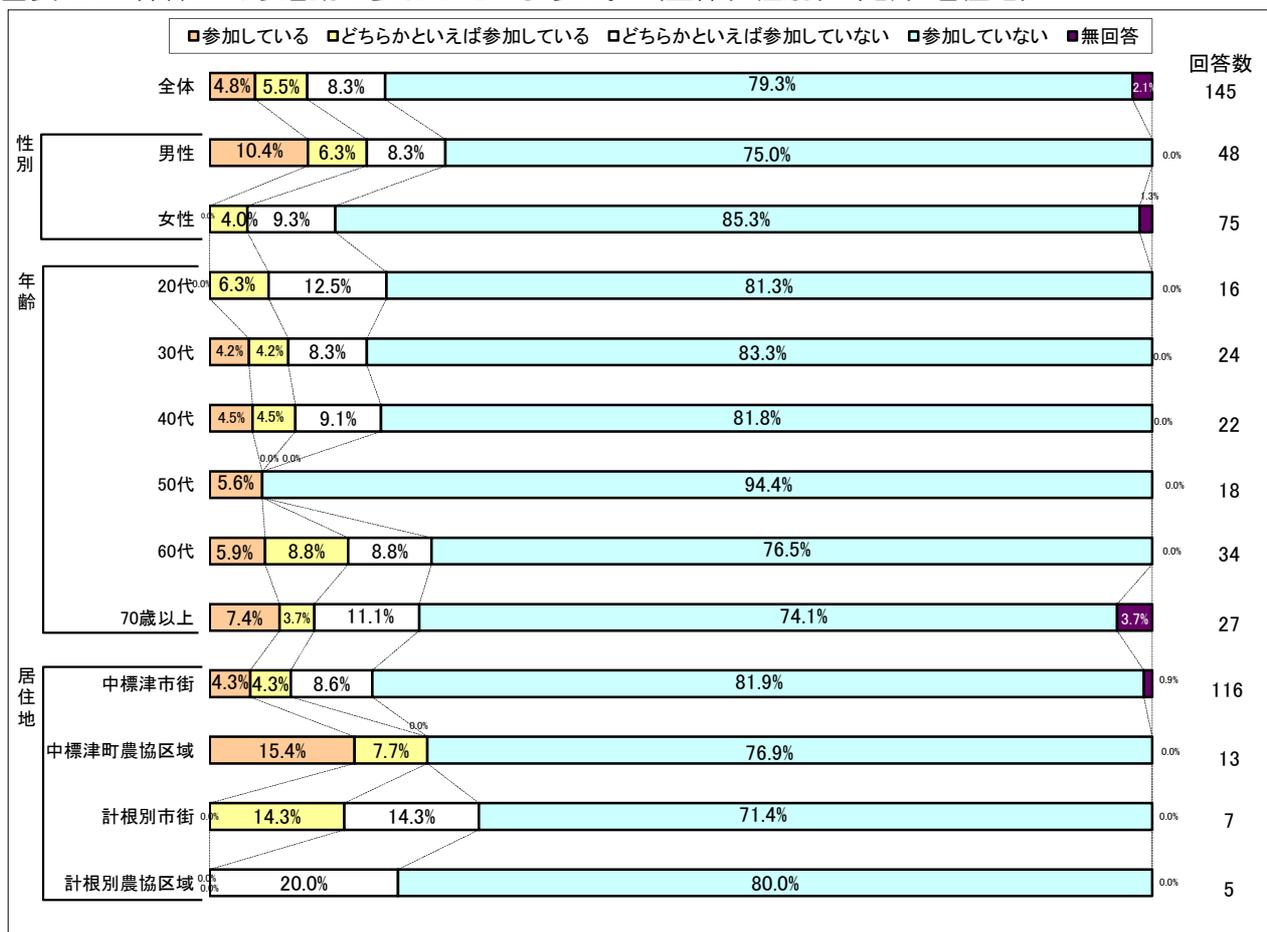
一方、“参加していない”（「参加していない」(79.3%)、「どちらかといえば参加して
いない」(8.3%)の合計）は87.6%となっています。

性別で“参加している”（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）
人は男性が16.7%、女性が4.0%と男性が12.7ポイント上回っています。

年齢別の“参加している”人の割合は60代が14.7%となっていますが、50代は5.6%と
低くなっています。

居住地別の“参加している”人の割合は中標津町農協区域が23.1%と高くなっています。
[図表38参照]

図表38 森林づくり活動に参加していますか。（全体、性別、年齢、居住地）



問30 地元で買い物することを意識していますか。



● “意識している” が74.5%、“意識していない” が23.5%。

地元で買い物することを意識しているかたずねたところ、「意識している」(49.0%)これに「どちらかといえば意識している」(25.5%)をあわせた“意識している”という人が74.5%となっています。

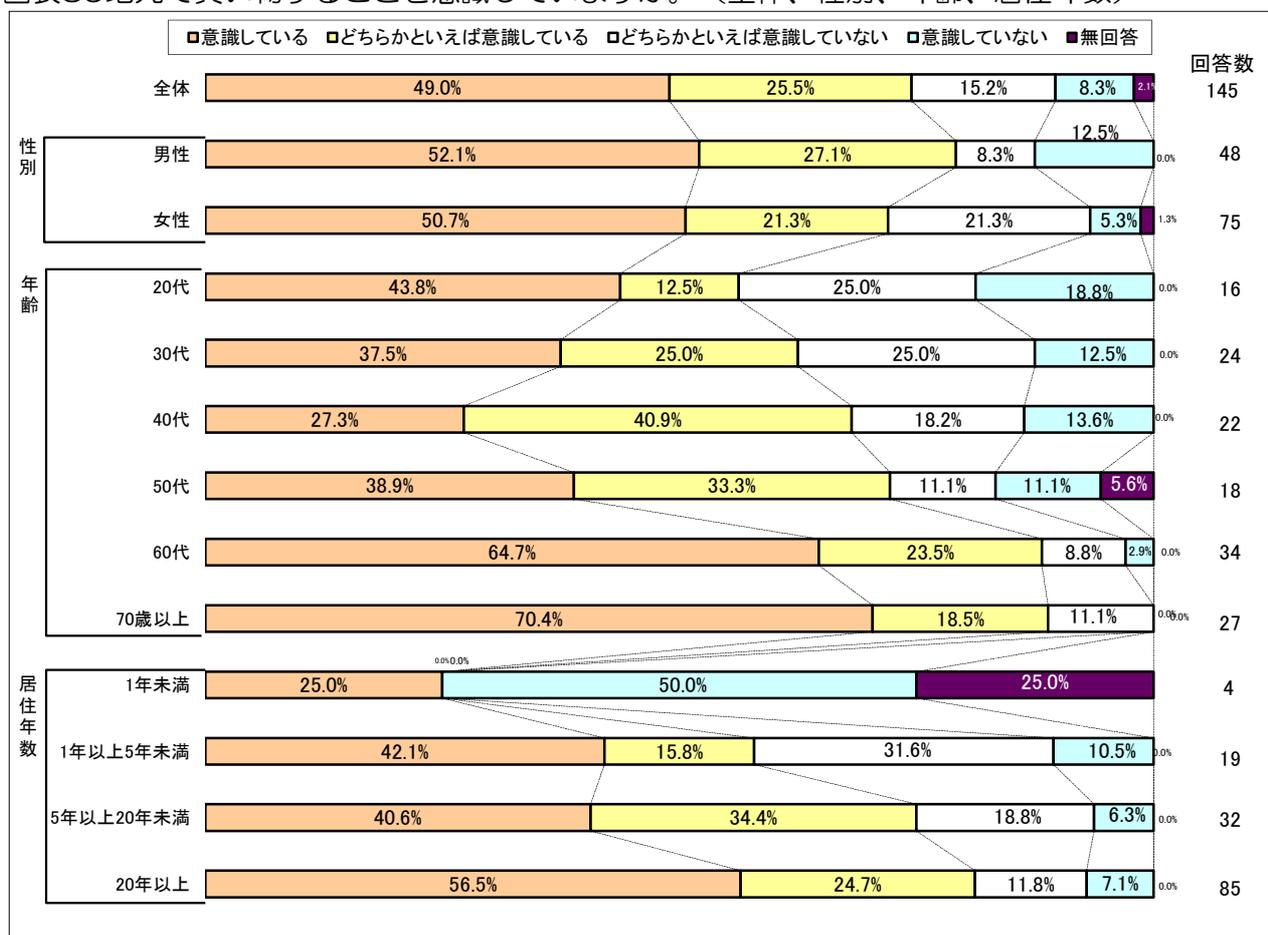
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(15.2%)、「意識していない」(8.3%)の合計）は23.5%となっています。

性別で“意識している”（「意識している」と「どちらかといえば意識している」の合計）人の割合は男性が79.2%、女性が72.0%と男性が7.2ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上では88.9%となっていますが、20代は56.3%となっています。

居住年数別の“意識している”人の割合は20年以上居住している人が81.2%となっていますが、1年未満の人は25.0%となっています。[図表39参照]

図表39 地元で買い物することを意識していますか。（全体、性別、年齢、居住年数）



問31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】



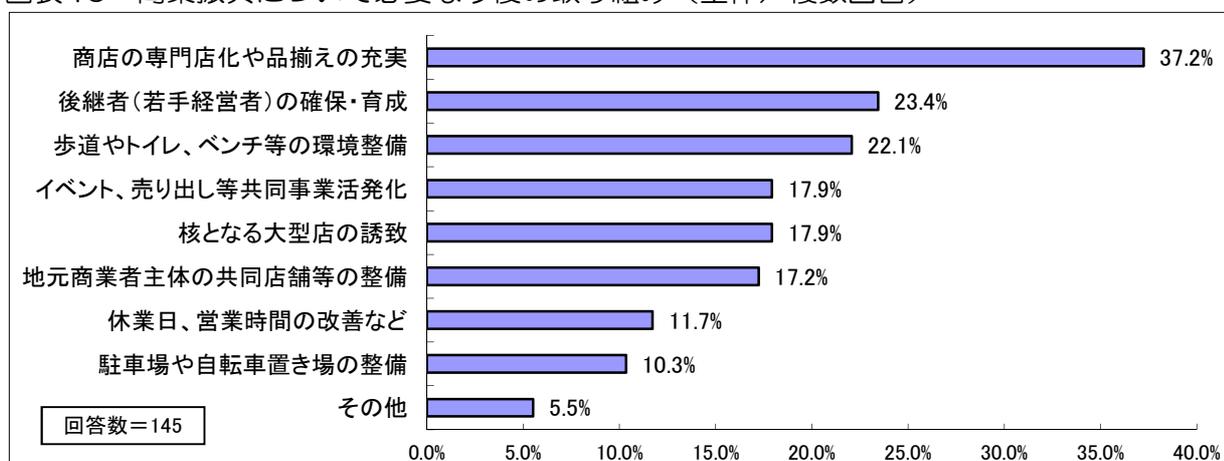
●「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」が続く。

町の商業振興について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「商店の専門店化や品揃えの充実」（37.2%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」（23.4%）、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」（22.1%）、「イベント、売出し等共同事業活性化」・「核となる大型店の誘致」（同率17.9%）などの順となっています。

年齢別では、全ての年代で「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位も全地域において「商店の専門店化や品揃えの充実」となっています。[図表40～41参照]

図表40 商業振興について必要な今後の取り組み（全体／複数回答）



図表41 商業振興について必要な今後の取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年	年齢	第1位			第2位			第3位		
		割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	
年	20代	50.0	商店の専門店化や品揃えの充実	43.8	核となる大型店舗の誘致	37.5	休業日・営業時間の改善など			
	30代	41.7	商店の専門店化や品揃えの充実	29.2	後継者の確保・育成	25.0	地元商業者主体の共同店舗等の整備			
	40代	36.4	商店の専門店化や品揃えの充実	36.4	後継者の確保・育成 (同率1位)	22.7	核となる大型店舗の誘致			
	50代	44.4	商店の専門店化や品揃えの充実	27.8	駐車場や自転車置き場の整備	—	同率複数のため省略			
	60代	38.2	商店の専門店化や品揃えの充実	29.4	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備	29.4	イベント、売出し等共同事業活性化 (同率2位)			
	70歳以上	25.9	商店の専門店化や品揃えの充実	25.9	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 (同率1位)	—	同率複数のため省略			
	居住地	中標津市街	35.3	商店の専門店化や品揃えの充実	25.0	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備	21.6	後継者の確保・育成		
中標津町農協区域		53.8	商店の専門店化や品揃えの充実	30.8	イベント、売出し等共同事業活性化	30.8	後継者の確保・育成 (同率2位)			
計根別市街		57.1	商店の専門店化や品揃えの充実	42.9	後継者の確保・育成	42.9	核となる大型店舗の誘致 (同率2位)			
計根別農協区域		40.0	商店の専門店化や品揃えの充実	—	同率複数のため省略	—	同率複数のため省略			

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

商店街、大型店と共同でのスタンプラリー等。
3次産業の誘致。
祭りなどに利用したくなるような店が無いように感じる。
車を使わないで買い物不便。
店員の対応が一部悪い店がある。
業者が考えるべき
バスの使用がしづらい

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

● “満足している” が44.9%、“満足していない” が43.5%。

まちの観光資源に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(36.6%)
これに「満足している」(8.3%)をあわせた“観光資源に満足している”人は44.9%となっ
ています。

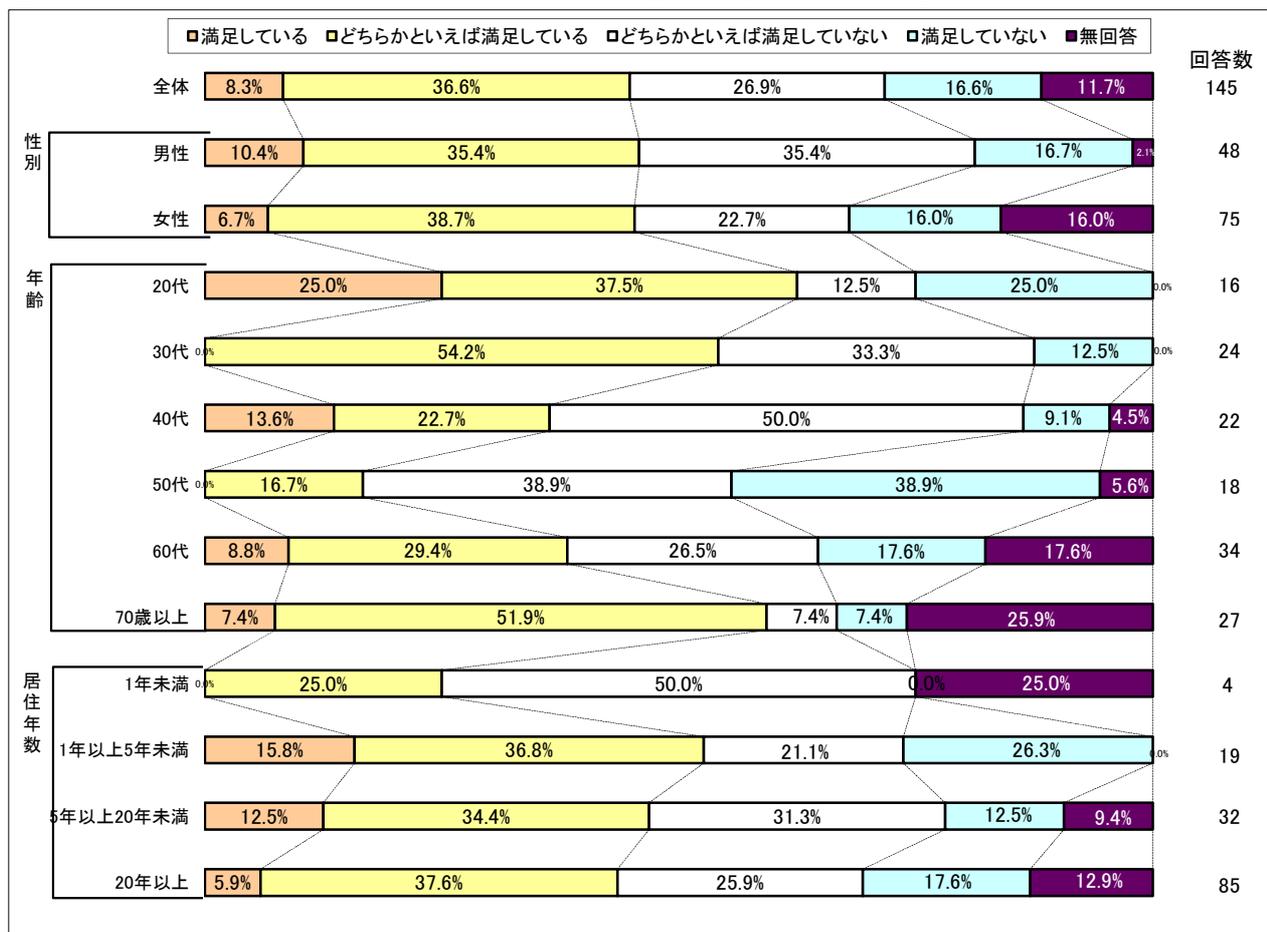
一方、“観光資源に満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(26.9%)、「満
足していない」(16.6%)の合計）は43.5%となっています。

性別で“観光資源に満足している”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」
の合計）人の割合は男性が45.8%、女性が45.4%とほぼ同率となっています。

年齢別の“観光資源に満足している”人の割合は20代が62.5%となっていますが、50代で
は16.7%となっています。

居住年数別の“観光資源に満足している”人の割合は1年以上5年未満では52.6%となっ
ていますが、1年未満では25.0%となっています。[図表42参照]

図表42 まちの観光資源に満足していますか（全体、性別、年齢、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は86ページに掲載しています。

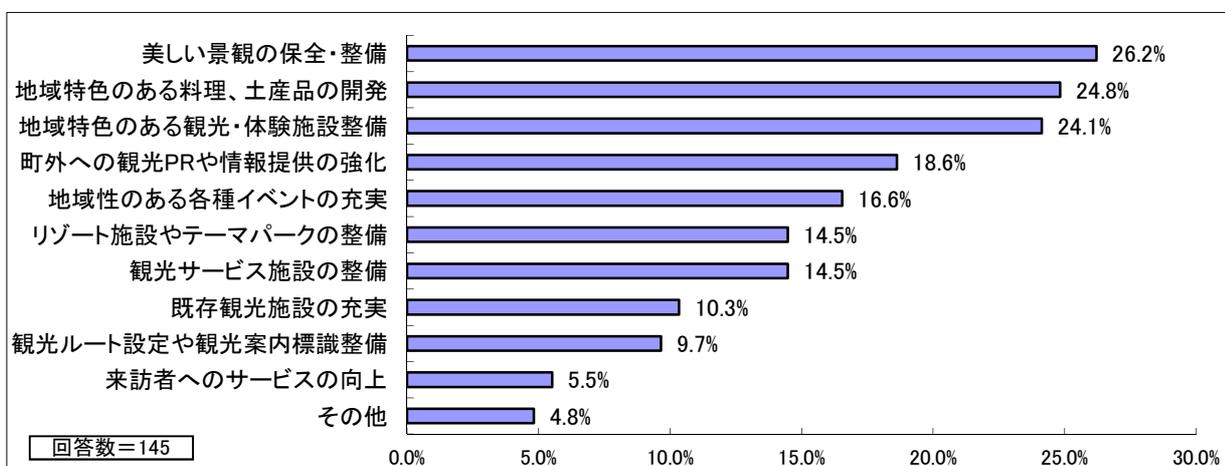
問33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

●「美しい景観の保全・整備」が第1位。次いで「地域特色のある料理、土産品の開発」、「地域特色のある観光・体験施設整備」の順。

町の観光振興について、今後のどのようなことに力をいれるべきかたずねたところ、「美しい景観の保全・整備」（26.2%）が第1位に挙げられ、次いで「地域特色のある料理、土産品の開発」（24.8%）、「地域特色のある観光・体験施設整備」（24.1%）、「町外への観光PRや情報提供の強化」（18.6%）、「地域性のある各種イベントの充実」（16.6%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代が「リゾート施設やテーマパークの整備」、30代及び70歳以上が「美しい景観の保全・整備」、その他の年代では「地域特色のある観光・体験施設整備」となっています。[図表43～44参照]

図表43 観光振興のために今後特に力を入れること（全体／複数回答）



図表44 観光振興のために今後特に力を入れること（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	居住地	上位3位 (%)		
		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	リゾート施設やテーマパークの整備 50.0	地域特色のある料理、土産品の開発 31.3	地域性のある各種イベントの充実 25.0
	30代	美しい景観の保全・整備 29.2	地域特色のある料理、土産品の開発 (同率1位) 29.2	地域性のある各種イベントの充実 (同率1位) 29.2
	40代	地域特色のある観光・体験施設整備 27.3	美しい景観の保全・整備 22.7	地域特色のある料理、土産品の開発 (同率2位) 22.7
	50代	地域特色のある観光・体験施設整備 38.9	美しい景観の保全・整備 33.3	リゾート施設やテーマパークの整備 27.8
	60代	地域特色のある料理、土産品の開発 35.3	町外への観光PRや情報提供の強化 29.4	地域特色のある観光・体験施設整備 26.5
	70歳以上	美しい景観の保全・整備 37.0	地域特色のある料理、土産品の開発 22.2	地域特色のある観光・体験施設整備 18.5
	居 住 地	中標津市街	美しい景観の保全・整備 25.0	地域特色のある料理、土産品の開発 24.1
中標津町農協区域		美しい景観の保全・整備 46.2	地域特色のある料理、土産品の開発 30.8	地域特色のある観光・体験施設整備 23.1
計根別市街		地域特色のある観光・体験施設整備 57.1	地域特色のある料理、土産品の開発 42.9	リゾート施設やテーマパークの整備 (同率2位) 42.9
計根別農協区域		同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

観光に力を入れなくても良いと思う。
町民に対する情報サービスの向上。
町特有の料理を作り観光客を呼ぶ。
アンケートとかで粗品サービスとか。
道の駅をつくる。
観光内容の見直し。
中標津町単独でなく周辺町と広域での観光振興。

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

● “満足している” が31.7%、“満足していない” が42.7%。

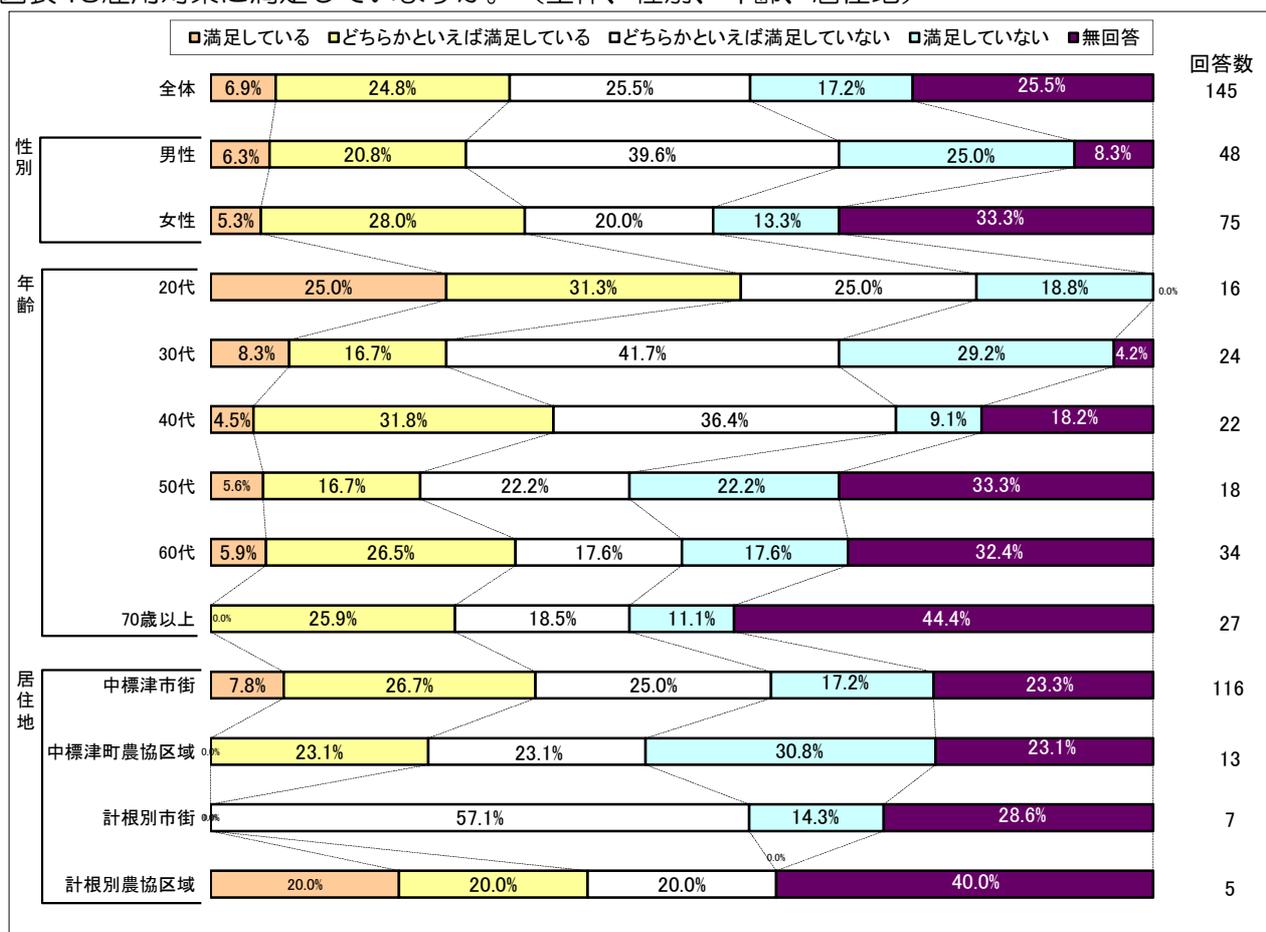
雇用対策に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(24.8%)これに「満足している」(6.9%)をあわせた“雇用対策に満足している”人は31.7%となっています。

一方、“雇用対策に満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(25.5%)、「満足していない」(17.2%)）の合計は42.7%となっています。

性別で“雇用対策に満足している”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）人の割合は男性が27.1%、女性が33.3%と女性が6.2ポイント上回っています。

年齢別の“雇用対策に満足している”人の割合は20代が56.3%となっていますが、50代では22.3%となっています。[図表45参照]

図表45雇用対策に満足していますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は87ページに掲載しています。

(5) 保健・医療・福祉について

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

● “満足している” が42.8%、“満足していない” が46.2%。

地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(34.5%)これに「満足している」(8.3%)をあわせた“地域医療体制等に満足している”人は42.8%となっています。

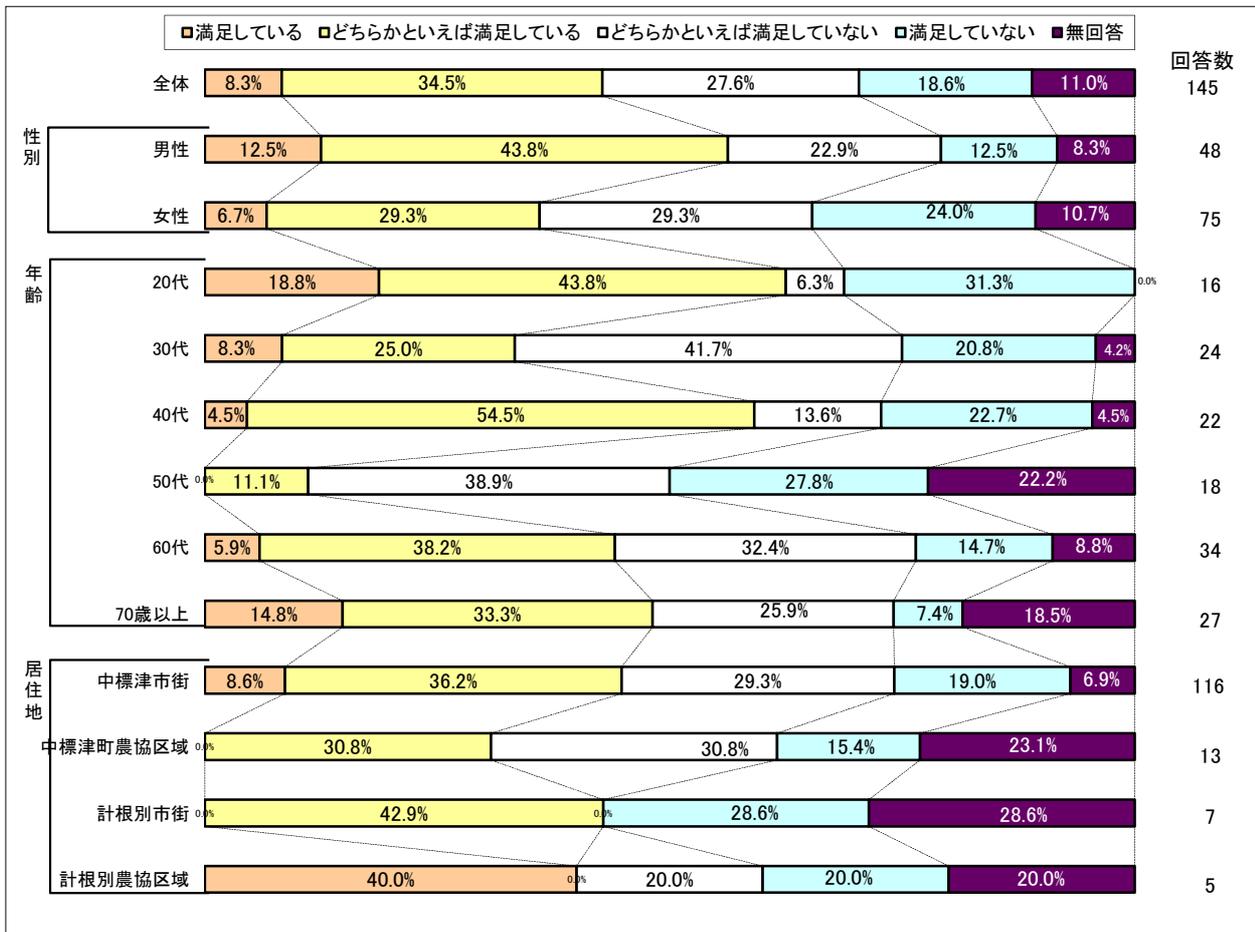
一方、“地域医療体制等に満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(27.6%)、「満足していない」(18.6%)の合計）は46.2%となっています。

性別で“地域医療体制等に満足している”（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）人の割合は男性が56.3%、女性が36.0%と男性が20.3ポイント上回っています。

年齢別の“地域医療体制等に満足している”人の割合は20代が62.6%となっていますが、50代では11.1%となっています。

居住地別の“地域医療体制等に満足している”人の割合は中標津市街が1番高く44.8%となっています。[図表46参照]

図表46 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は87ページに掲載しています。

問36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

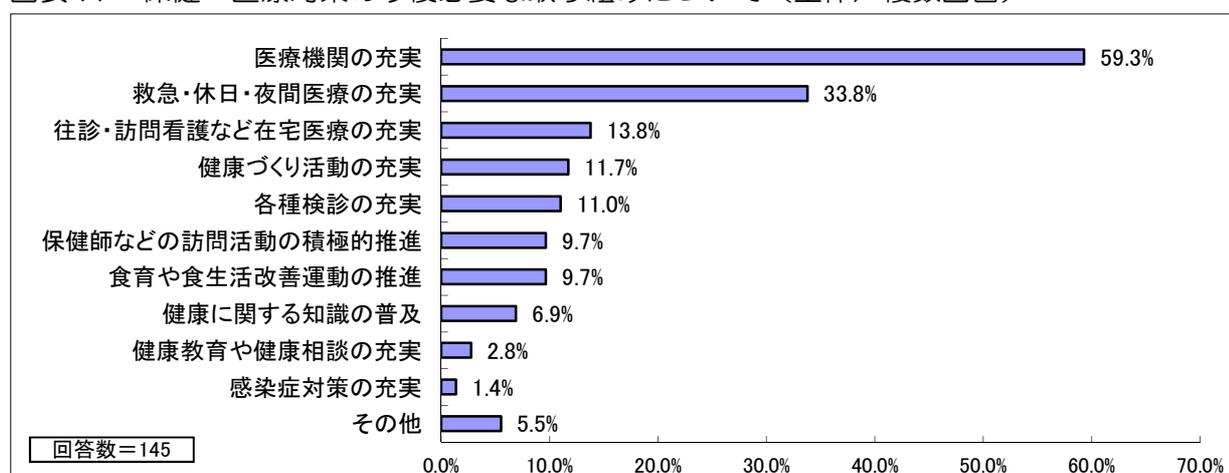
●「医療機関の充実」が第1位。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」の順。

今後必要な保健・医療対策については、「医療機関の充実」(59.3%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」(33.8%)、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(13.8%)、「健康づくり活動の充実」(11.7%)、「各種検診の充実」(11.0%)などの順となっています。

年齢別では、すべての年齢層で「医療機関の充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街(57.8%)、中標津町農協区域(76.9%)、計根別市街(85.7%)で「医療機関の充実」となっていますが、計根別農協区域では「救急・休日・夜間医療の充実」及び「各種検診の充実」となっています。[図表47~48参照]

図表47 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて(全体/複数回答)



図表48 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位			第2位			第3位		
		割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	
年	20代	43.8	医療機関の充実	43.8	救急・休日・夜間医療の充実 (同率1位)	25.0	各種検診の充実			
	30代	62.5	医療機関の充実	50.0	救急・休日・夜間医療の充実	同率複数のため省略				
	40代	68.2	医療機関の充実	54.5	救急・休日・夜間医療の充実	18.2	往診・訪問看護など在宅医療の充実			
年齢	50代	61.1	医療機関の充実	34.4	救急・休日・夜間医療の充実	同率複数のため省略				
	60代	67.6	医療機関の充実	20.6	往診・訪問看護など在宅医療の充実	17.6	健康づくり活動の充実			
	70歳以上	48.1	医療機関の充実	-	同率複数のため省略	同率複数のため省略				
居住地	中標津市街	57.8	医療機関の充実	34.5	救急・休日・夜間医療の充実	15.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実			
	中標津町農協区域	76.9	医療機関の充実	30.8	救急・休日・夜間医療の充実	23.1	食育や食生活改善運動の推進			
	計根別市街	85.7	医療機関の充実	42.9	救急・休日・夜間医療の充実 (同率2位)	42.9	各種検診の充実			
	計根別農協区域	40.0	救急・休日・夜間医療の充実	40.0	各種検診の充実 (同率1位)	同率複数のため省略				

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

医師の確保
38. 8熱があり病院にいこうと電話すると、今日出ないと駄目ですか。静かにねかせて明日はどうですかと言われたことがある。
職員の対応。
広域的な医療充実が必要
町立病院は予約制など待ち時間を減らす改革。町立病院の悪いイメージ払拭
わからない
町立の医師の対応

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる” が61.4%、“そう感じない” が20.7%。

地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえ
ばそう感じる」（46.9%）これに「そう感じる」（14.5%）をあわせた“安心して育てられ
ていると感じている”人は61.4%となっています。

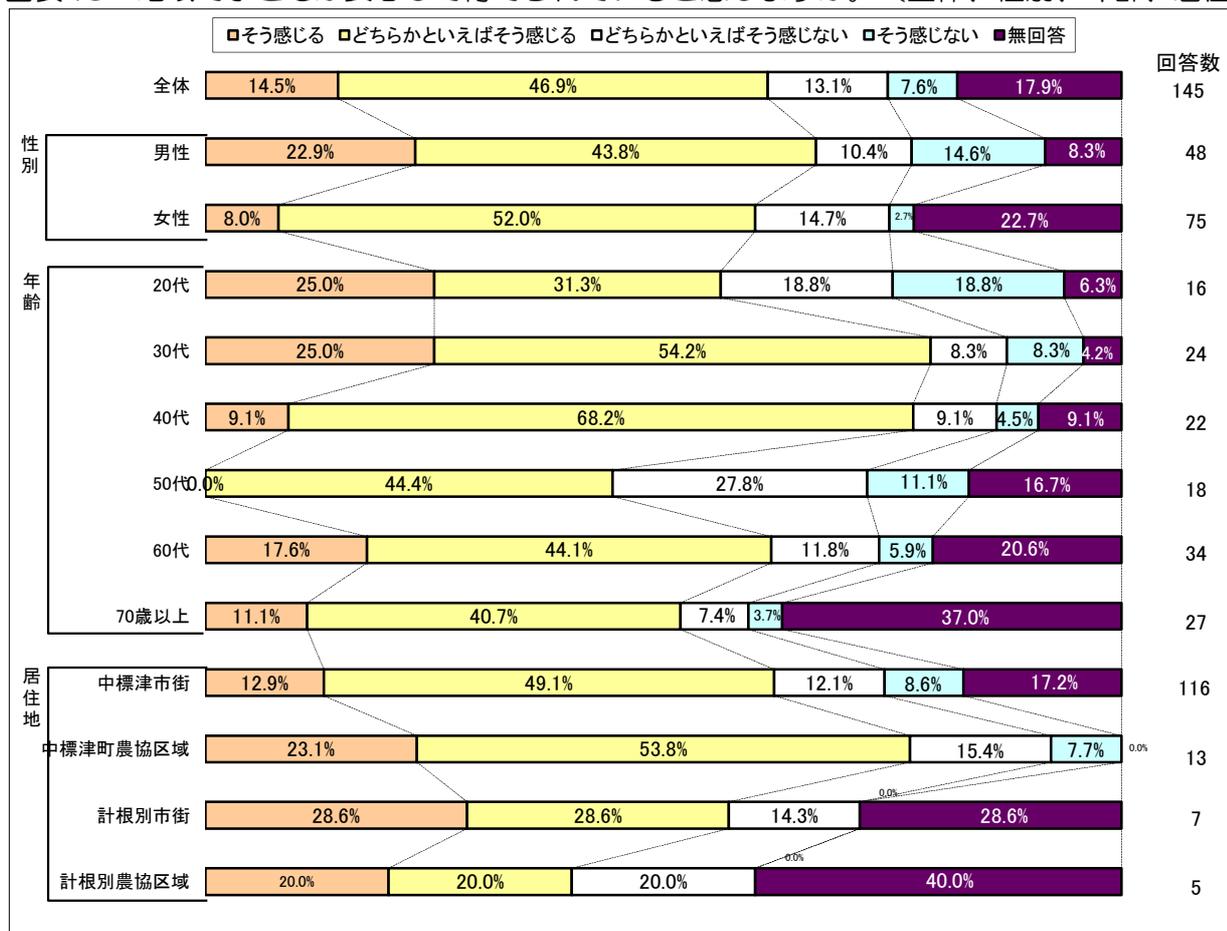
一方、“安心して育てられていると感じていない”（「どちらかといえはそう感じない」（13.1%）、
「そう感じない」（7.6%）の合計）は20.7%となっています。

性別で“安心して育てられていると感じている”（「そう感じる」と「どちらかといえはそ
う感じる」の合計）人の割合は男性が66.7%、女性が60.0%と男性が6.7ポイント上回って
います。

年齢別の“安心して育てられていると感じている”人の割合は30代が79.2%となっていま
すが、50代では44.4%となっています。

居住地別の“安心して育てられていると感じている”人の割合は中標津町農協区域が76.9%
となっています。[図表49参照]

図表49 地域で子どもが安心して育てられていると感じますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は88ページに掲載しています。

問38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



● 「保育所の充実」が第1位。次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」、「子どもの遊び場など公園の整備」の順。

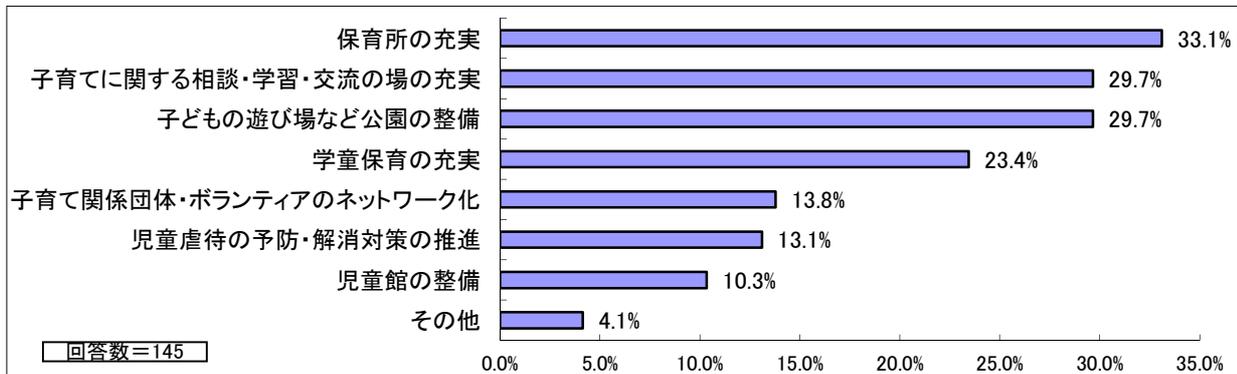
今後必要な子育て環境については、「保育所の充実」（33.1%）が第1位に挙げられ、次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」、「子どもの遊び場など公園の整備」（同率29.7%）、「学童保育の充実」（23.4%）、「子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化」（13.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・60代が「子どもの遊び場など公園の整備」、30代・40代・50代は「保育所の充実」70歳以上は「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街（32.8%）、中標津町農協区域（5.8%）で「保育所の充実」となっていますが、計根別市街（42.9%）と計根別農協区域（60.0%）では「学童保育の充実」となっています。

[図表50～51参照]

図表50 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表51 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	年齢	第1位			第2位			第3位		
		割合	回答数	同率複数のため省略	割合	回答数	同率複数のため省略	割合	回答数	同率複数のため省略
年 齢	20代	子どもの遊び場など公園の整備	56.3	—	保育所の充実	43.6	—	同率複数のため省略	—	—
	30代	保育所の充実	54.2	—	子どもの遊び場など公園の整備	45.8	—	同率複数のため省略	—	—
	40代	保育所の充実	31.8	—	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	27.3	—	子どもの遊び場など公園の整備	22.7	—
	50代	保育所の充実	44.4	—	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	33.3	—	学童保育の充実	33.3	(同率2位)
	60代	子どもの遊び場など公園の整備	35.3	—	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	32.4	—	学童保育の充実	32.4	(同率2位)
	70歳以上	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	33.3	—	同率複数のため省略	—	—	同率複数のため省略	—	—
	居 住 地	中標津市街	保育所の充実	32.8	—	子どもの遊び場など公園の整備	32.8	(同率1位)	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	26.7
中標津町農協区域		保育所の充実	53.8	—	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	46.2	—	同率複数のため省略	—	—
計根別市街		学童保育の充実	42.9	—	同率複数のため省略	—	—	同率複数のため省略	—	—
計根別農協区域		学童保育の充実	60.0	—	同率複数のため省略	—	—	同率複数のため省略	—	—

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

中3・高3の塾の助成金。
冬の除雪の為に資金をとっておくべき。
次世代の人づくり。
障がいや支援の必要な子供に対して、それぞれのニーズにあった対応をしてくれる人や場所。
子育て親の意識改革

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる” が41.4%、“そう感じない” が42.7%。

高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（35.9%）これに「そう感じる」（5.5%）をあわせた“そう感じる”人は、41.4%となっています。

一方、“そう感じてない”（「どちらかといえばそう感じない」（32.4%）、「そう感じない」（10.3%）の合計）は42.7%となっています。

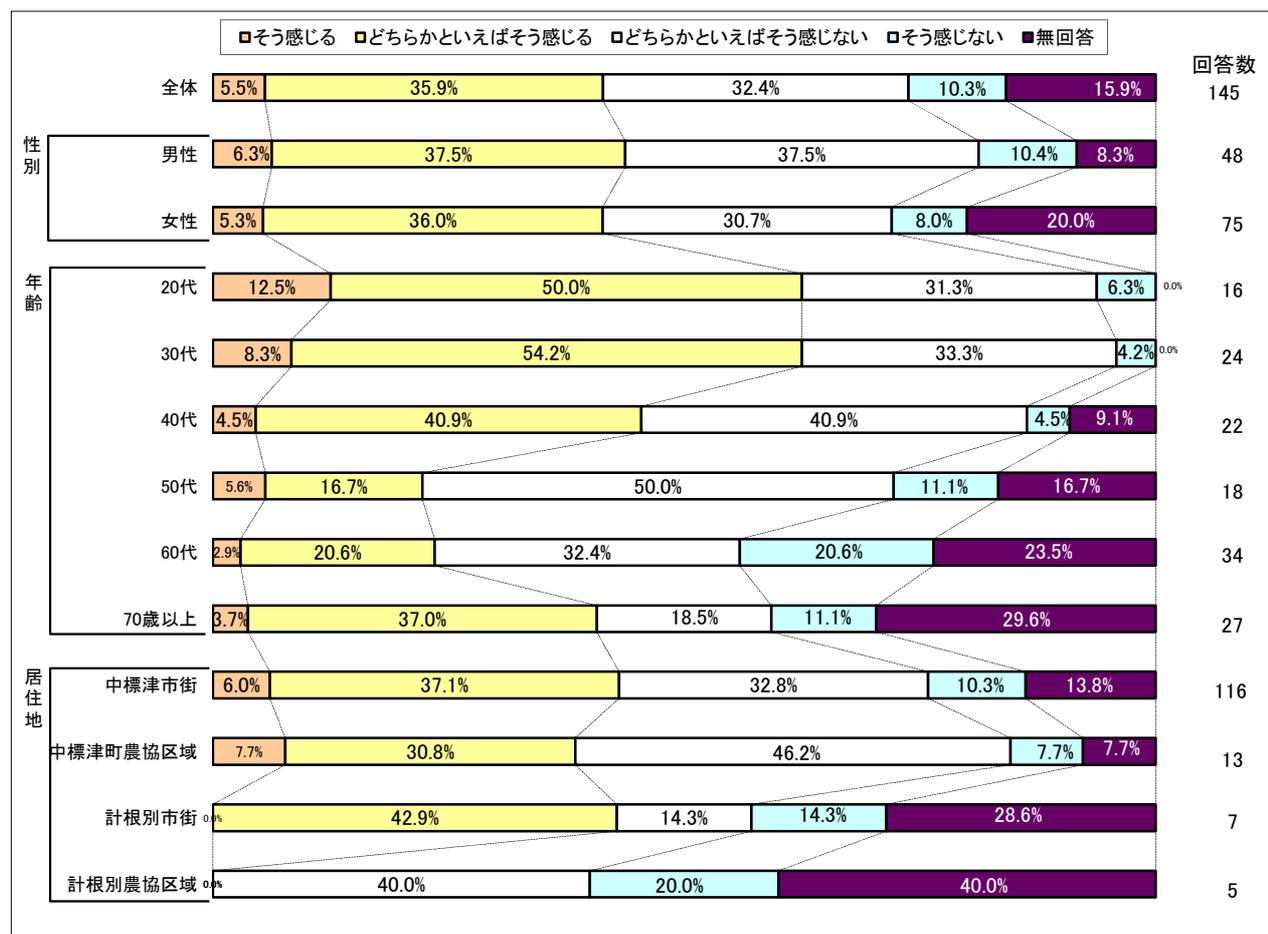
性別で“そう感じる”（「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」の合計）人の割合は男性が43.8%、女性が41.3%と男性が2.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代と30代が62.5%と高くなっていますが50代では22.3%と低くなっています。

居住地別で“そう感じている”人の割合が高いのは中標津市街で43.1%となっています。

[図表52参照]

図表52 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



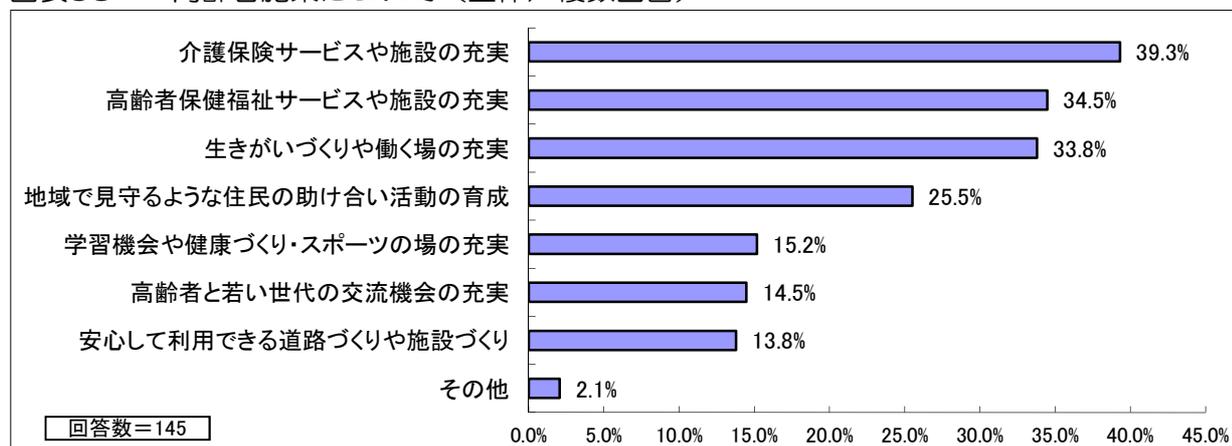
● 「介護保険サービスや施設の充実」が第1位。次いで「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」、「生きがいつくりや働く場の充実」の順。

今後必要な高齢者施策については、「介護保険サービスや施設の充実」(39.3%)で第1位に挙げられ、次いで「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(34.5%)、「生きがいつくりや働く場の充実」(33.8%)、「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」(25.5%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代・60代が「生きがいつくりや働く場の充実」、40代・70歳以上では「介護保険サービスや施設の充実」、50代は「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街・中標津町農協区域・計根別農協区域では「介護保険サービスや施設の充実」、計根別市街では「学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実」と「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」となっています。[図表53～54参照]

図表53 高齢者施策について（全体／複数回答）



図表54 高齢者施策について（年齢、居住地／複数回答）

		(上位3位 %)		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	生きがいつくりや働く場の充実 43.8	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 37.5	同率複数のため省略
	30代	生きがいつくりや働く場の充実 58.3	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 33.3	介護保険サービスや施設の充実 29.2
	40代	介護保険サービスや施設の充実 50.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 45.5	同率複数のため省略
	50代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 72.2	介護保険サービスや施設の充実 61.1	生きがいつくりや働く場の充実 22.2
年齢	60代	生きがいつくりや働く場の充実 41.2	介護保険サービスや施設の充実 35.3	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 32.4
	70歳以上	介護保険サービスや施設の充実 48.1	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 40.7	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 25.9
	居住地	中標津市街	介護保険サービスや施設の充実 38.8	生きがいつくりや働く場の充実 37.1
	中標津町農協区域	介護保険サービスや施設の充実 46.2	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 38.5	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 23.1
	計根別市街	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実 42.9	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率1位) 42.9	同率複数のため省略
	計根別農協区域	介護保険サービスや施設の充実 60.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 40.0	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

50、60、70代サイクリング町内ハーフコースとか。
施設に入れない人が多くなるので、町バスで老人を乗せて送迎、軽い運動や、イスに座った運動をする。

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

● “そう感じる” が33.1%、 “そう感じない” が42.1%。

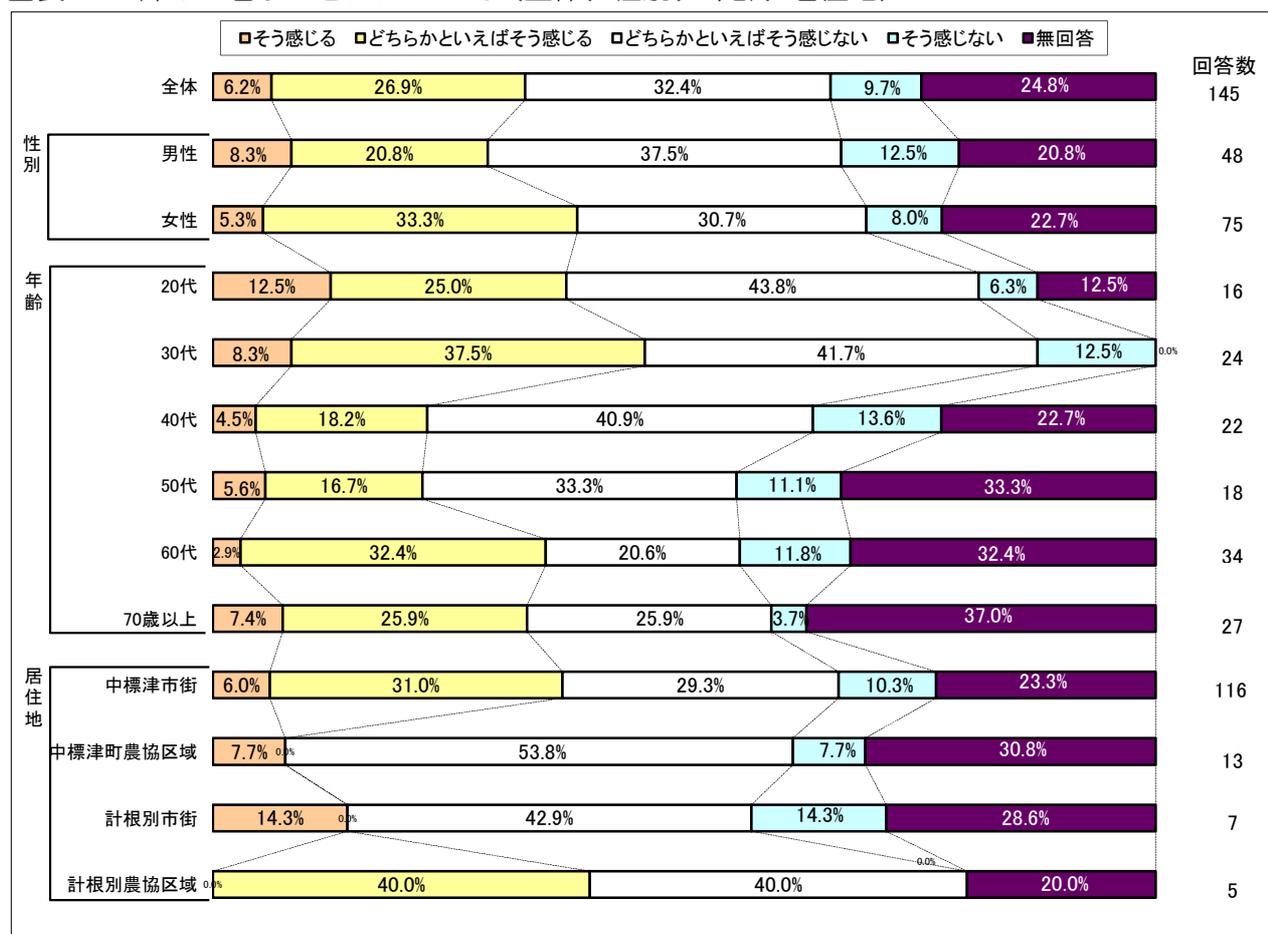
障害者サービスが整っていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(26.9%)これに「そう感じる」(6.2%)をあわせた“整っていると感じる”人は、33.1%となっています。

一方、“整っていないと感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(32.4%)、「そう感じない」(9.7%)の合計）は42.1%となっています。

性別で“整っていると感じる”（「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」の合計）人の割合は男性が29.1%、女性が38.6%と女性が9.5ポイント上回っています。

年齢別の“整っていると感じる”人の割合は30代が45.8%となっていますが50代では22.3%と低くなっています。[図表55参照]

図表55 障がい者サービスについて（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

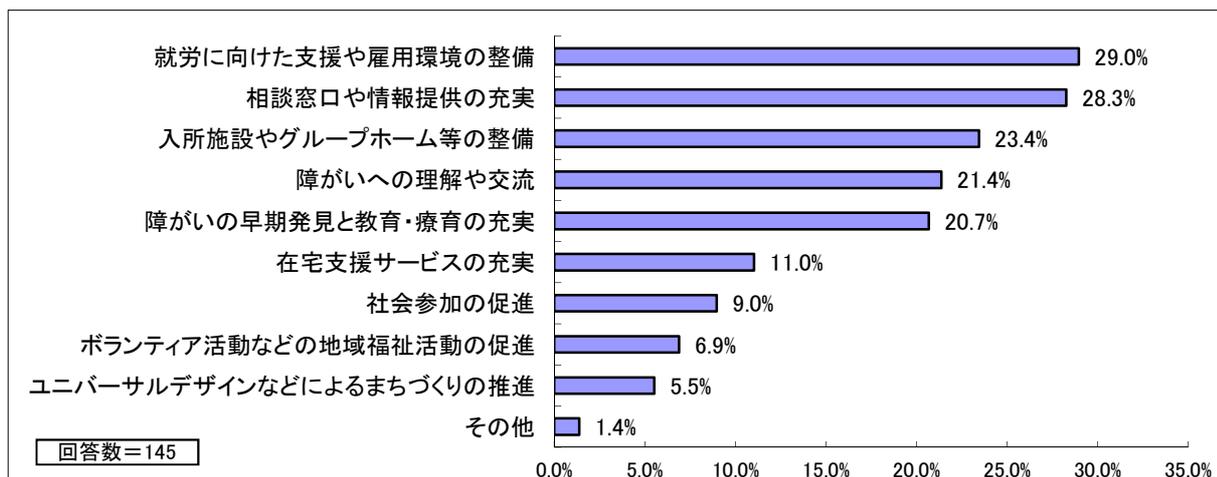


●「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が第1位。次いで「相談窓口や情報提供の充実」、「入所施設やグループホーム等の整備」の順。

今後必要な障がい者施策については、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」(29.0%)で第1位に挙げられ、次いで「相談窓口や情報提供の充実」(28.3%)、「入所施設やグループホーム等の整備」(23.4%)、「障がいへの理解や交流」(21.4%)、「障がいの早期発見と教育・療育の充実」(20.7%)の順となっています。

年齢別の第1位は20代は「障害への理解や交流」・30代・60代が「相談窓口や情報提供の充実」「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、40代は「障がいの早期発見と教育・療育の充実」、50代は「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、70歳以上では「入所施設やグループホーム等の整備」となっています。

図表56 障がい者施策について（全体／複数回答）



図表57 障がい者施策について（年齢、居住地／複数回答）

		(上位3位 %)		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	障がいへの理解や交流 37.5	障がいの早期発見と教育・療育の充実 25.0	同率複数のため省略 -
	30代	相談窓口や情報提供の充実 41.7	就労に向けた支援や雇用環境の整備 37.5	障がいへの理解や交流 29.2
	40代	障がいの早期発見と教育・療育の充実 36.4	障がいへの理解や交流 31.8	就労に向けた支援や雇用環境の整備 22.7
	50代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 50.0	相談窓口や情報提供の充実 27.8	入所施設やグループホーム等の整備 22.2
	60代	相談窓口や情報提供の充実 38.2	就労に向けた支援や雇用環境の整備 32.4	入所施設やグループホーム等の整備 26.5
	70歳以上	入所施設やグループホーム等の整備 29.6	相談窓口や情報提供の充実 22.2	同率複数のため省略 -
	居住地	中標津市街	相談窓口や情報提供の充実 31.0	就労に向けた支援や雇用環境の整備 25.0
中標津町農協区域		就労に向けた支援や雇用環境の整備 46.2	入所施設やグループホーム等の整備 38.5	相談窓口や情報提供の充実 30.8
計根別市街		就労に向けた支援や雇用環境の整備 71.4	入所施設やグループホーム等の整備 28.6	障がいへの理解や交流 (同率2位) 28.6
計根別農協区域		同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

健全者の偏見の目をなくす促進

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

● “そう感じる” が26.8%、“そう感じない” が53.8%。

身近なところで相談でき支えてもらえる福祉の制度や活動があると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（23.4%）これに「そう感じる」（3.4%）をあわせた“そう感じる”人は、26.8%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（37.2%）、「そう感じない」（16.6%）の合計）人は53.8%となっています。

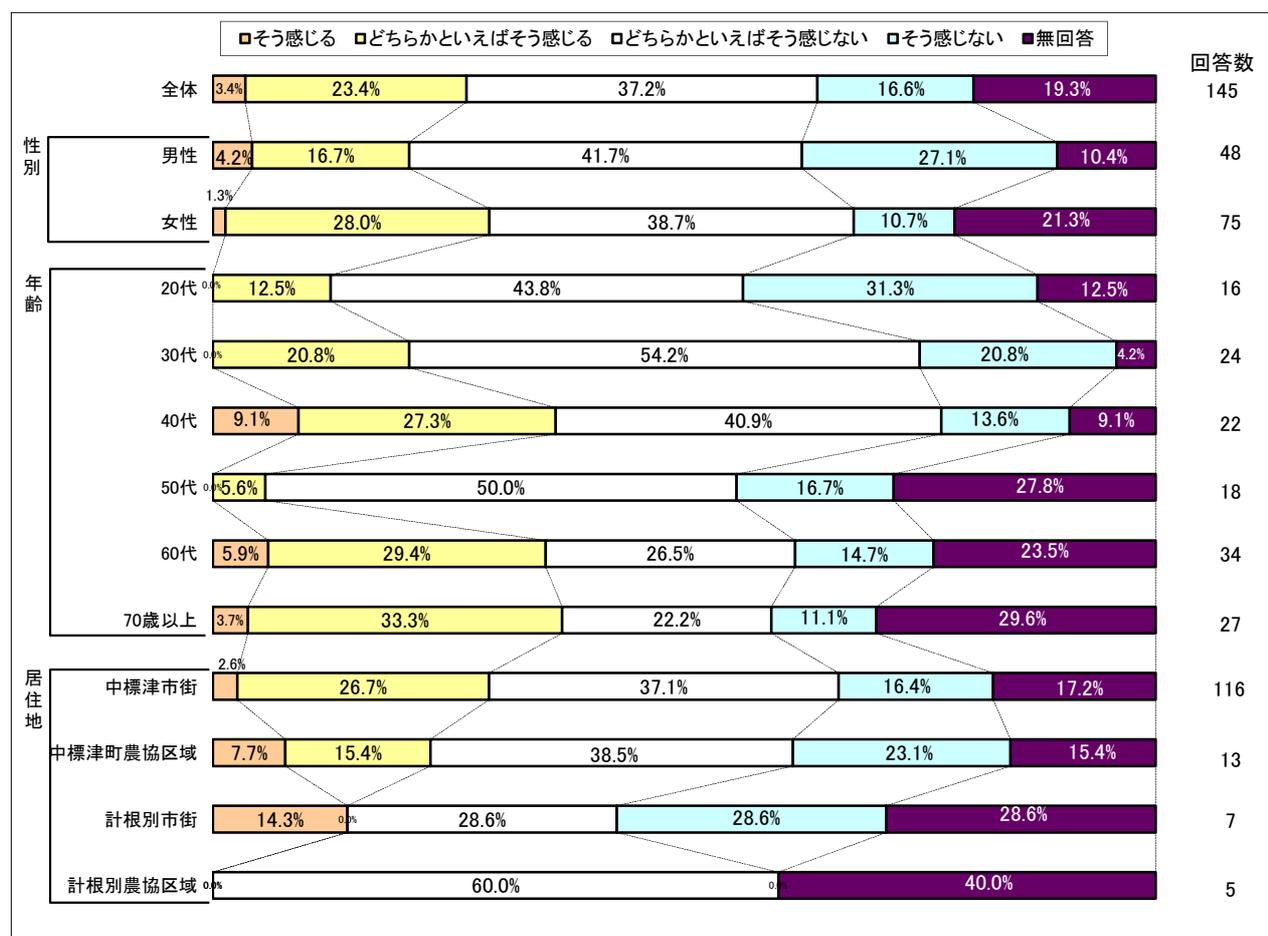
性別の“そう感じる”人の割合は男性が20.9%、女性が29.3%と女性が8.4ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は40代が36.4%となっていますが、50代では5.6%と低くなっています。

居住地別の“そう感じる”人の割合は中標津市街が高く29.3%となっています。

[図表58参照]

図表58 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じるか。



○この設問に対する具体的な回答は90ページに掲載しています。

問44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。

● “定期的に受けている”が51.7%、「定期的ではないが受けたことがある」が24.1%、「受けたことがない」が20.0%。

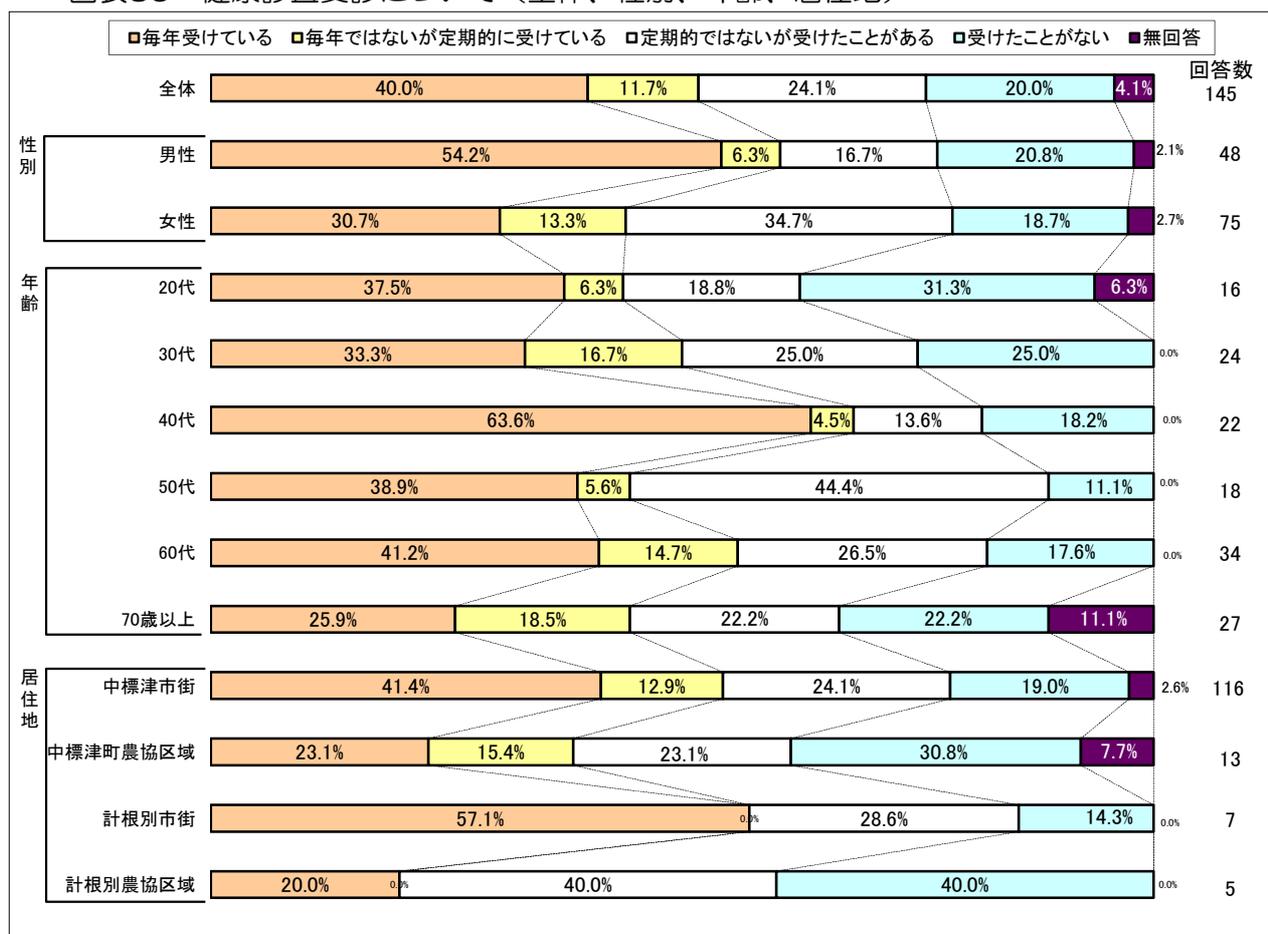
健康診査やがん検診を受けているかたすねたところ、「毎年受けている」40.0%）と「毎年ではないが定期的に受けている」（11.7%）を合わせた51.7%の人が定期的に受けていると回答されていますが、一方で「受けたことがない」人は20.0%となっています。

性別の“定期的に受けている”（「毎年受けている」と「毎年ではないが定期的に受けている」の合計）人の割合は男性が60.5%、女性が44.0%と女性が16.5ポイント低くなっています。

年齢別の“定期的に受けている”人の割合は40代が68.1%となっていますが、20代では43.8%と低くなっています。

居住地別の“定期的に受けている”人の割合は計根別市街では57.1%と高くなっています。[図表59参照]

図表59 健康診査受診について（全体、性別、年齢、居住地）



(6) 教育・文化・スポーツについて

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

● “そう感じる” が57.3%、 “そう感じない” が19.3%。

児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(44.0%) これに「そう感じる」(16.6%)をあわせた“そう感じる”人は、57.3%となっています。

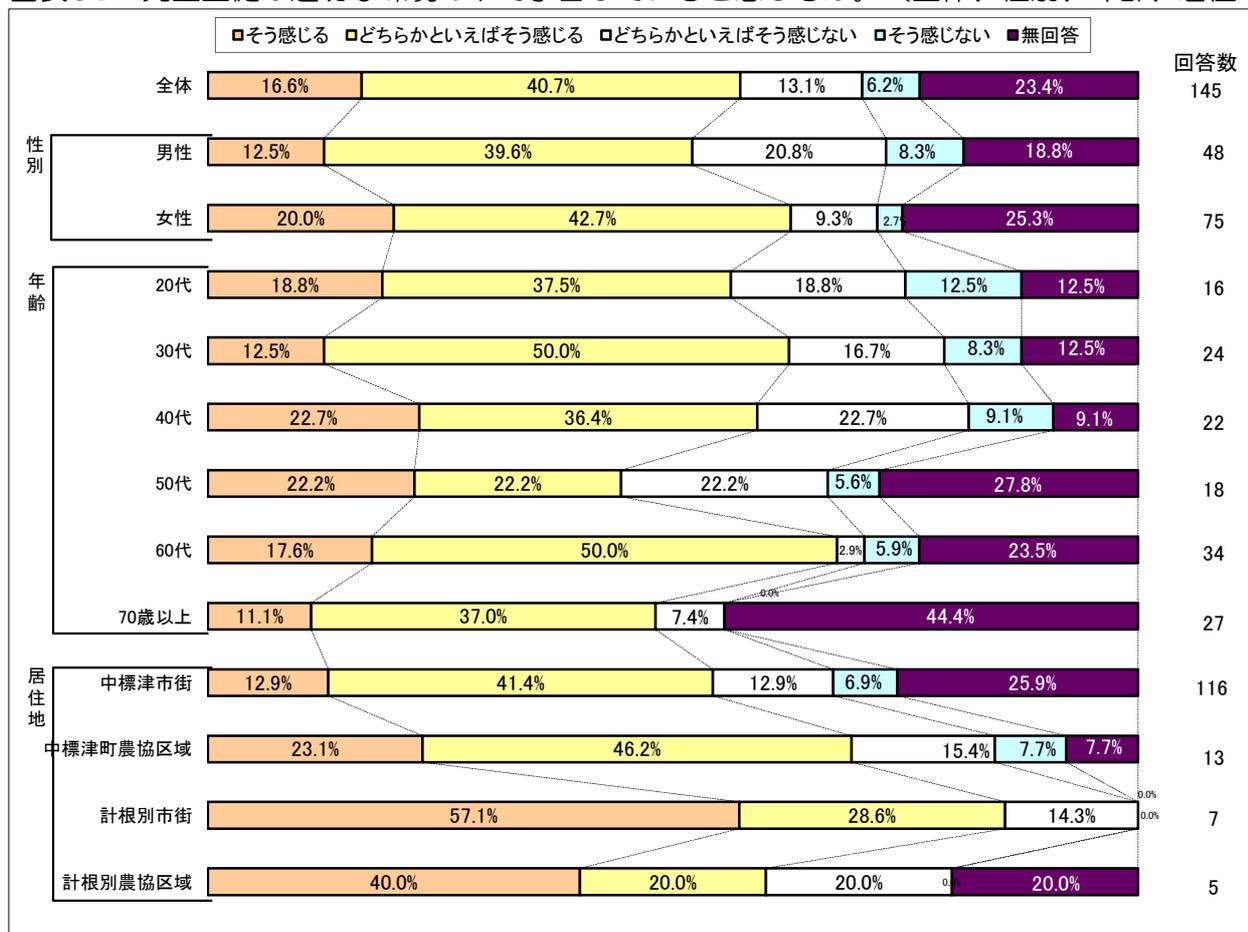
一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（13.1%）、「そう感じない」（6.2%）の合計）は19.3%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が52.1%、女性が62.7%と女性が10.6ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、60代では67.6%となっていますが、50代では44.4%と低くなっています。

居住地別の“そう感じる”人の割合は計根別市街が85.7%となっていますが、中標津市街では54.3%と低くなっています。[図表60参照]

図表60 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるか。（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は90ページに掲載しています。

問46 青少年を見守る活動に参加していますか。



- “参加している”が7.6%、“参加していない”が82.8%。
“参加したい”が40.7%、“参加するつもりはない”が49.7%。

青少年を見守る活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（48.3%）が最も多く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」（34.5%）、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（6.2%）、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.4%）の順となっています。

これを現在の参加状況でみると、現在“参加している人”（「参加しているし、今後も参加したい」（6.2%）及び「参加しているが、今後参加するつもりはない」（1.4%）の合計）が7.6%、一方、“参加していない人”（「参加していないが、今後は参加したい」（34.5%）及び「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（48.3%）の合計）は82.8%となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（6.2%）及び「参加していないが今後は参加したい」（34.5%）の合計）が40.7%、今後“参加したくない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（48.3%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.4%）の合計）が49.7%となっており、現在“参加している”人の7.6%から今後“参加したい”人が40.7%と大きく増加する結果となっています。

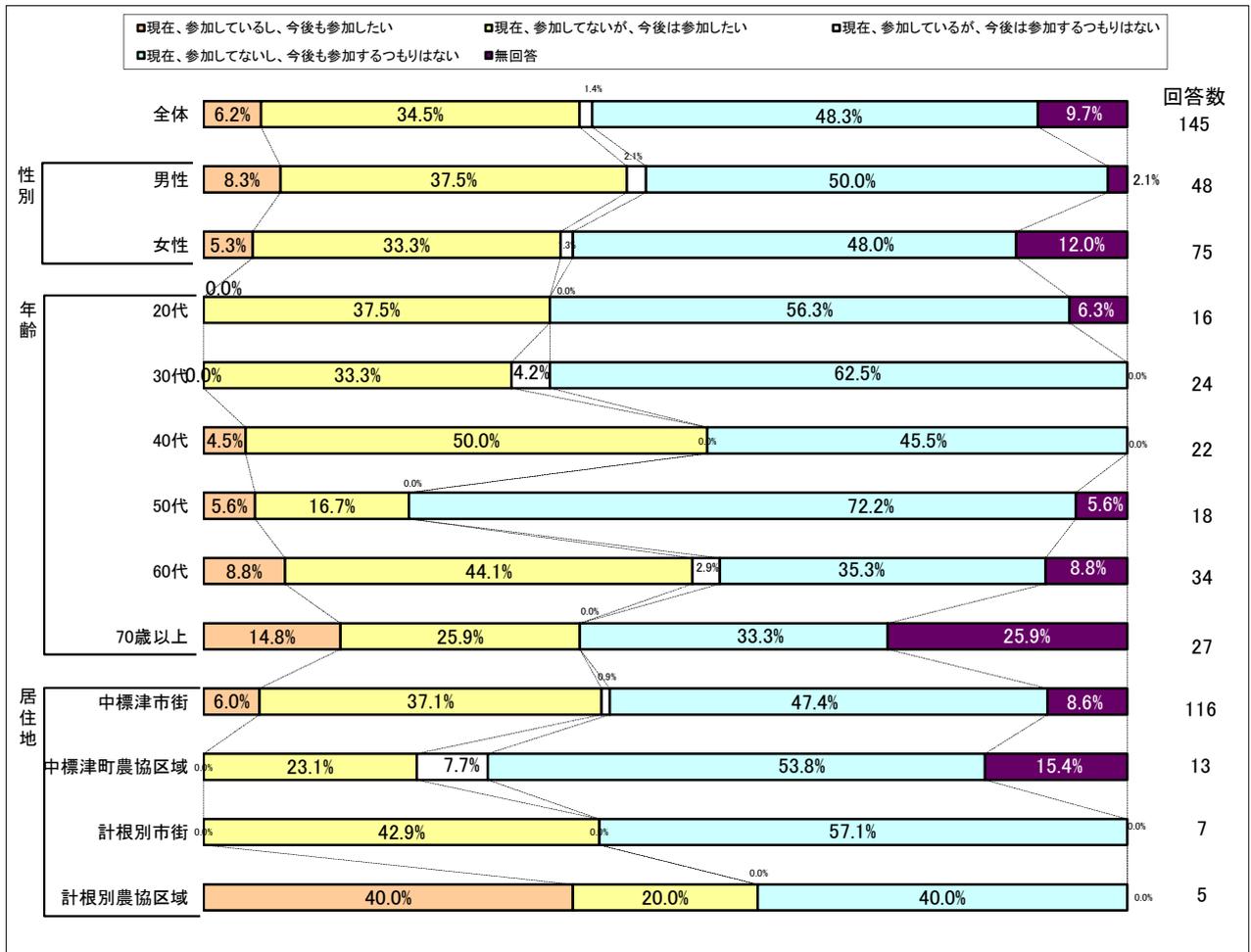
性別でみると“参加したい”人の割合は男性で45.8%、女性で38.6%となっています。

年齢別の“参加したい”人の割合は40代が54.5%で一番高く、50代が22.3%と低くなっています。

さらに居住地別の“参加したい”人の割合は、中標津市街（43.1%）、中標津町農協区域（23.1%）、計根別市街（42.9%）計根別農協区域（60.0%）となっています。

[図表61参照]

図表61 青少年を見守る活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。

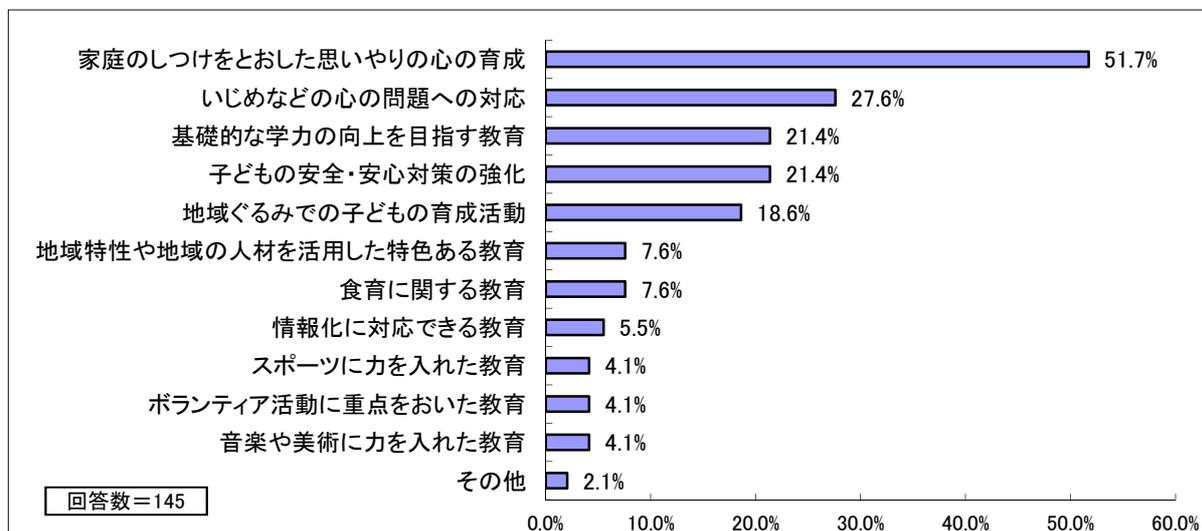


●「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が第1位。次いで「いじめなどの心の問題への対応」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」、「子どもの安全・安心対策の強化」の順。

子どもの豊かな人間教育に必要なことをたずねたところ、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」（51.7%）が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで「いじめなどの心の問題への対応」（27.6%）、「基礎的な学力の向上を目指す教育」・「子どもの安全・安心対策の強化」（同率21.4%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代が「いじめなどの心の問題への対応」、他の年齢層では、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」となっております。[図表62～63参照]

図表62 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



図表63 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢	年齢	必要なこと		
		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	いじめなどの心の問題への対応 50.0	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 37.5	地域ぐるみでの子どもの育成活動 31.3
	30代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 58.3	基礎的な学力の向上を目指す教育 29.2	いじめなどの心の問題への対応 25.0
	40代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 50.0	基礎的な学力の向上を目指す教育 31.8	いじめなどの心の問題への対応 (同率2位) 31.8
	50代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 61.1	子どもの安全・安心対策の強化 27.8	基礎的な学力の向上を目指す教育 22.2
	60代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 58.8	いじめなどの心の問題への対応 35.3	子どもの安全・安心対策の強化 23.5
	70歳以上	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 44.4	地域ぐるみでの子どもの育成活動 33.3	子どもの安全・安心対策の強化 22.2
居 住 地	中標津市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 55.2	いじめなどの心の問題への対応 28.4	基礎的な学力の向上を目指す教育 21.6
	中標津町農協区域	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 46.2	地域ぐるみでの子どもの育成活動 30.8	同率複数のため省略
	計根別市街	いじめなどの心の問題への対応 42.9	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別農協区域	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 40.0	子どもの安全・安心対策の強化 (同率1位) 40.0	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

家庭環境の心の豊かさ。
通学路が狭く歩道が少ない。児童の通学が危険
所得や親のサポート不足による子どもへの教育の差を埋める
モラルの必要性、危機感

問48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が21.3%、“取り組んでいない” が72.4%。

文化・芸術活動に取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(10.3%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(11.0%)をあわせた“取り組んでいる”という人が21.3%となっています。

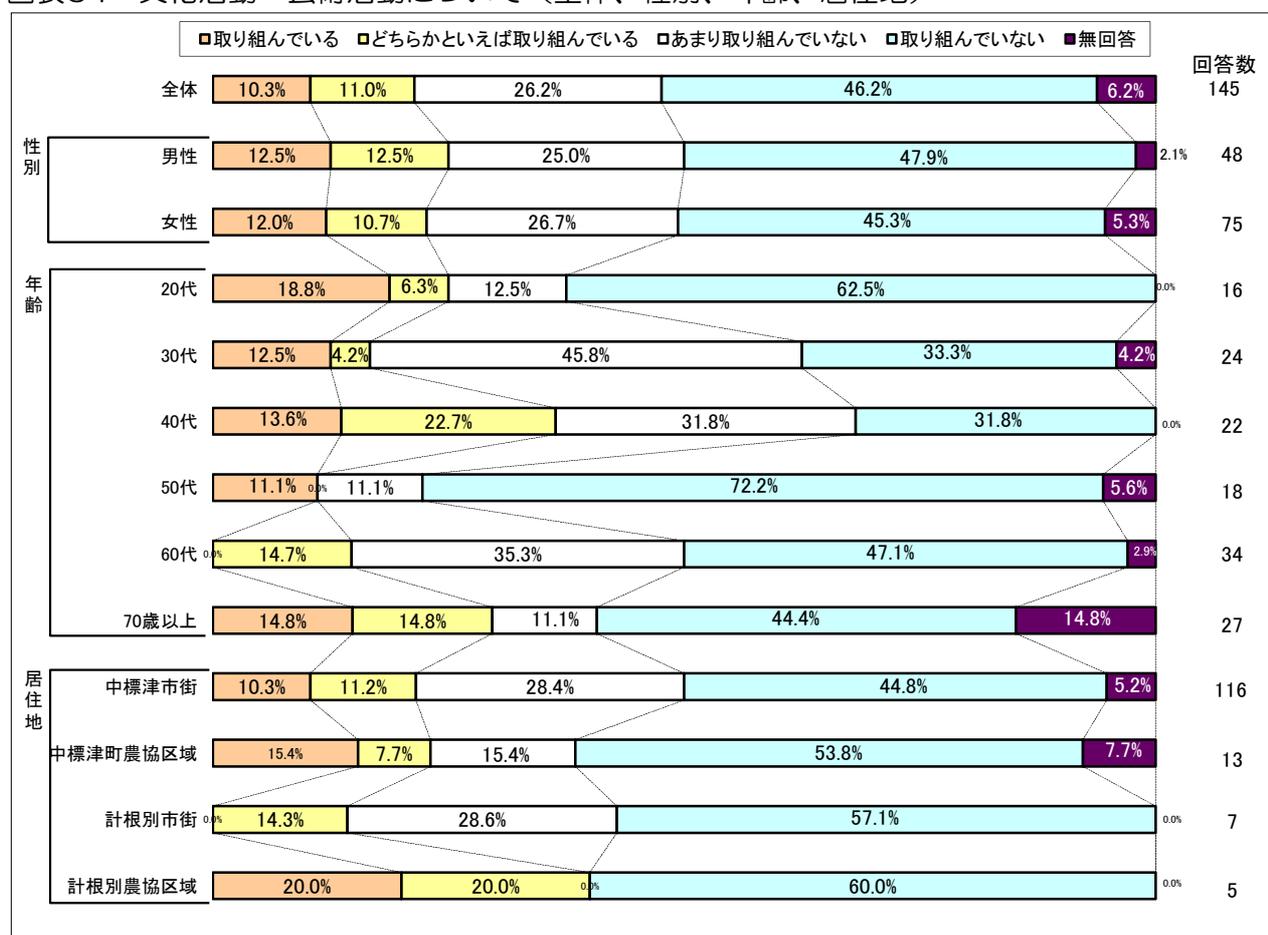
一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」(26.2%)、「取り組んでいない」(46.2%)の合計）人は72.4%となっています。

性別の“取り組んでいる”（「取り組んでいる」と「どちらかといえば取り組んでいる」の合計）人の割合は男性が25.0%、女性が22.7%と男性が2.3ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は40代が36.3%となっていますが、50代では11.1%となっています。

居住地別で“取り組んでいる”人の割合は計根別農協区域が40.0%となっていますが、計根別市街では14.3%となっています。[図表64参照]

図表64 文化活動・芸術活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問49 生涯学習情報誌「らいふまっぴ」から知りたい情報は得られていますか。



● “得られている” が32.4%、“得られていない” が55.8%。

生涯学習情報誌から知りたい情報が得られているかたずねたところ、「得られている」(7.6%)これに「どちらかといえば得られている」(24.8%)をあわせた“得られている”という人が32.4%となっています。

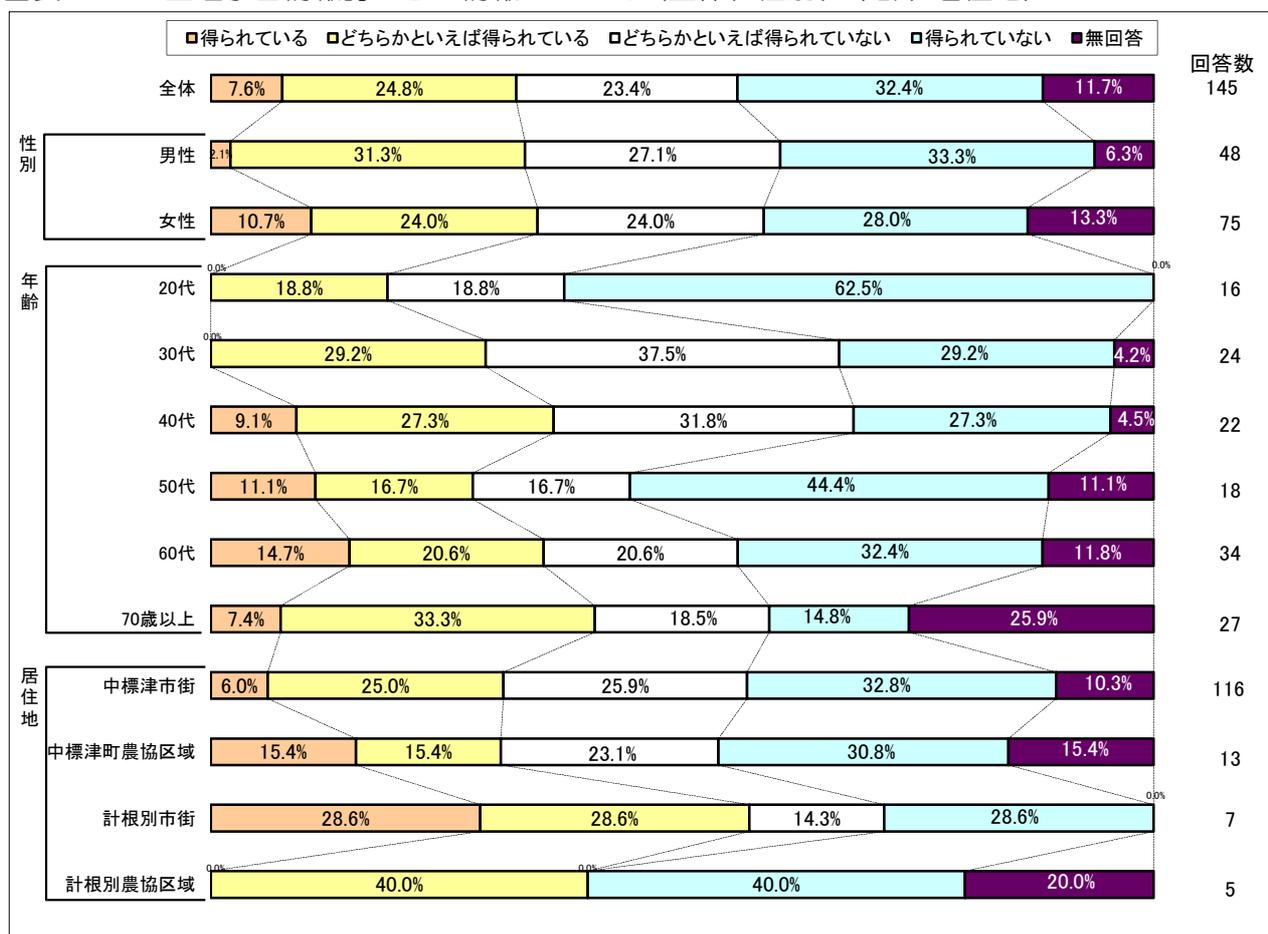
一方、“得られていない”（「どちらかといえば得られていない」(23.4%)、「得られていない」(32.4%)の合計）人は55.8%となっています。

性別の“得られている”（「得られている」と「どちらかといえば得られている」の合計）人の割合は男性が33.4%、女性が34.7%と女性が1.3ポイント上回っています。

年齢別の“得られている”人の割合は70歳以上が40.7%と一番高く、20代では18.8%と低くなっています。

居住地別の“得られている”人の割合は、計根別市街では57.2%となっていますが、中標津町農協区域では30.8%となっています。[図表65参照]

図表65 生涯学習情報誌からの情報について（全体、性別、年齢、居住地）



問50 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

●「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」の順。

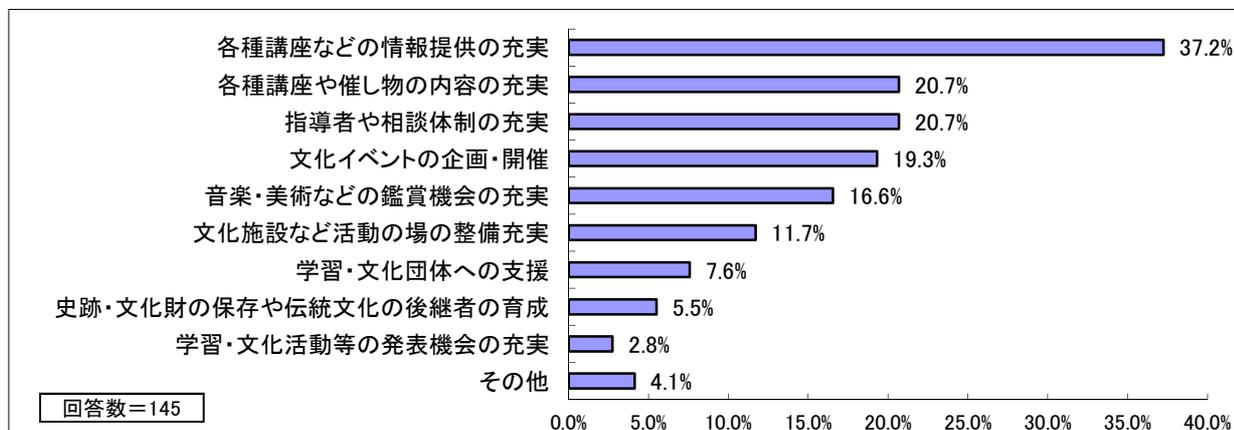
生涯学習活動や文化活動を活発にするには、「各種講座などの情報提供の充実」(37.2%)が第1位に挙げられ、次いで「各種講座や催し物の内容の充実」及び「指導者や相談体制の充実」(同率20.7%)、「文化イベントの企画・開催」(19.3%)、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(16.6%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・40代・50代・60代・70歳以上が「各種講座などの情報提供の充実」、30代は「文化イベントの企画・開催」となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街・計根別市街・計根別農協区域では「各種講座などの情報提供の充実」、中標津町農協区域では、「指導者や相談体制の充実」となっています。

[図表66～67参照]

図表66 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと(全体/複数回答)



図表67 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと(年齢、居住地/複数回答) (上位3位%)

年	年齢	必要なこと(上位3位%)		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	各種講座などの情報提供の充実 43.8	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 37.5	文化イベントの企画・開催 25.0
	30代	文化イベントの企画・開催 33.3	各種講座などの情報提供の充実 29.2	指導者や相談体制の充実 29.2
	40代	各種講座などの情報提供の充実 45.5	各種講座や催し物の内容の充実 31.8	文化イベントの企画・開催 27.3
	50代	各種講座などの情報提供の充実 38.9	文化イベントの企画・開催 27.8	同率複数のため省略 -
	60代	各種講座などの情報提供の充実 44.1	各種講座や催し物の内容の充実 26.5	指導者や相談体制の充実 17.6
	70歳以上	各種講座などの情報提供の充実 29.6	指導者や相談体制の充実 22.2	文化施設など活動の場の整備充実 18.5
	居住地	中標津市街	各種講座などの情報提供の充実 39.7	各種講座や催し物の内容の充実 23.3
中標津町農協区域		指導者や相談体制の充実 30.8	文化施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 30.8	同率複数のため省略 -
計根別市街		各種講座などの情報提供の充実 42.9	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 (同率1位) 42.9	同率複数のため省略 -
計根別農協区域		各種講座などの情報提供の充実 60.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

若者、高齢者ふくめでの英語、韓国語講座を安く。

外部との交流を増やす。

日本舞踊などをもっと安い料金で教えてもらえたら。

何よりも、本人のやる気、意識の向上

町民の意識改革、興味を持ってもらう

問51 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が29.7%、“取り組んでいない” が62.8%。

運動やスポーツに取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(15.9%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(13.8%)をあわせた“取り組んでいる”という人が29.7%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「取り組んでいない」(35.9%)と「あまり取り組んでいない」(26.9%)の合計）人は62.8%となっています。

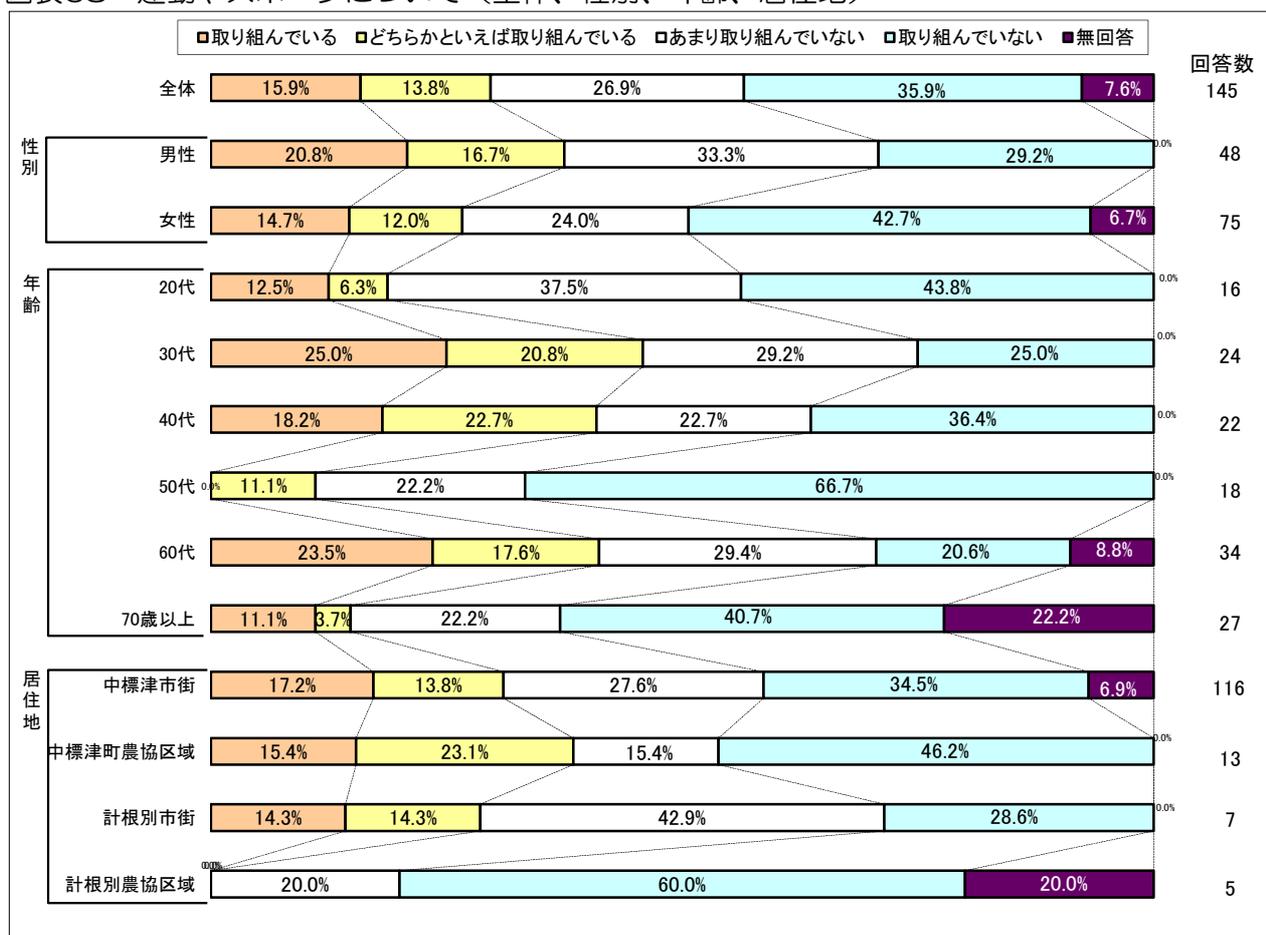
性別の“取り組んでいる”（「取り組んでいる」と「どちらかといえば取り組んでいる」の合計）人の割合は男性が37.5%、女性が26.7%と男性が10.8ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は30代が45.8%と高くなっていますが、50代では11.1%となっています。

居住地別の“取り組んでいる”人の割合は中標津町農協区域が高く38.5%となっています。

[図表68参照]

図表68 運動やスポーツについて（全体、性別、年齢、居住地）



問52 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



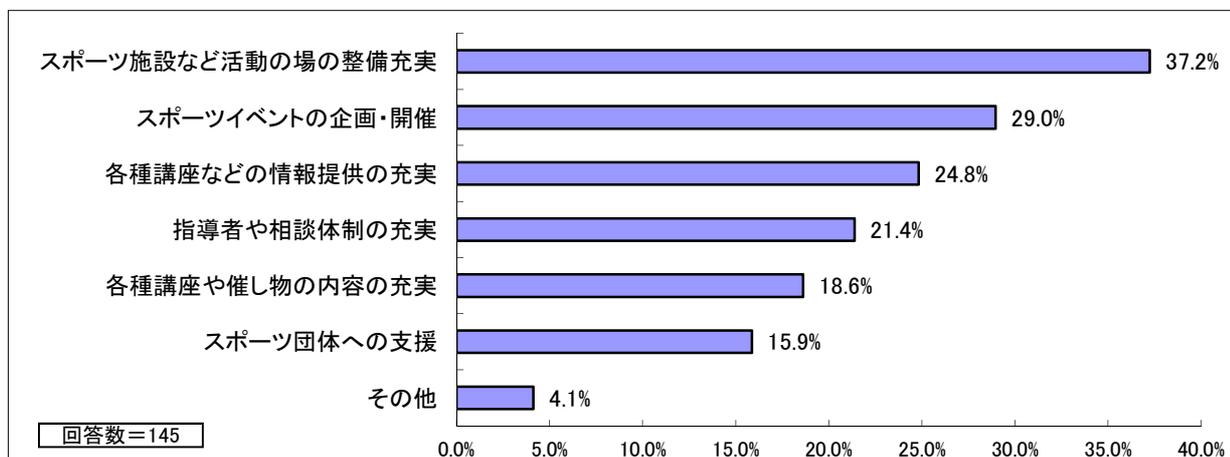
●「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が第1位。次いで「スポーツイベントの企画・開催」「各種講座などの情報提供の充実」、の順。

スポーツ活動を活発にするには、「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(37.2%)が第1位に挙げられ、次いで「スポーツイベントの企画・開催」(29.0%)、「各種講座などの情報提供の充実」(24.8%)、「指導者や相談体制の充実」(21.4%)などの順となっています。

年齢別の第1位は30代・40代・60代では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、50代では「スポーツイベントの企画・開催」、20代は「スポーツ施設などの活動の場の整備充実」と「スポーツイベントの企画・開催」(同率43.8%)、70歳以上では「指導者や相談体制の充実」と「各種講座などの情報提供の充実」(同率22.2%)となっています。

[図表69～70参照]

図表69 スポーツ活動を活発にしていくための取り組みについて(全体/複数回答)



図表70 スポーツ活動を活発にしていくための取り組みについて(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 43.8	スポーツイベントの企画・開催 (同率1位) 43.8	各種講座などの情報提供の充実 37.5
	30代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 41.7	スポーツ団体への支援 37.5	スポーツイベントの企画・開催 (同率2位) 37.5
	40代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 50.0	各種講座などの情報提供の充実 27.3	各種講座や催し物の内容の充実 22.7
	50代	スポーツイベントの企画・開催 50.0	スポーツ施設など活動の場の整備充実 38.9	各種講座などの情報提供の充実 33.3
	60代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 38.2	各種講座などの情報提供の充実 29.4	スポーツイベントの企画・開催 (同率2位) 29.4
	70歳以上	指導者や相談体制の充実 22.2	各種講座などの情報提供の充実 (同率1位) 22.2	スポーツ施設など活動の場の整備充実 18.5
居住地	中標津市街	スポーツ施設など活動の場の整備充実 38.8	スポーツイベントの企画・開催 29.3	各種講座などの情報提供の充実 25.0
	中標津町農協区域	スポーツ施設など活動の場の整備充実 38.5	指導者や相談体制の充実 (同率1位) 38.5	同率複数のため省略
	計根別市街	スポーツイベントの企画・開催 57.1	各種講座などの情報提供の充実 42.9	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率2位) 42.9
	計根別農協区域	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

体育館の年間パスポートを作してほしい。
運動会、お祭り→3, 4月。食べ物イベント。
気軽に参加できる体験的なイベントとか。
町民の意識改革、興味を持ってもらう
歩道整備

(7) 人権・男女共同参画について

問53 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

● “そう感じる” が44.8%、“そう感じない” が38.7%。

男女が平等に参加できる社会になっていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(38.6%)これに「そう感じる」(6.2%)をあわせた“そう感じる”人は、44.8%となっています。

一方、“そう感じない”人(「どちらかといえばそう感じない」(29.0%)、「そう感じない」(9.7%)の合計)は38.7%となっています。

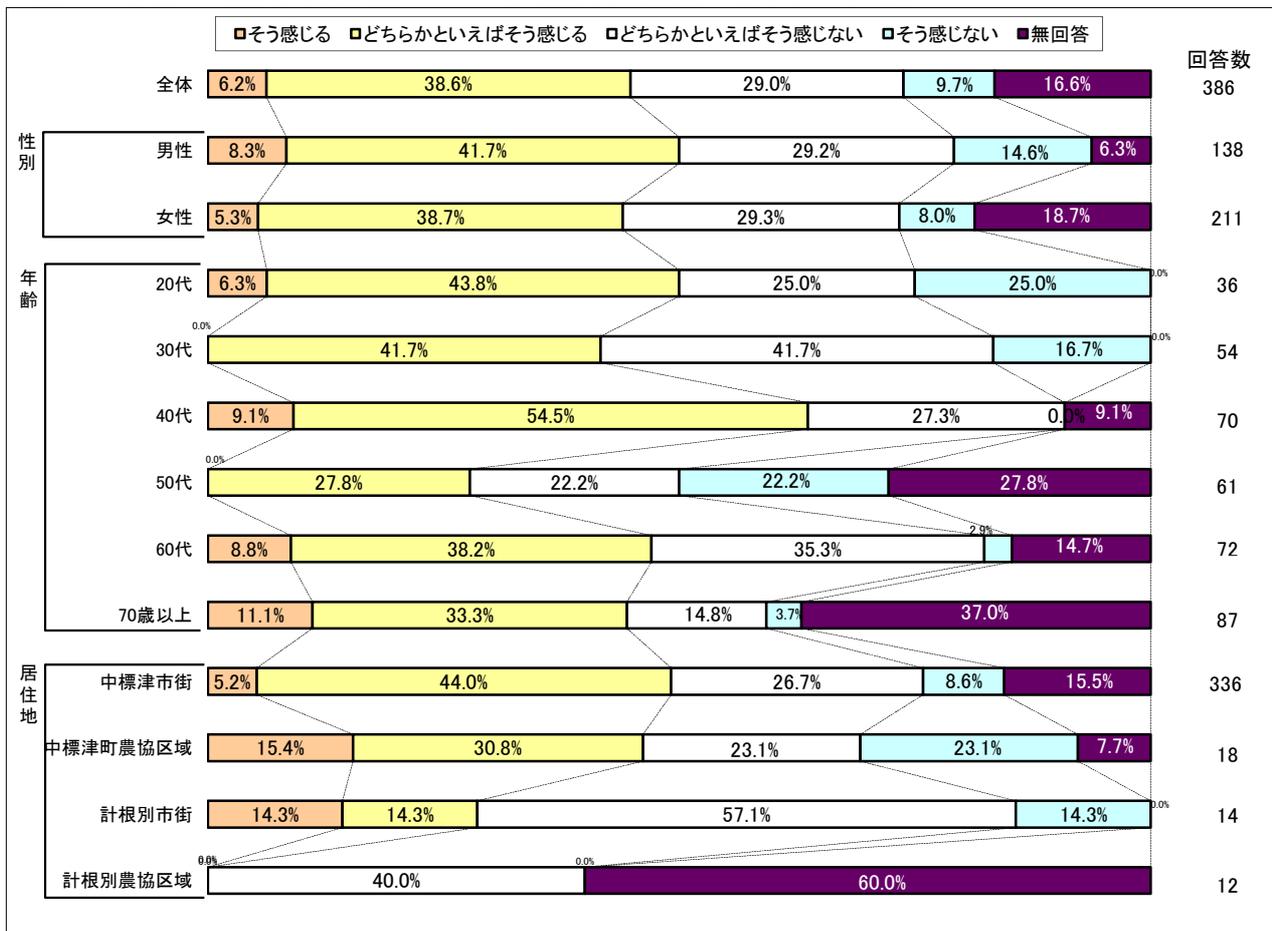
性別の“そう感じる”人の割合は男性が50.0%、女性が44.0%と男性が6ポイント上回っています。

年齢別の、“そう感じる”人の割合は40代では63.6%となっていますが、50代では27.8%となっています。

居住地の“そう感じる”人の割合が高いのは中標津市街で49.2%となっています。

[図表71参照]

図表71 人権・男女共同参画について(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は91ページに掲載しています。

問54 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



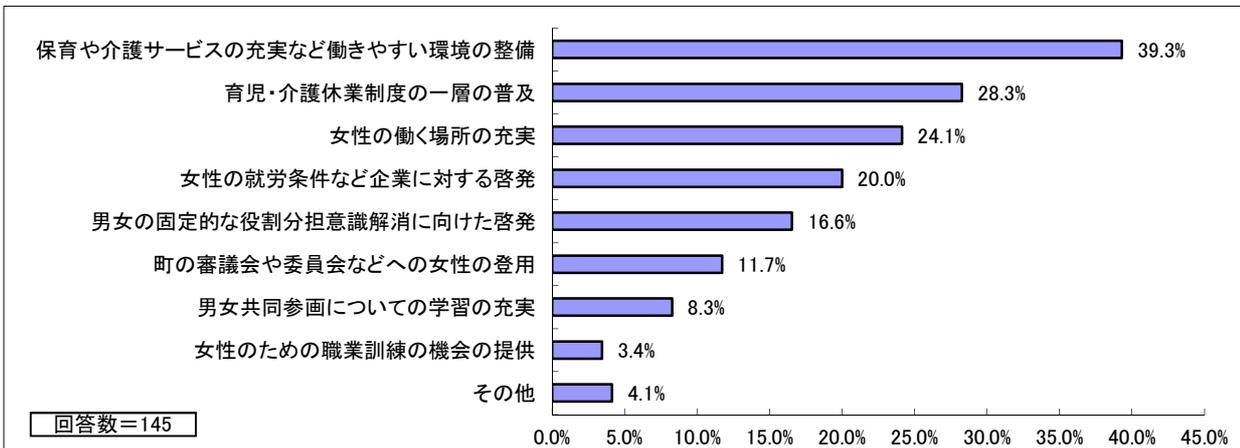
●「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が第1位。次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」、「女性の働く場所の充実」の順。

男女平等に参加できる社会形成の今後の取り組みが必要かたずねたところ、「保育や介護サービスの住自治など働きやすい環境の整備」（39.3%）が第1位に挙げられ、次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」（28.3%）、「女性の働く場所の充実」（24.1%）、「女性の就労条件など企業に対する啓発」（20.0%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代では「女性の働く場所の充実」、30代は「育児・介護休業制度の一層の普及」、40代より上のすべての年齢層は「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっています。

また、居住地別の第1位は計根別市街では「女性の就労条件など企業に対する啓発」となっていますが、他の地域は「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっています。[図表72～73参照]

図表72 男女が平等に参加できる社会形成の取り組みについて（全体／複数回答）



図表73 男女が平等に参加できる社会形成の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	女性の働く場所の充実 37.5	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率1位) 37.5	同率複数のため省略 —
	30代	育児・介護休業制度の一層の普及 54.2	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 41.7	女性の働く場所の充実 37.5
	40代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 45.5	育児・介護休業制度の一層の普及 27.3	同率複数のため省略 —
	50代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 50.0	女性の働く場所の充実 33.3	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 22.2
	60代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 41.2	育児・介護休業制度の一層の普及 32.4	女性の働く場所の充実 29.4
	70歳以上	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 33.3	女性の就労条件など企業に対する啓発 18.5	町の審議会や委員会などへの女性の登用 (同率2位) 18.5
居 住 地	中標津市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 37.1	育児・介護休業制度の一層の普及 33.6	女性の働く場所の充実 25.0
	中標津町農協区域	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 61.5	女性の働く場所の充実 30.8	町の審議会や委員会などへの女性の登用 (同率2位) 30.8
	計根別市街	女性の就労条件など企業に対する啓発 57.1	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 42.9	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 40.0	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

特に平等にはこだわらない。能力、活動力有る人が男女とちががやれば良い。また、男の育休も取れるなら乳児期だけでなく学校と親が参加する行事等に会社側が気持ち良く休みを取らせれば良いと思います。

賃金を男女平等位にしてほしい。

学校教育の段階から差別や格付けを撤廃するくらいの勢いがないとムリ。

職業訓練よりミスマッチの解消

(8) 地域間交流について

問55 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。

● “そう思う” が38.6%、“そう思わない” が50.3%。

国際交流や他地域との交流に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(28.3%)これに「そう思う」(10.3%)をあわせた“そう思う”という人が38.6%となっています。

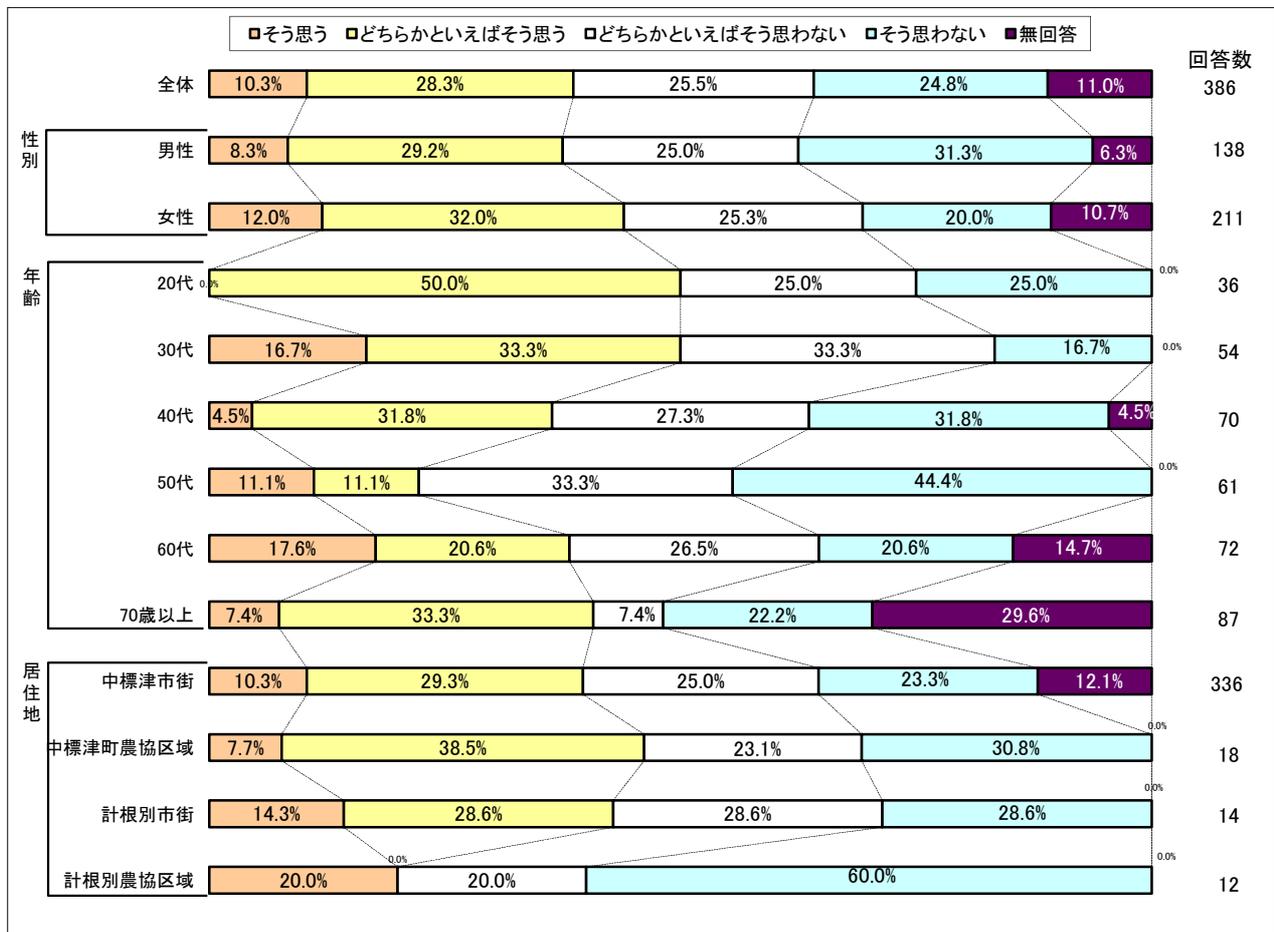
一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(25.5%)、「そう思わない」(24.8%)の合計）は50.3%となっています。

性別の“そう思う”（「そう感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）人の割合は男性が37.5%、女性が44.0%となり女性が6.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう思う”人の割合は20代・30代が50.0%となっていますが、50代では22.2%となっています。

居住地別の“そう思う”人の割合は中標津町農協区域が46.2%となっていますが、中標津市街では39.6%となっています。[図表74参照]

図表74 地域間交流の参加について（全体、性別、年齢、居住地）



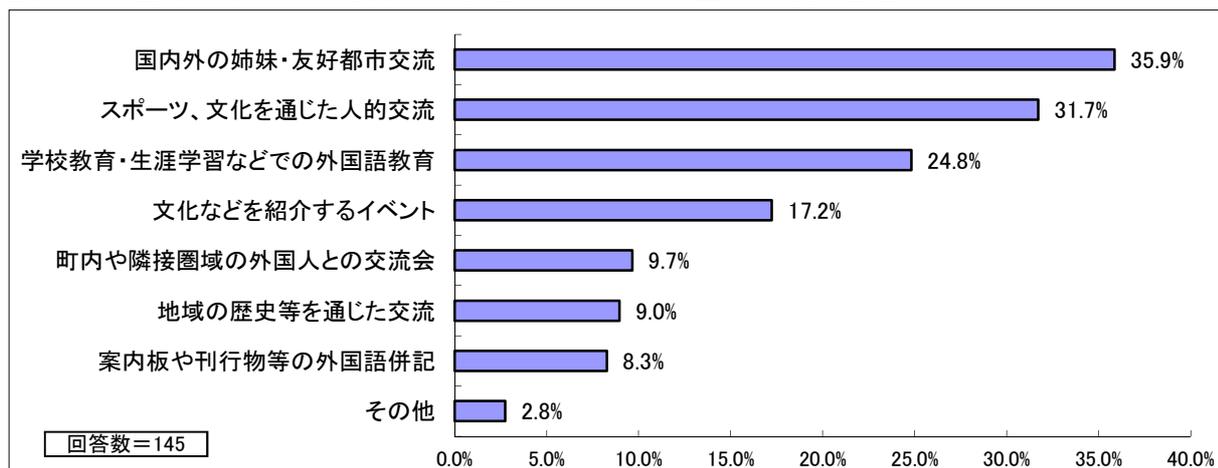
問56 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

● 「国内外の姉妹・友好都市交流」が第1位。次いで「スポーツ、文化を通じた人的交流」、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」の順。

国内外との交流活動について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「国内外の姉妹・友好都市交流」(35.9%)が第1位に挙げられ、次いで「スポーツ、文化を通じた人的交流」(31.7%)、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」(24.8%)、「文化などを紹介するイベント」(17.2%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代・50代・70歳以上では「国内外の姉妹・友好都市交流」、40代では「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、60代は「スポーツ、文化を通じた人的交流」及び「文化などを紹介するイベント」となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街と中標津町農協区域で「国内外の姉妹・友好都市交流」、計根別市街は「スポーツ、文化を通じた人的交流」計根別農協区域は「国内外の姉妹・友好都市交流」及び「スポーツ、文化を通じた人的交流」となっています。[図表75～76参照]
図表75 国内外との交流活動の取り組みについて(全体/複数回答)



図表76 国内外との交流活動の取り組みについて(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

年	年齢	上位3位 (%)		
		第1位	第2位	第3位
年	20代	国内外の姉妹・友好都市交流 50.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 31.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 25.0
	30代	国内外の姉妹・友好都市交流 50.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 45.8	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 29.2
	40代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 45.5	国内外の姉妹・友好都市交流 31.8	スポーツ、文化を通じた人的交流 27.3
	50代	国内外の姉妹・友好都市交流 50.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 33.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 16.7
	60代	スポーツ、文化を通じた人的交流 29.4	文化などを紹介するイベント (同率1位) 29.4	国内外の姉妹・友好都市交流 26.5
	70歳以上	国内外の姉妹・友好都市交流 25.9	スポーツ、文化を通じた人的交流 (同率1位) 25.9	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 18.5
	居住地	中標津市街	国内外の姉妹・友好都市交流 35.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 30.2
中標津町農協区域		国内外の姉妹・友好都市交流 53.8	スポーツ、文化を通じた人的交流 30.8	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率2位) 30.8
計根別市街		スポーツ、文化を通じた人的交流 57.1	文化などを紹介するイベント 42.9	同率複数のため省略 -
計根別農協区域		国内外の姉妹・友好都市交流 40.0	スポーツ、文化を通じた人的交流 (同率1位) 40.0	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率1位) 40.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

観光ガイド

(9) 北方領土問題について

問57 北方領土問題を身近な問題と感じますか。

● “そう感じる” が49.7%、“そう感じない” が35.2%。

北方領土問題を身近な問題と感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」29.7%）これに「そう感じる」（20.0%）をあわせた“そう感じる”人は、49.7%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」（21.4%）、「そう感じない」（13.8%）の合計）は35.2%となっています。

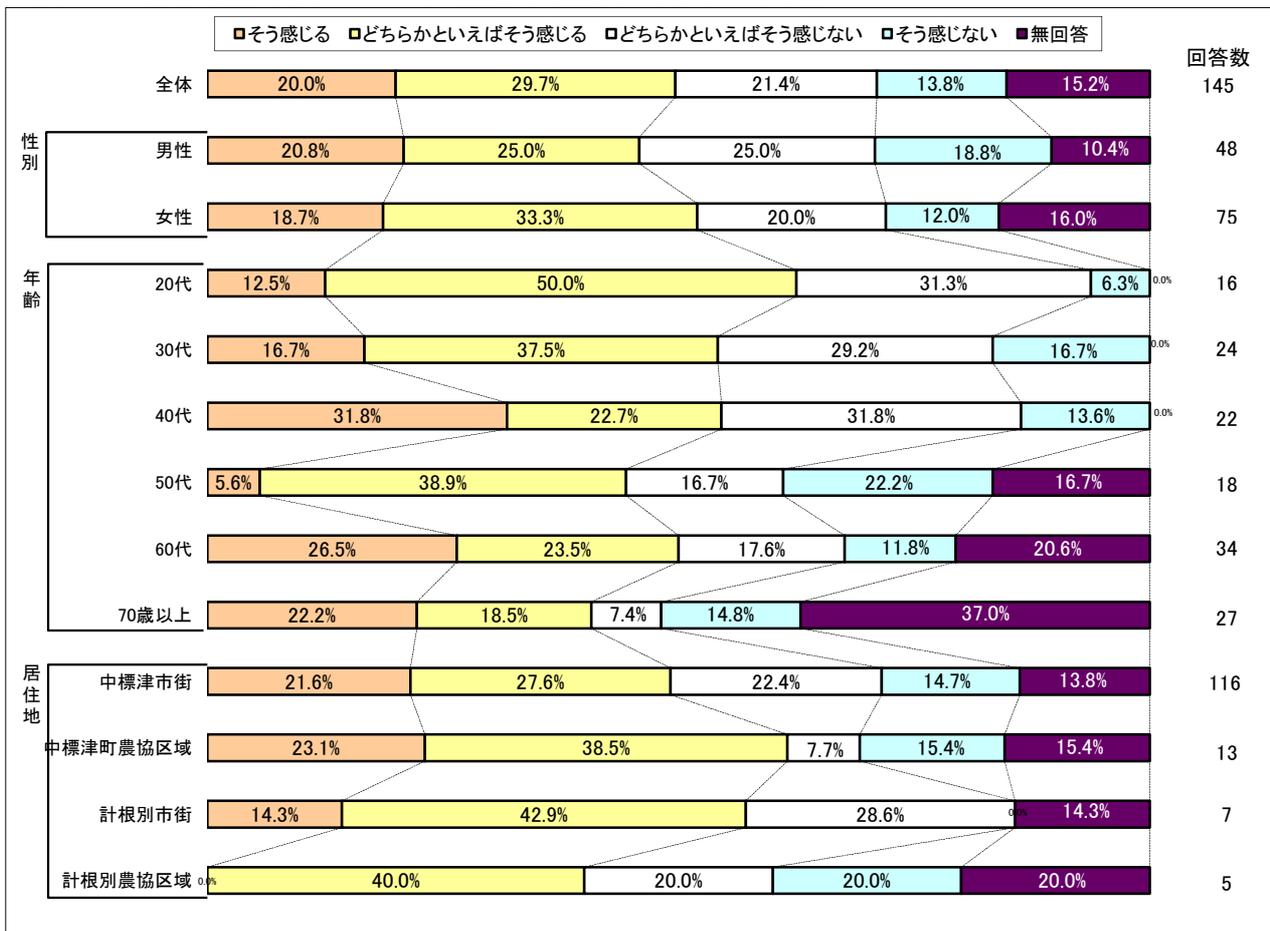
性別の“そう感じる”人の割合は男性が45.8%、女性が52.0%と男性が6.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、20代が62.5%と一番高くなっていますが、70歳以上では40.7%と低くなっています。

居住地別で、“そう感じる”人の割合は中標津町農協区域が61.6%と高くなっています。

[図表77参照]

図表77 北方領土問題について（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は91ページに掲載しています。

3 費用負担について

(1) 取り組みに対する費用負担の可否について

問58 これまでの設問4から設問57において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。

● “賛成である” が25.6%、“反対である” が16.5%、「どちらともいえない」が41.4%、「その他」が7.6%。

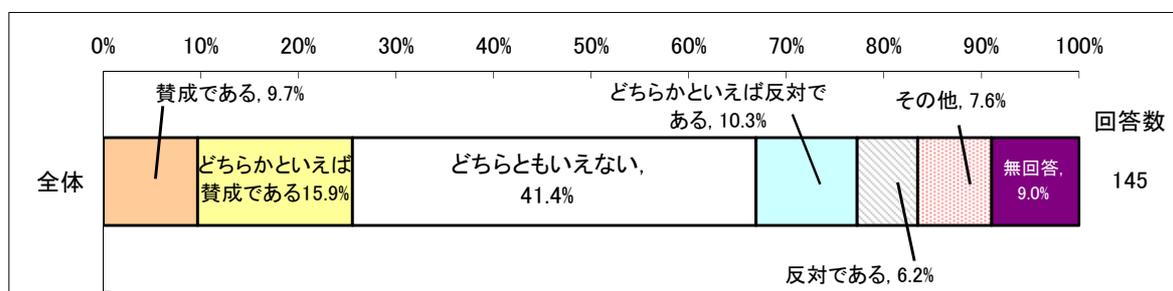
取り組みに対する費用負担の可否についてたずねたところ、「賛成である」（9.7%）これに「どちらかといえば賛成である」（15.9%）をあわせた“賛成である”という人が25.6%となっています。

一方、“反対である”（「どちらかといえば反対である」（10.3%）及び「反対である」（6.2%）の合計）は16.5%となっています。

なお、「どちらともいえない」の回答は41.4%ありました。

[図表78参照]

図表78 取り組みに対する費用負担の可否（全体）



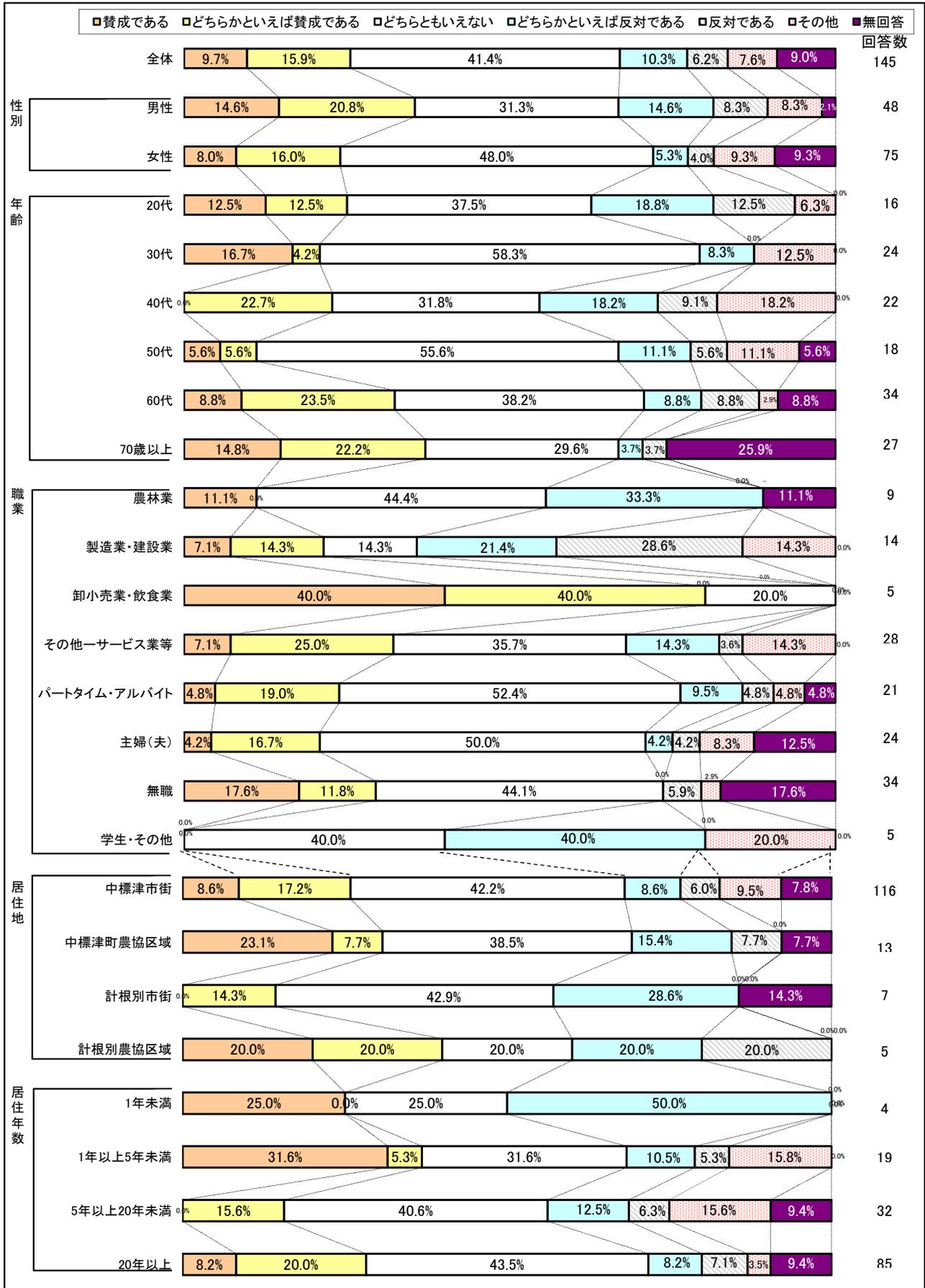
性別で“賛成である”人の割合は、男性（35.4%）と女性（24.0%）と男性が11.4ポイント上回っています。

年齢別にみると70歳以上の“賛成である”人の割合は37.0%と4割弱の高い割合となりましたが、50代では11.2%と1割程度の結果となっています。

職業別・居住地別で“賛成である”人の割合の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業（80.0%）、居住地別では計根別農協地区（40.0%）となっています。

[図表79参照]

図表79 取り組みに対する費用負担の可否（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



4 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問59① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。

- “参加している” が19.3%、“参加していない” が68.2%。
“参加したい” が46.2%、“参加したくない” が41.3%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（37.2%）が最も多く、次いで「参加していないが、今後は参加したい」（31.0%）、「参加してるし、今後は参加したい」（15.2%）、「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（4.1%）の順となっています。

これを現在の参加状況でみると、現在“参加している”人（「参加しており、今後も参加したい」15.2%及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」4.1%の合計が19.3%、一方“参加していない”人（「参加していないが、今後は参加したい」31.0%及び「参加していないし、今後も参加するつもりはない」37.2%の合計）が68.2%となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加してるし、今後も参加したい」15.2%及び「参加していないが、今後は参加したい」31.0%の合計）が46.2%、今後“参加したくない”人（「参加していなし、今後も参加するつもりはない」37.2%及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」4.1%の合計）41.3%となっており、現在参加している人の19.3%から今後“参加したい”人が46.2%に増加する結果となっています。

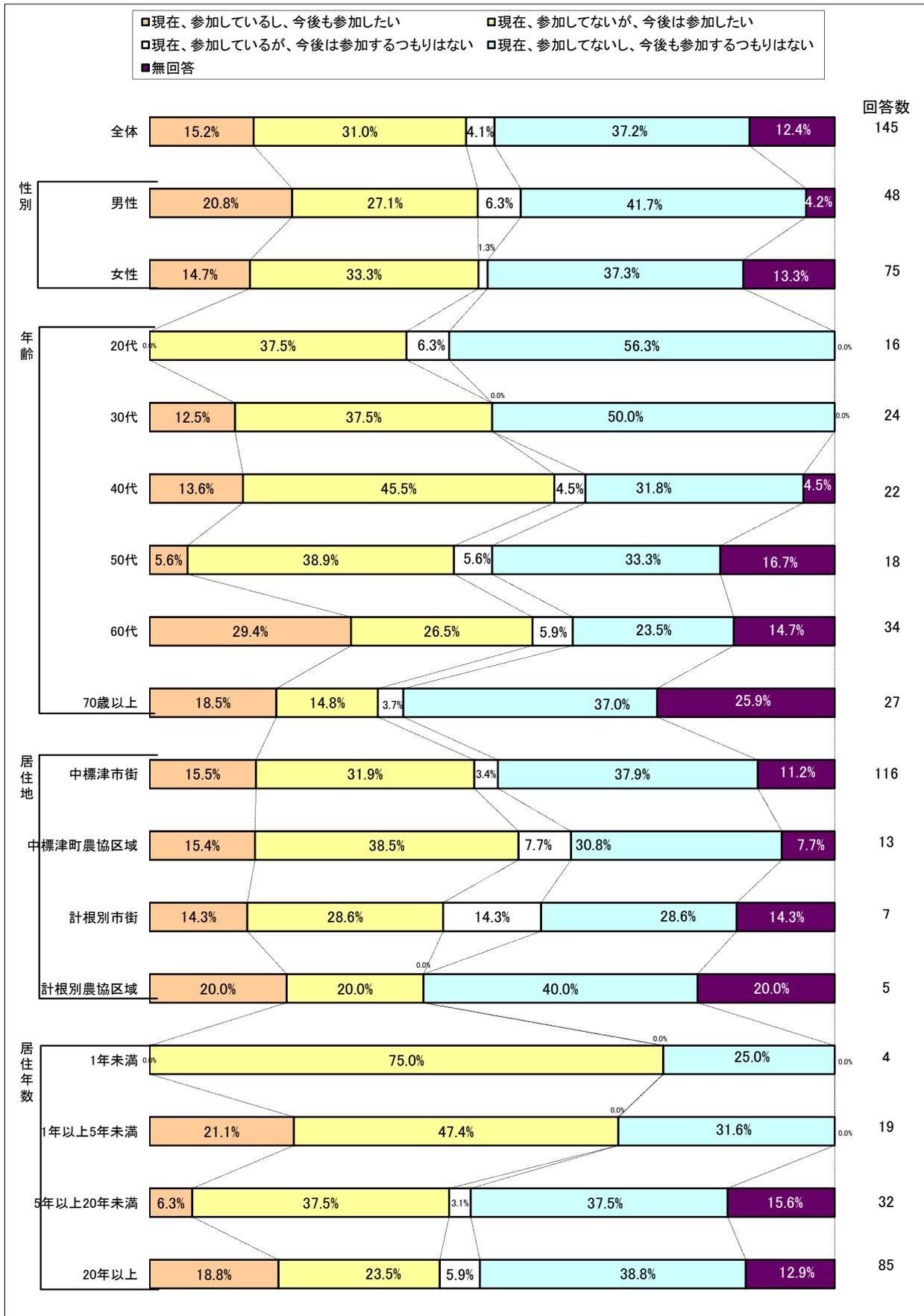
性別で“参加したい”人の割合は男性で47.9%、女性で48.0%とほぼ同率となっています。

年齢別でみると、“参加したい”人の割合は40代が59.1%と高いですが、20代は37.5%と低くなっています。

さらに居住地別では、中標津町農協区域（53.9%）、中標津市街（47.4%）で“参加したい”人の割合が高い結果となっています。

[図表80参照]

図表80 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



(2) 参加したい地域活動について

問59② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

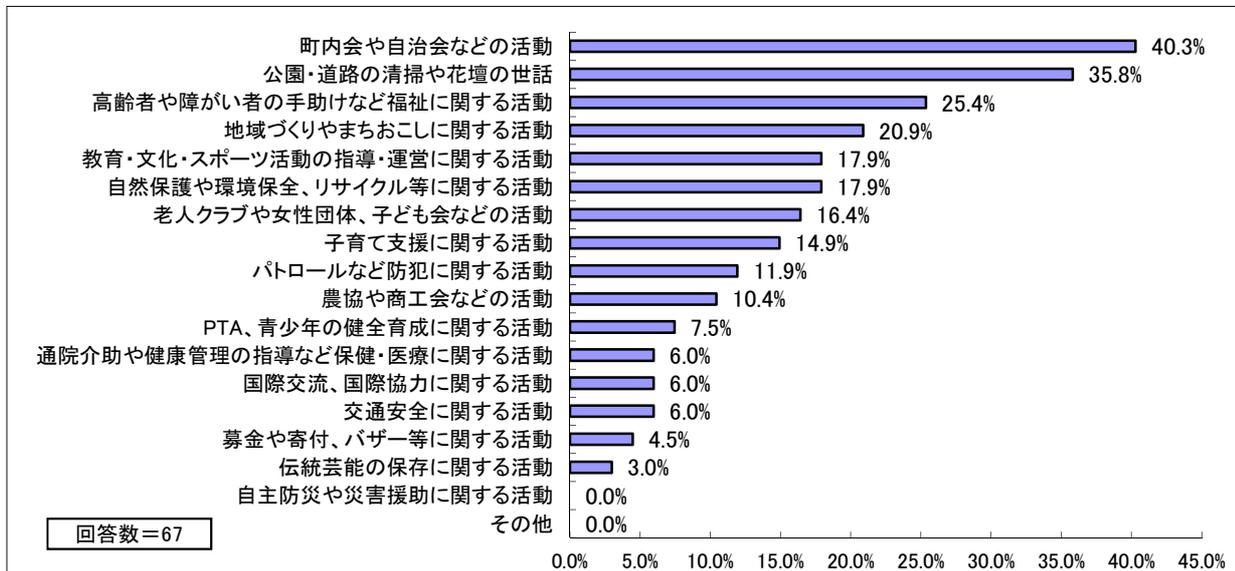
（問59①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

● 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」の順。

問59①で今後“参加したい”（46.2%）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会や自治会などの活動」（40.3%）が第1位に挙げられ、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」（35.8%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（25.4%）、「地域づくりやまちおこしに関する活動」（20.9%）などの順となっています。

[図表81～82参照]

図表81 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表82 参加したい地域活動等について（性別、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

性別	性別	参加したい地域活動等について（上位3位 %）		
		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会などの活動 43.5	地域づくりやまちおこしに関する活動 30.4	公園・道路の清掃や花壇の世話 26.1
	女性	公園・道路の清掃や花壇の世話 38.9	町内会や自治会などの活動 33.3	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 27.8
年齢	20代	公園・道路の清掃や花壇の世話 50.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 58.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	40代	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 46.2	町内会や自治会などの活動 30.8	公園・道路の清掃や花壇の世話 (同率2位) 30.8
	50代	町内会や自治会などの活動 37.5	公園・道路の清掃や花壇の世話 (同率1位) 37.5	同率複数のため省略
	60代	公園・道路の清掃や花壇の世話 52.6	町内会や自治会などの活動 42.1	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 31.6
	70歳以上	町内会や自治会などの活動 77.8	公園・道路の清掃や花壇の世話 55.6	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 44.4
	居住地	中標津市街	公園・道路の清掃や花壇の世話 40.0	町内会や自治会などの活動 35.4
居住地	中標津町農協区域	町内会や自治会などの活動 57.1	地域づくりやまちおこしに関する活動 42.9	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 28.6
居住地	計根別市街	町内会や自治会などの活動 66.7	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 (同率1位) 66.7	同率複数のため省略
居住地	計根別農協区域	町内会や自治会などの活動 100.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略

5 中標津町役場について

(1) 情報共有について

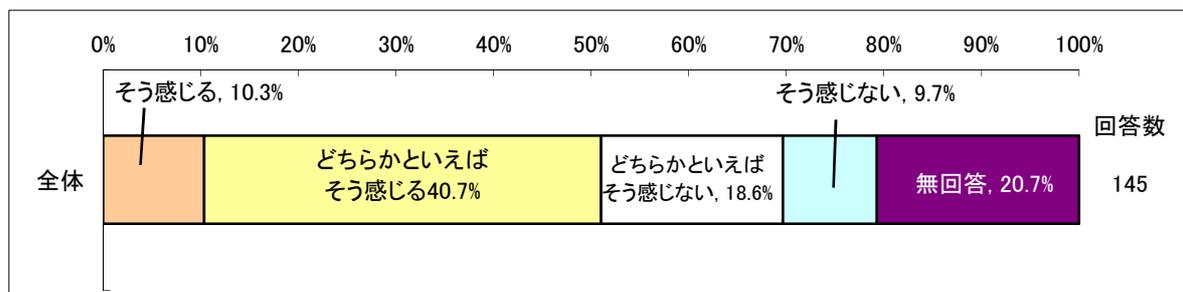
問60 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

- “そう感じる” が51.0%、“そう感じない” が28.3%。

町の情報について知りたい情報が得られているかたずねたところ、「そう感じる」(10.3%)これに「どちらかといえばそう感じる」(40.7%)をあわせた“そう感じる”人は51.0%となっています。

一方、“そう感じない”「どちらかといえばそう感じない」18.6%及び「そう感じない」9.7%の合計)人は28.3%となっています。[図表83参照]

図表83 知りたい情報が得られているか(全体)

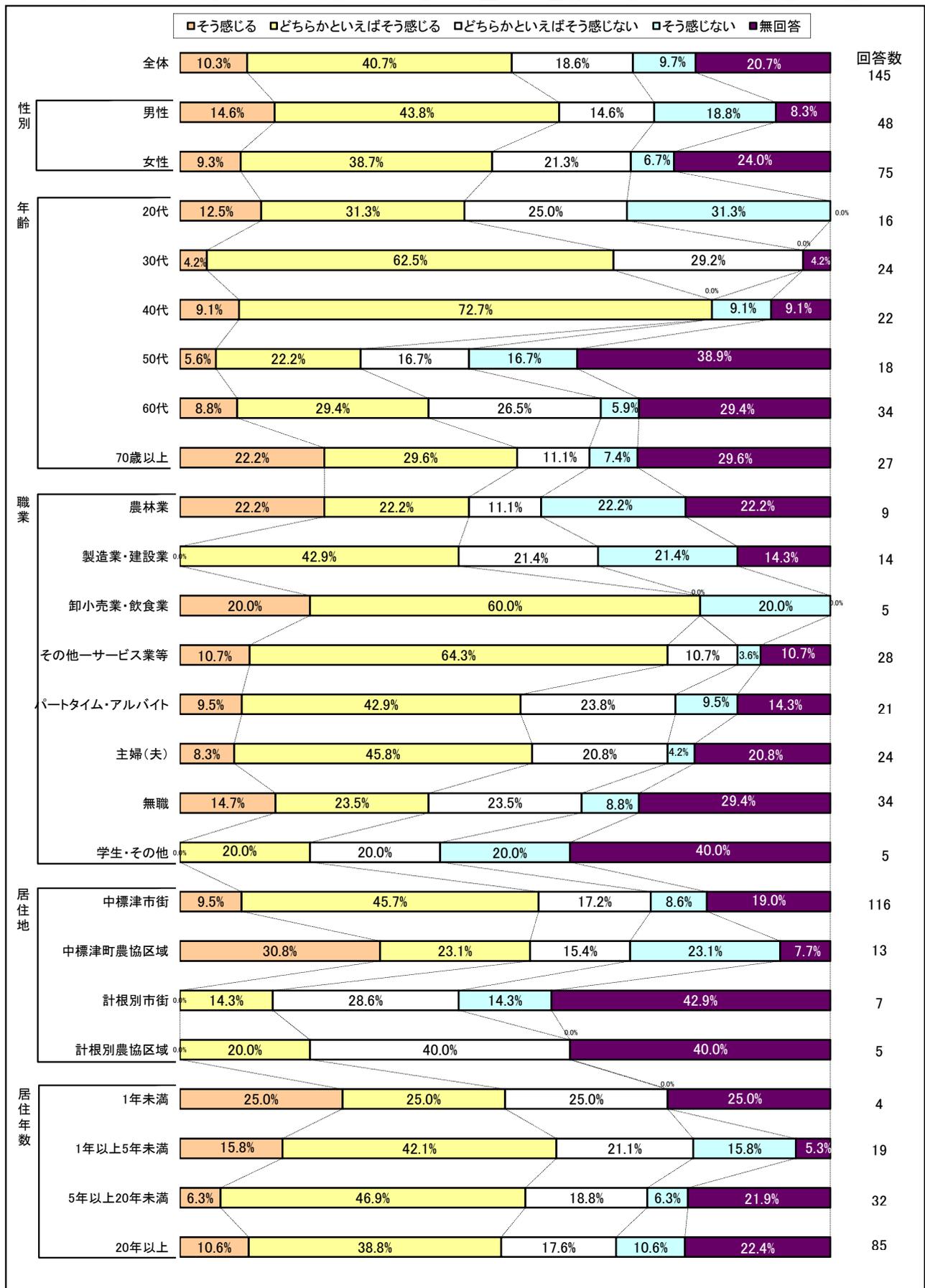


性別で“そう感じる”人をみると、男性(58.4%)が女性(48.0%)と男性が10.4ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は40代の年齢層が81.8%と一番高く、50代では27.8%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業(80.0%)、居住地は中標津市街(55.2%)、居住年数では1年以上5年未満(57.9%)などとなっています。[図表84参照]

図表84 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は92ページに掲載しています。

(2) 役場の窓口について

問61 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

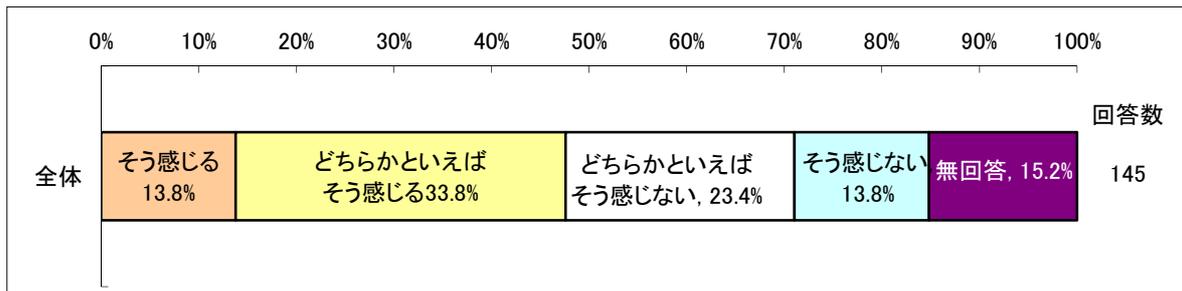
● “そう感じる” が47.6%、“そう感じない” が37.2%。

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じるかたずねたところ、「そう感じる」(13.8%)これに「どちらかといえばそう感じる」(33.8%)をあわせた“そう感じる”人は47.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」23.4%及び「そう感じない」13.8%の合計）は37.2%となっています。

[図表85参照]

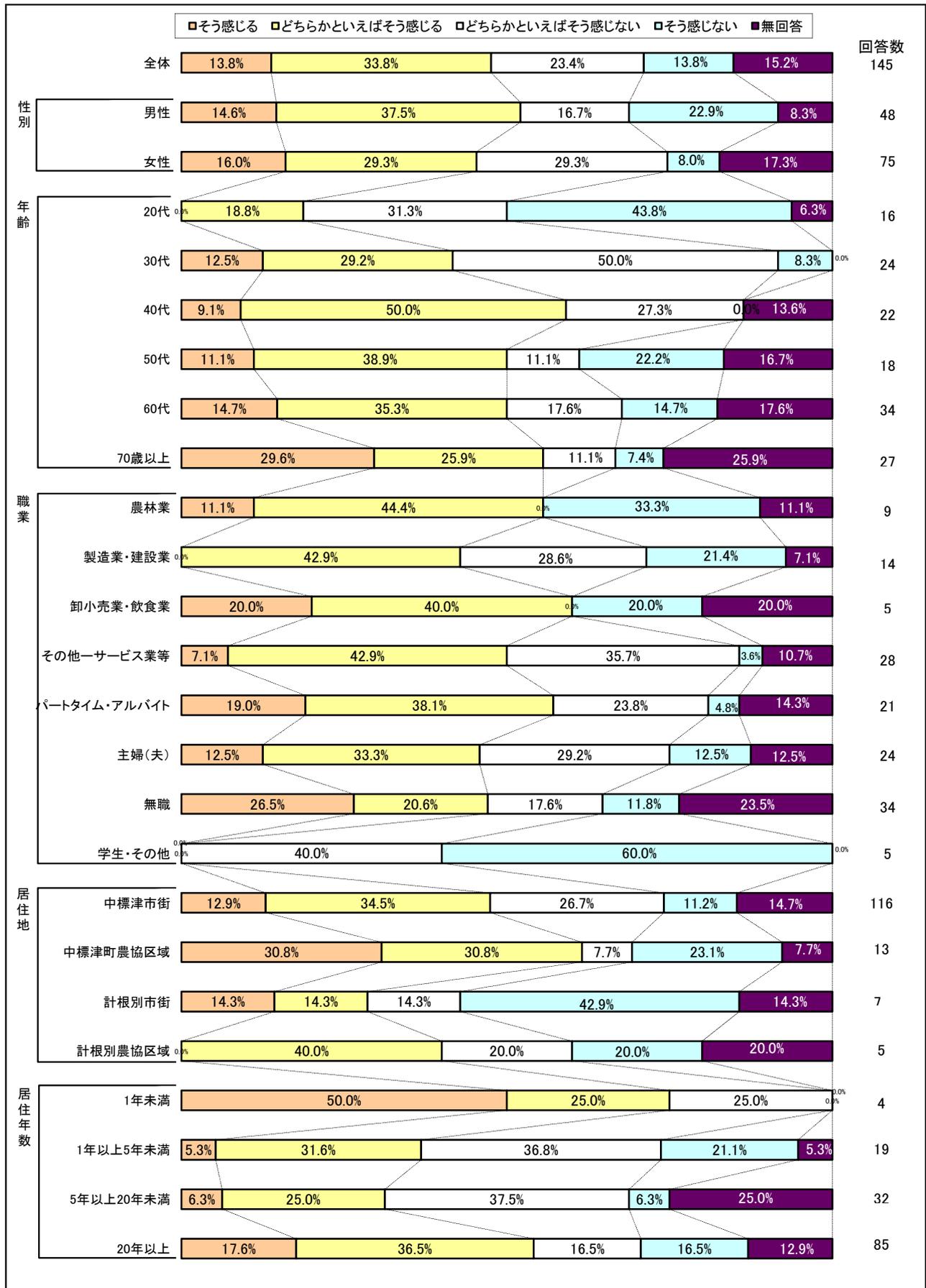
図表85 役場窓口の利用しやすさ（全体）



年齢別で、“そう感じる”人は40代の年齢層が59.1%と一番高く、20代では18.8%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業（60.0%）、居住地は中標津町農協区域（61.6%）、居住年数では1年未満（75.0%）などとなっています。[図表86参照]

図表86 役場窓口の利用しやすさ（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

6 将来人口目標について

(1) 目標の達成に必要なこと

問62 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成27年4月末現在24,063人）設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●回答者72人、記入率49.7%、意見136件（記述式での回答）

目標達成に必要な取り組みについて、意見等を記入した人は72人で、回答者（145人）に対する記入率は49.7%でした。これらの記述された意見等を集約すると記入された意見は136件となっています。[図表87参照]

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表88～89参照]

図表87 目標達成に必要な取り組みについての記入状況（全体、年齢別）

	全体	年齢							年齢不詳
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上		
回答者数	145	16	24	22	18	34	27	4	
意見記入者数	72	11	17	12	7	14	10	1	
記入率（%）	49.7%	68.8%	70.8%	54.5%	38.9%	41.2%	37.0%	25.0%	
意見件数	136	19	30	23	12	28	20	4	

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表88 目標達成に必要な取り組みについての分野別意見（全体、年齢別）

	全 体	年 齢							年齢不詳
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上		
全体	136	19	30	23	12	28	20	4	
	100%	14.0%	22.1%	16.9%	8.8%	20.6%	14.7%	2.9%	
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	10	2	0	2	2	4	0	0
		7.4%	10.5%	0.0%	8.7%	16.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	健康・福祉・ 医療分野	40	6	7	8	2	7	7	3
		29.4%	31.6%	23.3%	34.8%	16.7%	25.0%	35.0%	75.0%
	経済・ 産業分野	57	7	12	7	6	15	9	1
		41.9%	36.8%	40.0%	30.4%	50.0%	53.6%	45.0%	25.0%
	生活基盤分野	27	4	10	6	2	2	3	0
		19.9%	21.1%	33.3%	26.1%	16.7%	7.1%	15.0%	0.0%
生活環境分野	1	0	0	0	0	0	1	0	
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	
教育・ 文化分野	1	0	1	0	0	0	0	0	
	0.7%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	行財政	中標津町の身の丈にあった取り組みで良い	1
		20,000人~25,000人前後が活動しやすい人口ではないか	1
		なぜ、人口増加を目標に掲げているのかわからない	1
		なぜ25,000人に決定しなければならないのか？	1
		町民の声に耳を傾ける事が人口増加につながる	1
		お金がないなら町外から行政が引っ張ってくる気持ちでなければ町は大きくならない	1
		税収等を増やし町自体活気を取り戻さないと多分過疎化の道を歩む	1
		安心に暮らせる環境のため足りない所は管内他町で補う協力したまちづくり	1
		他市町村に中標津町の良さを伝える取組	1
		行政と住民が会合を持ち、財政再建へ向けて全体的な無駄を見つけ合う事	1
健康・福祉・ 医療分野	医療の充実	医療サービス・医療機関の充実	6
	高齢者施策	高齢者が安心して生活できる環境・支援の充実	4
	子育て支援	子育て環境の充実	11
		子育て支援の充実	6
		保育園・児童館の充実	2
		子ども手当の増額・出産祝い金等	5
	地域福祉	各種福祉サービスの充実（福祉施設等整備）	2
		介護関係の充実	4
経済・ 産業分野	農林業	農業後継者の育成支援	2
	商工業	商業施設の充実	4
		空き店舗・空き地対策	2
	観光	体験観光	1
		イベントの充実	3
		観光（宿泊）施設の充実	4
	企業誘致	企業誘致（大学・専門学校・工場・飲食店・大型店など）	21
	雇用促進	働く場所の充実	4
		若者が働ける職場の確保	7
		雇用の創出	9
生活基盤分野	都市形成	住みやすいまちづくり	2
		利便性の良いまちづくり	1
		魅力のあるまちづくり	2
		若い人が戻ってきたいと思うまちづくり	1
	移住対策	移住促進（補助・支援）	13
	住宅	住環境整備（住宅整備等）	2
		住宅建設に係る補助・助成	1
		定住対策のための住宅整備・土地提供・空き家活用	3
		高すぎる家賃の費用負担軽減対策	1
	道路	公共交通の充実	1
生活環境分野	生活環境	安全・安心な食生活が得やすい。空気がきれい。	1
教育・文化分野	教育の充実	教育の無料化（給食費等）	1

7 行政との関わりについて

(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの

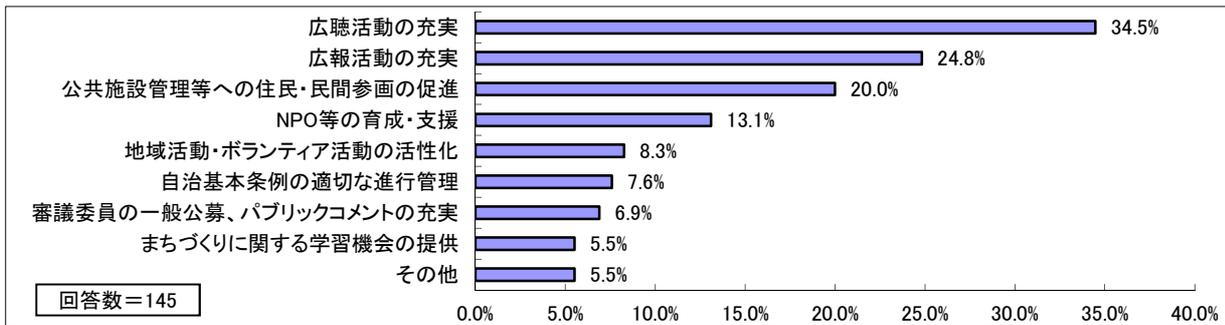
問63 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

●「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」の順。

協働の推進について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「広聴活動の充実」(34.5%)が第1位に挙げられ、次いで「広報活動の充実」(24.8%)、「公共施設管理等の住民・民間参画の促進」(20.0%)、「NPO等の育成・支援」(13.1%)「地域活動・ボランティア活動の活性化」(8.3%)、などの順となっています。

年齢別では、20代・50代・60代・70歳以上の年代では「広聴活動の充実」、30代・40代は「広報活動の充実」が第1位となっています。[図表90~91参照]

図表90 協働の推進の取り組みについて（全体／複数回答）



図表91 協働の推進の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答） (上位3位 %)

		第1位			第2位			第3位		
		割合	取り組み	割合	取り組み	割合	取り組み	割合	取り組み	
年	20代	43.8	広聴活動の充実	31.3	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	25.0	25.0	広報活動の充実		
	30代	33.3	広報活動の充実	33.3	広聴活動の充実 (同率1位)	29.2	29.2	公共施設管理等への住民・民間参画の促進		
	40代	36.4	広報活動の充実	27.3	広聴活動の充実	同率複数のため省略	—	—		
	50代	38.9	広聴活動の充実	27.8	広報活動の充実	16.7	16.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進		
年齢	60代	44.1	広聴活動の充実	23.5	広報活動の充実	20.6	20.6	公共施設管理等への住民・民間参画の促進		
	70歳以上	22.2	広聴活動の充実	14.8	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	同率複数のため省略	—	—		
	中標津市街	31.0	広聴活動の充実	25.9	広報活動の充実	18.1	18.1	公共施設管理等への住民・民間参画の促進		
居住地	中標津町農協区域	53.8	広聴活動の充実	23.1	広報活動の充実	同率複数のため省略	—	—		
	計根別市街	57.1	広聴活動の充実	28.6	広報活動の充実	28.6	28.6	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率2位)		
	計根別農協区域	60.0	公共施設管理等への住民・民間参画の促進	40.0	広聴活動の充実	同率複数のため省略	—	—		

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

青少年育成
役場職員の資質向上。
半強制的にでも参画させることと意見を言わせること。他人任せはやっぱり良くない。
信頼度の高いNPOなどの力を借りる。
町外からお金や人を誘致する努力が全然足りない
大手企業誘致に対する取組をする

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見

(1) 自由意見の記入状況

自由意見欄に意見等を記入した人は、44人で、回答者（145人）に対する記入率は、30.3%でありました。これらの自由記述された意見は71件となっています。

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表92～94参照]

図表92 自由意見の記入状況（全体、年齢別）

	全 体	年 齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答数	145	16	24	22	18	34	27	4
意見記入者	44	7	4	10	4	11	6	2
記入率（%）	30.3%	43.8%	16.7%	45.5%	22.2%	32.4%	22.2%	50.0%
意見件数	71	16	6	12	5	21	9	2

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表93 自由意見の分野別意見数（全体、年齢別）

	全 体	年 齢							
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳	
全体	71	16	6	12	5	21	9	2	
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	21	1	0	4	4	6	5	1
		29.6%	6.3%	0.0%	33.3%	80.0%	28.6%	55.6%	50.0%
	健康・福祉・ 医療分野	10	2	0	4	0	2	2	0
		14.1%	12.5%	0.0%	33.3%	0.0%	9.5%	22.2%	0.0%
	経済・ 産業分野	16	4	2	1	1	6	2	0
		22.5%	25.0%	33.3%	8.3%	20.0%	28.6%	22.2%	0.0%
	生活基盤分野	19	8	3	1	0	6	0	1
	26.8%	50.0%	50.0%	8.3%	0.0%	28.6%	0.0%	50.0%	
生活環境分野	3	1	1	1	0	0	0	0	
	4.2%	6.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
教育・ 文化分野	2	0	0	1	0	1	0	0	
	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	

図表94 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数	
まちづくり・ 行財政分野	情報提供・公開	「広報紙」「らいふまっぷ」多色刷り必要なのか？	1	
	行財政		アンケートの対象を無作為ではなく実際その場に携わる人達や全議員・全職員に対して実施	2
			昭和41年より住んで働いている者です。ずーっと見ていて、すばらしい町	1
			若者が魅力ある町づくりを共にしていく事ですばらしい町づくり、心地よい住みやすい町政になるのでは	1
			計根別が段々過疎化し医療面や商店で生活用品の調達が出来なくなる様に思え不安です	1
			釧路市では生活保護者に対し出来る範囲で仕事をと言う努力がなされています	1
			郡部のお年よりはまだまだ不便なことを我慢している	1
			失敗は成功のもと。努力なしで新しい物は生まれません。町職員として積極的に新産業へ挑戦を望む	1
			町の行政に望むこと、町の借金をこれ以上増やさないで無駄遣いせず災害等に備えてほしい	1
			私九十才に近い者です。中標津にて楽しく過ごさせて頂いております。ありがとうございます	1
			職員発の提言や施策、課題を探求していただきたい	1
			設問が多すぎて答えに困るものばかりだった	1
			森林公園の木道の修理工事を早めに	1
			税金がこれ以上増えるのは反対です	1
			地域の何が素晴らしいか再度確認し、それを守る価値観を共有できる人が増え、色々な人が住めるようになればいい	1
			自分の子供や孫が安心して暮らせる町にしてください	1
			安心して働き子育てして老後が過ごせる、それが何より幸せなことだと思います。これからの町行政に期待します	1
			町職員の定年退職後の職場確保について、一般市民と同じくハローワークをスタートとするべき	1
			役場の役員の人達もっとやさしくしてもらいたいです。	1
	このアンケートのために大変な労力を使われていると思います。本当にお疲れ様です。中標津町のために頑張って下さい	1		
健康・福祉・ 医療分野	医療の充実	医療機関の充実	3	
		町立病院スタッフの意識改革（待遇など）	2	
	健康づくりの推進	がん検診の書面がきたが、忙しくて行けず気付いた時は期限が過ぎていた。利用を促すアタマが無く残念でした	1	
	子育て支援	子供手当の充実	1	
	地域福祉	高齢化していく住民が生活に困った時、支援・介護をすぐ受けることが出来るように	1	
84才、このまま元気でいたいと思います。時にはそっとサポートしてほしいと思います、どこでお話すればいいですか		1		
お年寄りが増えるので介護施設は大切だが新規の建設も大切だが、古い建物の利用も大切。閉校利用とか		1		
経済・ 産業分野	商工業	コンビニや商店も高台に多く、西、北方面が少ない	1	
		ショッピングモールもあり便利な町	1	
		お店を増やす	1	
	観光	「ご当地キャラ」の構築	1	
		活性化し観光をしっかりと	1	
		道の駅の建設	1	
		道の駅の計画は無いのですか。	1	
		連休に行事をしたらどうですか。町民や地方から来た人が見るような。そして町にお金が落ちるように	1	
	企業誘致	企業誘致（大学・若者向けアミューズメント施設等）	3	
		企業が入ってきやすい町づくりに取り組んでほしい	1	
	雇用促進	若き世代が生き生きと働ける地域には、幾重にも取りまいてる人々がいる	1	
	地域間交流	友好都市の選定について、大都市だけでなく規模的に中標津町と似ている町村とも交流しては	1	
	空港利用	空港があり便利な町	1	
		利用者に補助金出したりして、利用者を増やせませんか？東京便は昔みたいに絶対2往復のほうが便利	1	

分野	項目	意見集約	件数
生活基盤分野	公共交通	バス停の標識が壊れ名前も分からなく利用者は困ります。バス会社には補助出ますよね修理させましょう	1
		公共交通機関の見直し、交通整備をしっかりと	2
		町に住んでる人々はバスも通っている。幸せだと思います。	1
		町内バス4便を前の9便にもどしてください。	1
		循環バスの時間変更でN高へ通学に利用しづらい。遅刻の時間に走られても意味がない時間の変更を	1
	住宅	民間の住宅供給や独身者向け住居サービス向上を考えてほしい。都市並の家賃を払いながら築20年がトシかない	1
	情報化	インターネット環境の充実を町として取り組んで欲しいです。（光エリアの拡大）	1
	道路	西町からバスの方を散歩してベンチがないので笠付きベンチ作ってください。高齢者、子供連れにはきつい	1
		私道の道路整備をして下さい。地主も町も道路整備をしてくれない。どうしたら良いですか。	1
		高齢者が多くなるので道路のあちこちに暖かい時期ベンチがあると散歩しても休憩できるのでは	1
		ぼろぼろになった舗装路の修復も出来る限りお願いします。	1
		児童館周辺・通学路等の歩道が排雪場化し危険な状況。業者のモラル、行政の指導に不満を感じる。	1
		吹雪の通行止はバス・トラック等で仕事をしている人から伝えてほしい。工作中知るすべが無い人が多いので	1
		雪害対策の向上	1
		農村道の完全舗装化を望みます	1
都市形成	色々な場所に花をもっと植えて欲しい。（シカに食べられない範囲で）	1	
	商店が少ないところにはトイレがあると良いですね。	1	
	子供の遊び場（公共）。	1	
生活環境分野	環境保全	学校のゴミ拾いの感想文に吸い殻が多いと書かれているが、それを広報に載せることを勧める	1
		他町のようにゴミ袋を細かくさらに有料化すればもっとリサイクル意識が出るのではないかな？	1
	交通安全	駐車場のマナーや運転マナーなども他の町に比べて悪いと思います。	1
教育・文化分野	教育の充実	何か高齢者が生きがいを持って参加できることあればいいと思います。	1
		入学式で騒がしい親に校長が注意する事があったが、教師がモラルを説いても、家庭が墮落しては到底無理	1

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

満足している理由
空港がある。空港など交通の便も整っている。空港があり便利、鉄道がないが飛行機があり、空港がある、交通が充実している。
子供の頃、結婚52年、中標津町に住み、自然と町に不満に思わず生活出来た事に感謝しています、不満がない
生活するのに必要な商業施設、日常の買い物便利。買い物比較的便利、商業施設が充実しており買物が便利、大型店があるから
公共施設、文化会館、体育施設、公園等整備されている、公園等が充実している。
住みやすい、生活しやすい。
職場ある。職場があり
自然が豊かな事、自然環境が良く
子育てに環境の良い町であるから（児童館が新しくなったり、子育てボランティアなど色々取り組んでくれている）子育てなどの取り組みがしっかりしていると思います。
田舎なのに今でも人口が増えている。
若者がいて町全体（近辺）としては活気がある方かなと思うが、若者（20才代）がもっと楽しめる元気が出そうな町なら良いと思う。
基幹産業が酪農であることを認識した町政が行われている
医療機関があるので安心なため。
医療福祉等が充実している
スポーツ財団を通して子ども達に様々な活動をしている。会費も高くなくありがたい。
一応都市の機能が充実しているから

満足していない理由
まちづくりが見えてない
医療の面でとても心配、町立病院等の対応の悪さ。
道路の維持管理（道路状況や除雪など）が良くない。道路がボコボコ。冬の通行止めが多い。
高校卒業後の進学先がない。教育環境が悪い
役場の対応の悪さ。
本町のみが発展して、郡部の方にも、目を向けてほしい。郡部は置き去りの感じがする。
牧草地への糞尿まきのおいひどい。町をあげての対策にのりだすべき。
食材が高い、日用品が高い。地場の物も内地の物も変わりなく物価が高い。
道路体型の整備（行き止まりが多い）、道路整備、ラインが正確ではない。住宅・団地の道路が一定の碁盤の目になっていない。
税金が町の大きさからすると高い気がします。
自然環境保全にもっときびしく。
交通安全性が常に危険。
人づくりが遅れている。
子育ての支援をもっとしてほしい。
高齢者の施設が少ない。
郡部においては危機管理や緊急事態に対する対応のシステム上に問題があるように思えるから
住宅、マンションが都会並みに高いと思う。公住など空いてる所がたくさんあるように思うが、なぜ入居させないのか？
土地が高く家をたてたいがむずかしい。
活気付いていない。メインストリートが淋しい。
ラジオの電波が悪い。
町民に依存しすぎ。主体は行政がするべき。

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

そう感じる理由
町民だよりや町政懇談会（住民説明会等）を通じて理解できる
町内会と行政が協力している。
酪農関係の問題点には比較的早く対応しているようだ。
町づくりより今年の冬の暴風雪メール、天気予報は昼夜ありがたく思いました。GOOD！
子育てボランティアを一般から募って、講習会を開くなど、とても良いと思った、子育てに優しい町と感じる
このような調査（町民アンケート等）を実施し、意見反映しようとする姿勢が物語っていると思います
町の行政が2分するような課題が感じられてないので協力で進めているのではないかと
町中の美化、夏まつり、冬まつり、etcそれぞれ、予算に応じ町からの援助があること
町民の要望が取り入れられた町づくりが行われていると感じられるから

そう感じない理由
何をしているかわからない。（情報が少ない）
構想は何時も同じ人達が考え、末端の意見を取り組める状態になってない。
町民と行政の関わりが目にするのが少ないのかいまいち行政の関わりがわかりません。
あまり行政には関心がない。たいして町は良くなっていないと思います。
南部の商業施設を見れば完全に北部に住む市民が「買物難民化」しつつあり、役所と企業で町づくりが行われていると思わざるを得ない。
何十年も住んでいますが、隣町である標津、別海のように全国区TVで取り上げられるような特色を感じたことがないです。
あまり町民が関心を持っていない気がする
あまり町民の声が反映されていない
どのような場面で協力体制があるのか分からない。知らない。見た事がない。
自分も周りも協力している感じはない。町民自らの努力が不足
町づくり懇談会等の意見が反映されているとは言い難い、行政側のパフォーマンスにすぎない、話し合った結果が分かってこない
町行政のやる気が感じられない。酪農についての町の理解が足りないのでは。

町職員と町民との距離感。
行政は積極的に活動し形式的ではなく町民に税金を還元出来ることに力を注ぐべき
役所がわかりづらい。職員がたよらない
計根別学園のことについても、もっと話し合いの場をもっとほしかった。
住民の声、個人経営者の声を尊重して進めて欲しい。

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由
市街地とはバイパスの方ですか。それとも昔の商店街のほうですか。どっちにしても中標津は他の近辺の街とくらべると便利だと思います。
中心市街地っていまいちどこかわからないけれど、食料品は比較的安く売っている気がするし、買い物はしやすい。
車での移動が多いが駐車スペースもわりと多く保たれており、便利さを感じる
買物出来るスーパー、銀行が近くにある（食事処なども）
駐車場も充実していると思うから
生活には便利だと思う。
町中が中心が外へ向かって、それなりに発展している。24000人単位の町である。
町がコンパクトにまとまっているから
町がキレイ
公共施設や金融、飲食店等そろっている
長年、住んでるから慣れている。

そう感じない理由
冬の事を考えると道路が狭い。道路幅がせまい。
郊外の方が買い物しやすい。市街地は空き店舗が多い。
子供のあそぶ場所が少なく感じる。
空き地が目立ち、空き家が多い。シャッター街だ。
ドーナツ化。中心部に店舗が少ない。中心市街地には何も無い
車のない年を取った人には、買い物が近所で出来ない。
冬場の除雪体制が悪いため一車線非常に危険。又交差の除雪が悪く見通せない。
中心という程集中していない。
大型店が中心に少ない
店や活気が感じられない
店等の閉店時間が早すぎる
日常あまり利用しない
中心市街なくても便利な所有から
便利とは思わない。1カ所で用事の済む郊外のスーパーに行く機会が多い。
駐車場の不足。商店の散在。
街中は過疎化していった人口もこのままだと減りはじめそうな気がする。さびれている。
私見では、もはや完全なシャッター街。経済感覚のある若者は郊外にある大型スーパー等で買物するのが当たり前になっている。
旧国道が余りにも曲がりくねっています。（過去の計画の反省）
24時間がコンビニしかない。ドライブスルーがない。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

そう感じる理由
きれいに整備（手入れ）されているから（河川や道路）
特別な不満がないため（草刈り等してあるから）
川がきれい。
町内会ごとに清掃してる。（頑張りを感じる）
地域清掃や花などの手入れはされていると思います。
かなり河川周りの整備が進んできている様に感じる
タワラマップ川で遊ぶようになった。
冬は雪、夏は牧草の種で伸びやすい路肩の草でも通行の妨げと感じたことがないのですごいです。
見た目がきれい！！中学生、各町内会等でゴミ拾いをしてくれるので
冬期の除雪は本当に助かっています。
汚いと思った事は特になから。
大きい道路は春になると花が植えられてきれい。

そう感じない理由
緑が少ない。
ハローワークの裏に子供とかと来られそうな小さい公園みたいなのが出来たのに、川が汚すぎて入れない。
市街地ではない山の中の道路の歩道の雑草多いような気がします。せっかくの歩道は雑草で舗装が痛み残念。
昔のほうがきれいだった。
歩道等に草がおいしげっている。草刈りの回数を増やしてほしい
舗装されていない道、歩道のない通学路が多い
除雪が行き届いてない
一部のみ維持管理で全体的にみるとやる気が感じられない。場所により違いが多い。
道路がボコボコ穴だらけ。簡易舗装のところは側溝等春先に水が停滞する。

道路幅が狭く、町内でも二車線で右折するところがほしい。
歩道、自転車道、車道、右折方向などしっかりしてほしい。税金等で使い道があるはずです。
もっと癒されるような場所など作ってほしい。
児童館等の周辺清掃の不備。
川には柵を付けてほしい。子供があぶないから。
俵真布川は、いつでも工事中のような気がする。あんなにいじりまわさなければならぬのでしょうか。長期計画を立ててないのか
近くの明渠河川は全く維持管理していないため危険箇所がいっぱい
あまり街中はきれいだと思います
冬が終わり、春になっても砂利が残っていて何度も飛び石で車が傷ついてしまった。
川に魚がいなくなったから

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

満足している理由

街路樹や植花が適度にきれいにある。
緑を感じる公園もあり、道立公園もあるので十分だと思います。
あらゆるところに緑を感じているから
街路樹や歩道脇の花などきれいに整えられていると思う
各町内会では緑道などきれいにしていると思う
家の近くは桜がたくさんさいていて歩道にも可愛らしい花がたくさん植えてあるから（毎年）
充分自然があるから。どこを見渡しても自然に満ちている。鳥も多くいて、きれいな町だと思う。
東中の桜並木はとってもきれい！！ゆめの森公園も、入口のすいせんがきれい！！
中心部、郊外とも緑は充分と感じる
自然はいっぱいで満足というか、こんなまちの緑に気がついてないというか、あたりまえになってすごしている自分が情けないと感じます。
木々の花・葉が楽しさを長くし、美しさが心に残します
街の中のいたる所で桜の花、紅葉、赤いナナカマドの実等を楽しむ事が出来る
歩道にも木や花が植えられていて良い。
並木・花作り等に努力している。
四季を感じられて良い
芝生やガーデニングなど緑や花が美しい
近くに正美公園があります。家のまわりを散歩していても野鳥を観ることが出来ます。
緑あふれる町と思っています。
桜など植え込みが他の町よりも進んでいる。

満足していない理由

町の花、りんどうの花がないにひとしい。町費を使用して、りんどうを増やし町のあちこちに植える。
街路樹の選定ミスで視界が悪く、小学生の通学に支障がある。（西11条通）
公園の整備が不十分。街路樹はあったほうがよいが、小さい交差点など車が見えにくいところもある。
郡部はどの様に管理されているか具体的に見えてこない
桜など花の集まった名所が足りないと思う。
公園がない！
最低でも目に見える維持管理をしてもらいたい。
公住に住んでいるので、花を植えたくとも出来ない。
もっとネイティブに個性的に。
もっと癒されるような場所がほしい。
中心街に樹木が少ない。
七条公園の噴水が汚い。
森を大切に。窮屈な森を日光浴できるようにスペースを作ることも必要
市民がくつろげる公園や緑化地域が少ないと思います

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことが出来ると感じますか。

そう感じる理由

バス停が近いから。
市内線が走っているの、便利だと思う。
通院に使っている
鉄道がない町ではバス等があり、他と変わらない。
利用したことはありませんが、要所要所に停留所があり利用しやすいように思います。
車があるので利用していないが、高齢になり車がなくなるとバスを利用したい
車がないので。
お年寄りの方などが利用すると思う
どこにも行けるから

そう感じない理由

バスだけでは時間の間があり不便。地元の北見に帰りたい時、公共機関ではムリ。
町内の循環バスが高校の登下校時間と合わない。本数が少ない。
利用したことがないので解らないが利用者が少ないのでいつもガラガラのイメージ。
バスが不便。バス停までの距離、時間、運行路。便数

バスの路線図を見ても、いまいちわかりづらい。どの道をどのようなルートで循環しているのか、よくわからない
 夜行バス（札幌行き）くらいしか利用しないのでわからない。
 商業施設が郊外化し、町立病院も市中心から遠く、老人、高齢者には、バスのみでは暮らしにくい町。
 郡部のほうがまだ便利でない。車を運転して病院へ行ったりすることがしんどくなると、バスの便ももっと郡部へふやしてほしいしふやすべきです。
 市街地以外は不便。郡部ではバスは無いに等しいと思う。
 自分は車を持っているためバスを利用する機会はないが、今年の春からバスの本数が減り不便になったという話を聞いたから
 以前より利用しにくい。小型でも2台のバスを利用できれば良いのでは？
 近くを循環バスが通っていない
 計根別⇄中標津 高いです。もう少し安かったら利用したいです。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

満足している理由

町内に空港があり使用しやすいから。
 小さくてきれいな空港で、とてもステキ。東京便もあり、よく利用してる。
 いつも空港のスタッフさん達には親切、丁寧にてもらっているから。
 東京直行便なども有り便利
 駐車場が無料なので送り迎えにも便利。時間があれば気軽に空港内（館内）に行く事が出来る。
 羽田、札幌までのアクセス良い部分、大変利便性を感じる。
 目的地に早く行ける。
 いざという時に空港があるのはやはりありがたいです。
 特に札幌便が良い。
 便数が多く、発着時間が便利
 あまり利用する機会はありませんが急ぐ時は近くに空港があっていいと思います。

満足していない理由

東京便が一便だと不便。昔は2往復だからよかった。あの頃が一番飛行機によく乗りました。
 観光客の利用をふやしたいのであればせめて午前中に到着できる時間帯の方が良いのでは。
 便数が少ない。関西便があるといい。駐車場が無料なのがいいが自転車置き場がない。
 年に数回内地旅行で空港を使うが、航空便の時間的問題でほとんど釧路空港を使っている
 土産屋の種類が少ない。何を買っていいかわからない。
 羽田便が1日1往復しかしていないから。
 出来れば益・正月に便数を増やすか、大型機をとばして欲しい。
 夏場、東京便が小型でも良いから2便にすれば
 札幌での用事では、千歳からJRを使わなければならない、連休など多く不便
 便数と時間帯が合わない。大阪行きとかもほしい

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

そう感じる理由

他の町村のように味が良くないとかサビ汁が出るとかはないし美味しいと思う。
 いつも不便なく利用しているし、水がまずいと一度も感じた事がないので。
 水道水が大変美味しく料金も安い。
 水がおいしい。
 何も感じず、飲み、使用できてるのは、管理をきちんとしてもらっているから。
 上下水共に不自由さはほぼ感じたことはありません。
 暴風雪でも止まらなかった。
 断水がない
 毎日不自由なく水が使えるから。
 安心して水道水を飲んでます
 いつでも使えるから。

そう感じない理由

水道利用料が高い。
 浄水場がどこにあるのか分からないのと、家の水道の蛇口の老朽化。
 大雨の後等、水ににおいがある。
 以前、水道水が著しく濁った事があったが、事前の連絡もなく不安だ
 集合住宅の水はおいしくない！！

問15 墓地の施設に満足していますか。

満足している理由

町の中にある墓地も高台などにあり、周囲の住人にも配慮ある配置だと思います。
 町から近い。整備されていて便利、美しい
 町内の中心にあり、使用が便利だから。
 特に困っていることはありません。
 きれいに整備されていると思います。
 自分の目的の場所の近くまで車で行けるので。
 いつもきれいに掃除していただいてありがたいと思っています。
 公園もきれいでよい。

第2墓地は駐車場があるので大変良いと思っています。
 町の中で行きやすい。
 計根別の墓地ですが、毎年お参りして満足しています。いつもきれいで
 明るく街にとけこんでいる
 毎年、地域の皆さんで清掃管理されているのでとてもきれい
 町内に墓地を所用していないが、苦情を聞いたことがないので
 水道が使える
 道路もきれい
 身近にあって良い。

満足していない理由

場所的にせまく、便利とは言えない。
 駐車場が汚い。舗装にして欲しい。
 町内の墓地を共同墓地にすればいい。町の景観が損なう。
 第2墓地駐車場整備。早く歩道をつけてほしい。
 郊外の墓地にも水道設備を。
 墓地は一箇所に統合すべき、市街地の墓地には太陽光発電等を考えるべき
 室内墓地があれば良いと思う
 墓地内の通路。
 屋内墓地があっても良いと思う
 お墓参りによく出かけますが、水を汲む柄杓がなく不便。車を止める場所が狭い
 住宅街内なのでまずいと思う。
 草刈りの回数を増やしていただけると有りがたい。

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

そう感じる理由

住みやすい方だと思います。
 静かで自然環境が良い。
 車で10～15分で行ける公園があって、30分位で大自然があって良い。
 西町に住んでいますが子供のための施設が充実していますし、買い物も割と近いのでいいです。
 ゴミ処理等が楽。
 良好な町並みである
 町内会があり、住みやすい。
 四方に広がり飛行場に近しい良いと思います。
 日常生活に何も不便を感じていないから
 近くに子どもが遊べる施設があるから
 商店が少なく淋しい感じもありますが、時期になると各家庭の花々が咲き誇り美しく温かさを感じます。
 静かである。空気がきれい。緑が多い。
 静かで落ち着いた生活が出来る

そう感じない理由

地域の中心を流れる河川等に直接、酪農産業排水が流れ込んでいるようで汚い箇所があるのが残念だ
 田舎にいくほど街灯もなく、あまりこのましくない。
 区画がきちんとされてなくどこが道路か民地かの区別が判らない。
 牛の臭いが強い。
 空き家が多い。
 ゴミ等が散在している。（住民個々の問題）
 ・住宅地域に樹木が少ない。・道路周辺に空カン等の投げ捨てが多い。・犬の散歩が多く、ふんが目立つ。
 住宅が密集しているので。
 計根別は買い物少し遠い。
 車がなければ生活できない
 空地が年々目立って増えてます。不当のゴミ捨てが多い。
 民間のアパート費用が高く、建物も古く、生活を圧迫している。どうにかならないかいつも思う。
 当地区にも相談員がいるらしいが、人も電話も判らない。
 道路の舗装や下水道が無いので。
 除雪がおそい。
 西町方面にスーパーを1ヶ所作ってほしい。
 車の騒音

問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由

わからないことがあって役場に電話すると、どの担当係も親身になって教えてくれるから。ありがたいです。
 自身で社会保険庁、健保組合から情報を得ているので、判断できない。
 年金事務所より毎月の情報があるため。
 広報など
 実際に相談したから

健康保険・年金は、役場から手続で、何の不自由もありません
 年金等制度証明書が来る
 郵便物等で十分な情報が来ている
 必要に応じて役場の窓口を訪ねている
 インターネットや会社に送付されてくる資料等で
 健康保険は明細、年金は送られてくる書類で大体の事がわかる
 年金のお知らせはよく届くので読んでいる
 知りたい時に問い合わせとすぐ教えてもらえます。
 定期的に健康診断の連絡が来るから。

そう感じない理由

文章がむずかしく書かれ理解しづらい。
 どこにいけば良いのかまるでわからない。
 年金のしくみ自体が納得いかない。
 役場に電話して知りたい事があまりよくわからなかったのでインターネットで自分で調べた。役場職員さんってやる気がないのかな。
 年金でよくわからない点がある。
 年金制度自体が不安定で、自分の情報をたずねても答えが出るまで時間がかかりすぎた。
 年金、介護保険などコロコロ変わる事。
 年金について町から積極的に何か通知されたことはないと思うので。
 どこでどう聞けば良いのか
 役場の職員の上から目線
 親切に詳しく説明していただけないと思っているので得られてない
 信用していない
 どこで情報を得られるのかよくわからない
 度々の制度改正で理解していくのが難しいです。
 制度については市民個人の意識次第。広報のみでは、上手く得られない。

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

そう感じる理由

できるだけ地元産を購入している。
 酪農業に関係ある仕事をしているので。
 スーパーで中標津産のものをよくみる。
 給食で食べる機会が多いので。
 地産地消に力を入れていると思う。
 肉などは大変おいしい。
 地場産の牛乳、チーズ、牛肉が手に入る
 中標津産と書かれているのでとても親近感がある。
 スーパーなどで特定のほかの地域のものより見かける割合が高いと思うので。
 実際に利用している。
 地元産には安全、安心がある。
 地元の産物を選んで食べようという気持ちは常にもって買い物してます。
 地元、肉、野菜などスーパーに並んでいるのを目にした時
 給食とかで取り上げているので
 スーパーでも地元農産物を良く目にするし、利用しているから。
 安全安心な農畜産物を自信をもって生産しているから
 計根別に有る加工センターは乳製品や加工品等を作る体験ができる事。

そう感じない理由

乳製品は高いし、野菜も何を作ってるか知らない。大きな直売所があったら行く。
 肉、バターが高い。中標津での野菜も高い。
 中標津は意外と生産品があるのに、地元であまり消費はされていないと思います。そもそも地元品の価格設定が割高です。
 地元産の物が、どの様な種類が有るかピーアールが少ない。
 地元製品をあまり見かけない
 地元の品物ほど、値段が高いから
 店に地元産の製品があまり多く並んでいない
 地元で購入するには高いイメージ。特に乳製品
 大型スーパーでも多少地場産野菜、加工品を見かけるが、買うのは安い中国産や外国農産加工品が多いのが現状。
 見かけるが高いため。買ったことはない。
 町民に直接還元される機会が少ない。（牛乳・バター等）
 買う機会が少ない。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

満足している理由

町のイベントはとても努力してくれてと思う。
 開陽台とか提灯祭りとか
 おまつりではたくさんの方が来てとてもにぎわっている。ごはんもおいしい。

お盆のちょうちん盆踊り。
 どこに行っても対応している
 なかしべつマルシェ、またやってほしい。イベントはもう少し増やしても良いのではと思う
 開陽台、格子、酪農平野、温泉、空港、夏・冬イベント、なかなか良い。
 アイディアでどう生かすかが問題で、資源はあると思う
 イベントが多い

満足していない理由

イベント（夏冬のまつり等）がマンネリ化してここ数年行きたいと思わない。B-1グランプリ等の誘致なんかいいな。
 ファミレスが無い。観光スポットが無い。グルメが無い。
 乳製品の町だから、それを使用した中標津特有の食を考える。夏祭りを二日間ではなくて15日を先頭に、せめて15日～20日というふうにしてほしい。雨が降って踊りにいけないのだ。
 道の駅を作り地場産を発展したらいいかな！
 観光地としてアピールするポイント、宿泊施設、サービスがいまひとつ。
 名物といえる食べ物が無い。
 とっておきの農村景観を観光資源化するための農家の景観意識の高揚や町の対応だけで、もっと新しい観光資源が開発されるのでは
 目玉になるようなものを作って欲しい。
 どのようなものがあるのか、もっと発信してほしい。住んでいても知らないこともたくさんある。
 ゆめの森は、町内・外にも知れて良いが、観光客が立ち寄り場所がないと思う（開陽台くらいで）食事も、標津町などは、ホタテづくしなどの食事で、人気があるそう！！
 中途半端に感じるため
 無難なイベントばかり
 イベントは町内の人対象の感じのものが多く、観光につながっていないと思う。ゆめの森公園も町外利用者が多い様だが、果たして食事や買い物をしてきているのでしょうか。
 観光資源がそんなにあると思えない。もっと増やしたほうがいい
 観光には力を入れている町に感じていて、人の出入りも少ない町に感じます。
 友人が来た時、中標津といえば何？（飲食店（店名））をたずねられても答えられなかった。

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

満足している理由

ハローワークが頑張っているのでは？
 自分は働いているので不満はありません。
 求人が増えていると思う。
 失業者もあまり出ていない
 身近に仕事がなく悩んでいる人がいない
 通年雇用だから
 一次産業と3次産業（卸・小売）に特化しすぎており雇用状況が不安定なのはどうしようもない。

満足していない理由

どんな政策をやっているのか知りません。
 職の種類が少ない。小さい子がいての仕事は難しい。（パートしにくい）
 若い人が定着しない。
 求人を出しても人が来ない。
 雇用対策の取り組みを町がしていると聞いた事が無いから。
 町内に職場をふやしてほしい。50代60代70代でも健康な人が働ける所。
 農林だと冬がこまる人が多い。
 人手不足の店が多数ある。
 働きたいと思う求人があまりでていない。
 働く場所が少ない。職種も限られている。
 雇用の事で町が対策しているのは、セミナーくらいでしょうか。それが雇用の創出にはつながっていないと思う。
 賃金安い。募集も少ない
 働き盛りの人、厚生年金のある会社が少ない事。
 「免許」必要の条件の企業が多すぎる
 パートの募集は少ないと感じる。特に事務職
 農業へ対する労働力確保が課題、人が来てくれない
 子育て中の女性の働きやすい職場が少ない
 冬期間の雇用が少ない
 若者のサービス残業を改善して欲しい
 非正規従業員が多い

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

満足している理由

医療機関があることに感謝はしています。あとは泌尿器科があれば良いのですが。
 今の所、不自由さが無いので。
 緊急外来や電話対応を丁寧にしてくれる。
 対応が早かった。
 医療が充実している。
 今年、救急車にお世話になり、心強く助かりました
 休日にめまいがして町立病院へ行って対応してくれた

急病の時、救急車がすぐに来てくれ土日でもすぐ対応してくれた
救急車、ドクターヘリなど恵まれていると思う。
充実しているとは言えないが、病院があり救急にも対応してもらえてありがたい。
高齢になると高度の医療より無理のない医療を望んでいます。
facebookを通じて状況を確認しやすい。
町立病院があるから。
町立病院、歯科医院等最低限安心できる部分はある。しかしこれ以上悪化するならば釧路等に頼らざるを得ない。
満足していない理由
中標津の町立病院、昔の古い病院のとき入院したけど看護師、職員、医師みんな駄目だった。態度悪い。
科があっても休診日や予約日で不便。
病院は出張医が多い為、行くたびに病気の説明状況がちがう。
釧路など都市に行かないと満足な医療が受けられない。
一部町職員の生活弱者に対する上から目線的な態度の悪さ。
子どもの医療費や予防接種の手当てをあつくしてほしい。
町立病院の心療内科が月に2回とは足りない。
昨年手術したが、釧路の病院に設備が整った所があるのでそちらに紹介状を書いてもらった。地元の病院では設備不足って事がある様です。
町立病院は診療時間が短く、科によっては日も限定されている。専門の個人病院もほとんどない。土日やっている所もない。
年々院内の科が少なくなり、又出張医が多くなって来ている。(医師不足の面もあると思われるが。)
救急でも対応してくれない。
病院で待つ時間が長い。
病院があるのに医療の内容が悪い
医療に関しては満足していない
診療科が充実していない
耳鼻科、眼科、皮膚科、とても不便です。もっと、個人病院等増えないものか
医療はまったくなくていい町だと思います。
選ぶ病院がない
町立の待ち時間が長すぎる。対応も愛想が悪い。

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

そう感じる理由
挨拶等きちんと出来ている。仲々してる子どもが多い。
治安は良いと思う。
なんらかの事件に出会った事が無いので。
保育所が完備している。
教職員の皆さんや教育委員会の皆さんが尽力しているおかげだと思います。
特に危険と思った事はない。
悪いことがあまり耳に入っていない。
保育所があるので。
子供を育てる施設が近くに充実しています。
安心出来る町だと思うので。
幼稚園の預かり保育も満足しているから
健康検診、相談等よくある
買い物、公園等で子供連れを良く見かけます
学校施設が充実している
都会と比べると危険が少ないから
保育園などの待機もない様だし、学校も整っている。小児科もある。
計根別は子どもには良い環境だと思うが遊具が少ない。
自分の子供達が無事に育ったから。

そう感じない理由
公園少ない。医療費の助成年齢を引き上げて欲しい。託児所の割引回数券があったら嬉しい。オムツの無料回収。
ただ育てるなら良いかと思いますが、医療・学力・スポーツ等将来性に不安がある。
行政や学校以外の子供達の教育等の場所の充実。
不審者多すぎ。
小学校1年生の子どもが一人で下校している。交差点の無い所で道路を渡る子どももいて危険。
友人から聞きましたが、子どもがやけどした時に夜間の病院の対応が非常に悪く、受付した方も冷たかったそうです。
医療と教育が脆弱
専門医の不足とレベルの低さ。
図書館を充実すべき。(帯広市の図書館等を参考にすべき。規模は小さく良い。)
遊び場が少ない。保育園・幼稚園が頼りない。他人行儀。
子育て世帯に対して助成金支給等(出産祝い金、記念品)を実施して欲しい。
世の中が落ち着かない(不景気等)と家庭の中も落ち着かなく、子供も不安に感じているのではと思います。大人に余裕がなくなっていると思います。
クマ等の問題。不審者が多い。
道路で遊ぶ子供が多い。
車社会、モータリゼーション化の影響で住宅路でさえ80km/hぐらいのスピードを出す車が普通。危険であり外で遊ばせられない。

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

そう感じる理由
父は年金で生活していますが、幸せそうですよ。生きがいもあるみたい。
様々なスポーツがあると思う。
ウチの近所でおばあが犬を散歩させているのでゆっくりとした時間が過ごせているのではと思う。
働いている人が多い。
趣味がたくさんあって、毎日忙しいくらいあちこち散歩く人が多いから。
元気な年寄りが多いと思う。
施設も増えているし、習い事などに参加している方も多いと思う。
介護支援（民間）に満足している。
私は色々なイベントに参加させて頂いておりますので満足しています。
便利な町なので。
サークルが多い
高齢者になり、これと言って心配しないで暮らしています
生活、趣味、スポーツ、地域全てに対して、工夫とアイデアだけで生きがいを持ち安心して暮らせると感じている
気力・体力に合わせて自分の考えを大切に過ごしている
老人クラブの存在は大きいでしょう。
老人会の活動をみて
働いている人が多く、元気な気がする。
パークゴルフ場の多さ。ゲートボール

そう感じない理由
計根別は医療機関がない。薬局もなくて不安。
買い物・通院の不便。Sステイの少なさ。町内からの声かけが少ない。
行政、地域の無関心。
交通が車というのが大事なので高齢者は買い物等が不便では。
施設の数が足りないと思います。待機者の解消をしてほしい。
スポーツセンターが器具が少なく混んでると使用できない。高齢者サークルがない。
高齢者が増加しているか元気な人が多いので何か生きがいのもてる活気のある事があれば。
高齢者にとってはバスをふやしたり介護施設デイサービスなどの充実がもっと必要。
国民年金を払い、年金もらいギリギリ生活しているのに、生活保護の方が良い生活をしているのを見るのはかわいそう。
病気になり疾病の内容によっては、釧路に行かなければならないケースが多すぎる。
病院が不安。
収入少ない。高齢者施設が少ない。
一人暮らしなどで不安に暮らしている人が多い
子どもが同じ町内に住んでいても、なかなか親の面倒が見れず、ヘルパーが頼りになっている人もいる。大雪の冬は特に大変だと思う
パチンコ店によく高齢者が多くいると聞いて、それくらいしかやる事がないのかと思うと、さみしい気持ちになるため
自分の事が出来るうちは良いが、足が弱くなると、病院、買物と不便が出てくると思う
生きがいを持ち、安心して暮らしているのは極一部の高齢者だと思う。生きがいがない人が多いのでは・・・
子供と年寄りの交流の場が少ない。（子どもから年寄りは元気をもらいます。
各地に相談員がいると思うのですが判らない。
バリアフリーが少ないと感じる。

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

そう感じる理由
取り組み・活動・施設がととのっていると思います。
意識の向上を感じるので。
お買い物や車椅子の方々の送迎など、たくさんの事をやってくれていると思ったので。
福祉課の人は優しく対応してくれる。
養護学校があるから。
少しずつ増えていると思う。
くればすなど働く場があるから
整備されている
あまりよくわからないが、くればすや森の家、障がい者向け下宿などあり、活躍の場所が増えていると思う。
介護サービスがととのっている。

そう感じない理由
計根別には全く対応されていない。
施設が多いとは思わない。
どのようなサービスがあるのかわからない。
バリアフリーがまだまだ不足を感じる。
あまりそういうサービスを見かけない。道路も車イスには不便な道が多い。
知人がその点で大変そうだから。
障害者の雇用が少ない。
そういう方が入れる施設が中標津町は足りないと思うから。

歩道を車イスが通れないせまい所があります。
障害者にもう少し力を入れてほしい。
障害者サービスとは何か
中身がわからない
まだ設備が少ない
障がい者、家族が急用時に一時的に入所施設に預かってもらえる対応があれば良いです
情報が入らない
障がい者へのフォローが足りていない。（定期的な訪問確認等）
道路の段差の解消。交差点での点字ブロックの設置がない。
商業施設ないし道路インフラも車至上主義で障害者、老人がハート面で中標津で生きるのは大変。

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

そう感じる理由

ケアマネージャーが良い方だったので相談できてます。
良くやっている方ではないでしょうか？
社会福祉協議会などのサークルがあるから。
そう信じて暮らしていきたい。
もう少し楽に入れる施設がほしい。
郡部にも介護サービスの車を見る事ができるので
知人が相談されているのを見て
利用した事はないけれど、利用した人の話によると、なかなか親切の様だ。
利用はしていないが、困った時はあるんだと思う。
祖父が病氣した時、社会福祉法人（指定通所介護サービス）とても協力していただき助かりました
気軽に相談できるのは病院のケースワーカー

そう感じない理由

そこに信頼感がないから。
身近か？と聞かれるとそうは思いません。自分でかなり勉強しないとどうしたら良いのか。父の介護の時は悩みました。
相談、制度、活動を聞いた事がない。
あまり広報で目にしない。どんなサービス、活動があるか一覧があるとよい。
いざというとき、どこに相談したらと思っている。
深く関わったことがないので実情がよく分からない。
支えてもらう活動があるとしても、よくわからない。どの人に相談すべきか。
福祉の制度の情報提供を積極的にすべき。
どこで誰がやっているの
自分・家族自身が現実につづかいていないので、いざ、その様な事に合ったらどこに相談して良いか分からない
どういう活動をしているか具体的に分からない
相談出来る所はない
困った時など、家族以外相談できない
情報がなくわからない
情報不足、全国から入ってこない
支援センター、建物は立派であるが、トップ職員は移動で2～3年で定着度が低く、職員が育ちづらい。
利用しないのでわからない
相談するところがわからない
周りにまじめな相談ができないので、あったら便利だと思う。
結局困った人は行政に相談せざるを得ないが難しいから、介護虐待や孤独死が絶えないのでは

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

そう感じる理由

今のところ、良い先生ばかりです。感謝しています。なので良い環境です。
内容は別としてやってるほうではと思います。
特に不満ない。
統廃合は残念ですが、学ぶ環境の確保はしっかり取り組まれていると思います。
教育には熱心だと思う。
児童は家にいないが登下校に大人が立って見守るように感じてる。
教育・スポーツが充実している。
世界的に見ると恵まれているので。
楽しく通学している。
静かな中で学習している
良い環境で学習していると感じる
学校、校舎が全体を観ても新しい。計根別も含む
学校、公共施設、スポーツ施設が整っている
学校の先生も、スポーツのコーチも、そして子ども自身も本当に一生懸命だと思う
学校も整っているし、良いと思う。
子どもが楽しく学校へ通っている

今年できた計根別学園などは、とても素晴らしい。
そう感じない理由
根室管内の中学生の成績が北海道で一番よくないと聞きました。
地元教員・道内教員ばかりでレベルの低い教育を感ずます。
人が少ない分できることできないことがたくさんでる。
統廃合により学校が減り、長い時間をかけて通学しなければならない児童生徒がふえている。
もったのびる子を後押しできない。
児童が少ない。
小・中の全国テストの平均が低い。学校後補修を力を入れてはどうか
教育費にあてる予算が他町に比べて少ない様に思う
児童に対してのレベルアップが遂行されていないと思う
子供の側に立って情熱を持った先生が育っていく環境を整備して欲しい。
全体の学力が低い
学生の信号無視や2人乗りなどを多く見るため。
グローバル化、適応力、正社員としての職を得るスキルは残念ながら競争原理社会を小中学生から学ばないと厳しい。道内の学力で底辺というのは、不名誉極まる。

問53 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

そう感じる理由
特に困っていることはありません。
以前より女性が強くなっている。
どんな仕事でも男女の温度差がない。
不平等とは思わない。
より一層、重要視する風潮になっていると思います。
昔に比べたらかなりよくなっていると思う。
男女が同じ仕事に就ける。
地域社会参加の女性が多くなっている。町内会活動の女性が多くなり役員等も増加。
当然なことだから
女性の働く場所の情報がよくテレビに放送されるようになった
女性の活躍が目につくようになって来た
近年、情報が入る事もあり、なっていると思う
ほとんどの事は男女がいっしょに参加できていると思います。
職場でも女性の上司がいる

そう感じない理由
雇用の場が少ない。
平等とはいっていてもそうはならないと思っているから。
女だと思って態度を変えてくる男の人がいる。
できることには力仕事もあるし、色々できないこともある。
男の仕事、女の仕事ってまだあると思うので。
職場のオーナーが平等に扱っていないから。
仕事となれば男女平等って事はないと思う。断然男が優位と感じる。
女性にお茶汲みをさせている所が多い。
給料が違う
女性自身の向上心の欠如。
表面的には男女平等社会の仕組になっていると思うが、現場ではまだまだです
給料は旦那さんの方が多いかもしれないが、女性の方が、本当によく働いている（パート2,3個かけ持ちで）
働く女性に対する男性の育児協力が足りない
まずは、役場内から見直すのはどうですか？女性の役付の方が少ないような・・・
まだまだ、男性の立場が強い
女性の方が子どもを産んだ後に、全時間働くのが難しい
中標津では働く女性が多いけれど、ほとんどがパート・アルバイト
男女平等の思想が育ちずらい、又育児休暇もとりにくい環境である。
特に妊娠・出産に関して理解が不足していると思う。
性別で仕事をできるできないと判断しないでほしい。

問57 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

そう感じる理由
身近に感じますが視察等は同じ人が何度も参加し一般の募集はなぜしないのかと何時も思います。
日本国全体の問題であります。
近い土地に住んでいるので。
署名活動をよく見る。
親や兄弟達がいたとこなので返還願う。四島無理なら一島でもと思うこのごろです。
イベントなどで目にする機会は道央圏より多い。
島民の子孫だから。
学校でも学習しているし施設もある。

元島民だから
 中標津にとって重要な場所だと思うので。
 早く返還されるように思っている
 根室に長く住んでいたため、身近に感じていた
 子供の頃から聞いているから
 どう見ても日本の領土と思うから、北方領土の山が島がすぐ手の届くところにあり、先祖のお墓があり島から引き揚げて来た人が身近にいるのだから
 海岸から見えるほど身近にあり、テレビなどでとりあげているから
 署名をする。主催の落語を聞いたりする。
 政治的解決を望む

そう感じない理由

若い世代ほど関心がないと思います。学校でちゃんと教育しないと。
 出身が違うこともありますが、身近に考えたことはないです。でも署名はしています。
 問題は知っていますが、根室市ほど意識が高いとは思いません。
 興味がない。
 小さい頃からよく、「返せ！北方領土！」みたいな看板は見たりしたけど、問題自体深く知らない。
 進まない期間が長すぎた。
 北方領土がどこの国のものでも関係ないから。
 返還の解決に近づいているとは全く感じられず無力感しかもてないから。
 戻っても戻らなくても町としての利点を感じないから。
 戦後70年、日本人が味わった悲哀をロシア島民に負わすのはどうか。
 現状の日・口間の交渉では北方領土の返還は無理、国連等を通じ交渉の方法を変えるべき。
 ロシア側が一歩も引かない状態だし、どうやっても意味が無いと思うから薄れてきた
 その時々に関与に参加するほどもっと身近な取り組みがない
 ロシアを身近に感じないし、領土返還の期待が持てない
 本当に必要ですか。返還できたらどうするつもりですか。共存で良いのでは。
 別にロシア人が住みついている所を返還してもらわなければならないと思う
 問題についての動き情報等が入ってこない
 高齢化により体験者が減少している。体験を語る人が居なくなる
 看板などでよく見かけるが、行動を見たことがない。
 一部の人しか関わっていないように思う。

問60 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由

広報誌で情報が得られていると感じているので。
 広報やHPは見やすく、又は読みやすいので。
 窓口の女性職員がさわやかで良い。
 町内会回覧で知る。
 十分頑張っていると思います。
 知りたい情報は親切に丁寧に教えていただけていると感じます。特に私たちの年齢には。
 議会だよりや広報等で見せて頂いております。
 広報 回覧 FMはな
 相談に行けば、ほぼ解るので
 今のところ、困っていません
 災害のメール配信などあるから
 町政だよりで知る
 今の生活に程よい情報です
 議会だよりや広報「なかしべつ」外、色々な情報が折々に届けられているから
 不便を感じていないから
 必要に応じてくりかえして情報をみています。
 facebookが良い。さらに強化頂きたい。
 月一の情報誌で得られるが多くの人には読みもせず捨てているのでは。

そう感じない理由

自分があまり知ろうとしないので。
 情報とは何か目に見えず耳に聞こえて来ない。
 無愛想な人がいたり、早口で説明して、はい終わり！！な所がある。
 暗くて入りにくい。
 町のホームページを見ても何時から利用できるかわからないので。
 広報紙だけでは、物足りない。かと言って他に手段は？
 親切に感じない
 聞きづらい
 広報誌等で情報を得られるが、決定後に知る情報が多い。協議段階の事例も知りたい
 町の情報を「FMはな」で代行している事を町の職員から聞いたが、郡部では「FMはな」を受信する事が出来ないことも知ってほしい
 自己申告しないと情報が得られないこと
 町役場にあまり興味はない

他の市町村の広報を参考にみるのも良いと思いますが。
魅力が無い

問61 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由

時々役場に行くけど、困ったことはないし、案内の男性がいましたよ。
対応がとても親切だった。
町民への挨拶が良い。
受付の電話の方はもちろん、窓口の方や担当の方も皆さん親切で丁寧に対応して下さいます。
掲示されているので判断しやすいし聞きやすいので良い。
わかりやすい。
あまり行かないのでわからにですが、行って困ったことはない。
私は支所ですがとってもやさしくて親切ですよ。
利用して実感しているから
窓口は分かりやすいし、対応してくれます
わかりやすいが、カウンターの後ろから圧迫感を感じる
通路に沿ってある
職員の方は、声かけも良く対応も心良いです
銀行みたいに番号カードを取って、順番にしてみてもどうですか？
昔にくらべて親切な対応です
計根別支所は親切です。
わかりやすいとはいえないが、だいたい同じ窓口しか利用しないので。
人柄が良い

そう感じない理由

笑顔で接してくれる方が良いです。（特に窓口対応の方々）
福祉関係の窓口がわかりづらかった。
その課によって、怠慢の課もあるが、とても親切に教えてくれる課もある。
上の看板だけではどこに行けばいいのかわかりにくい。
あいている時間が短い。夜間の利用が出来ない。
住民課以外、誰に声をかけて良いかわかりづらい。
全て丸見えでプライバシーが全く無いと思う。
笑顔がなく暗い。パソコンに向かってる人おしゃべりしている人が多い。
対応が田舎ならではの甘さがあり、手続のとき二度手間、三度手間でも足も運んだことがあるから
節電の為か役場全体が暗く感じます。1Fの窓口もゴチャゴチャの印象です
たまに迷う時がある。静か過ぎて怖い。
窓口の方はあまり笑顔がない、親切でもない
課ごとの取り扱い内容が良くわからない
なかなか返事がないです
不快な思いをした事が何度もあるから
もっと笑顔、声があってもよいと思うが難しいのですか。
窓口で尋ねなくても判るようにしてほしい。
親切な人もいるが説明が雑だったり、ちょっと怖い人もいた。
大学時代は東京都八王子に住んでいましたが、どの役所事業所も民間レベル接客サービスをしていたので、ものすごい格差を感じた。
3年くらい前窓口でイヤな言い方をされた。女性なのに。ガッカリでした。

IV 參考資料

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中標津町では、今後のまちづくりを進めるうえで指針となる第6期中標津町総合発展計画に基づいて各種取組みを計画的に推進しております。

本調査は、町の取組みに対する町民の皆様の声を調査し、今後の町政に反映することを目的として、町内にお住まいの20歳以上の方の中から500名を無作為に抽出してお願いしております。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

まちの将来像「空とみどりの交流拠点・中標津」を目指し、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいという趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

平成27年5月

中標津町長 小林 実

-
1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
 2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、おまちがえのないようお願いいたします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
 3. ご記入いただいたアンケートは5月31日（日）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
 4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

中標津町 総務部 企画課

電話：0153-73-3111（内線327）

FAX：0153-73-5333

あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 20歳代 4. 50歳代 2. 30歳代 5. 60歳代 3. 40歳代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 5. パートタイム・アルバイト 2. 製造業・建設業 6. 主婦(夫) 3. 卸小売業・飲食業 7. 無職 4. その他サービス業等 (公務員を含む) 8. 学生・その他
(4) あなたの通勤・通学先	1. 町内 2. 町外 3. 該当なし・その他
(5) あなたの家族構成	1. 夫婦(子どもはいない) 4. 単身(あなた1人) 2. 親子(2世代) 5. その他 3. 親・子・孫(3世代)
(6) あなたの出身地	1. 中標津町 2. 根室管内 3. 道内 4. 道外 5. 国外
(7) あなたの居住地	1. 中標津市街 2. 中標津町農協区域 3. 計根別市街 4. 計根別農協区域
(8) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上20年未満 4. 20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 3. どちらかといえば感じていない |
| 2. どちらかといえば感じている | 4. 感じていない |

問 3 定住意向についてお伺いします。
①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない |
|--------------------------------|--------------------------------|

※①で「1.」または「2.」に○をつけた方は
②にお答えください。

※①で「3.」または「4.」に○をつけた方は
③にお答えください。

②住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

③住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境がよいから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. 職場があるから
8. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
9. 友人など人間関係があるから
10. 町の将来に希望がもてるから
11. 特に理由はない
12. その他

(具体的に：)

1. 日常の買い物が不便
2. 道路事情や交通の便が悪い
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒
4. 子どもの保育・教育のことが心配
5. 町内に適当な職場が少ない
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる
8. スポーツ施設や文化施設が不十分
9. 生活基盤施設の整備が遅れている
10. コミュニティ活動など住民の交流がない
11. 情報通信基盤が整っていない
12. その他

(具体的に：)

※ 質問には、あなたの尺度であなたの感じるままにお答えください。自分が関わっていない部分などでわからない場合は、周囲の状況をもとに考えてお答え下さい。

中標津町全体についてお伺いします。

問 4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
<input type="radio"/> 満足している理由	<input type="radio"/> 満足していない理由

問 5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 関心を持っている | 3. どちらかといえば関心を持っていない |
| 2. どちらかといえば関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<input type="radio"/> そう感じる理由	<input type="radio"/> そう感じない理由

問 7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康で安心して暮らせるまち | 6. 広域的な拠点都市機能が集積したまち |
| 2. 酪農や商工業など活力ある産業のまち | 7. 教育文化スポーツ等の水準の高いまち |
| 3. 自然と共生する美しいまち | 8. 多くの人を訪れる観光・交流のまち |
| 4. 便利で快適に暮らせるまち | 9. その他 |
| 5. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち | (具体的に：) |

生活環境についてお伺いします

問 8

中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 9

道路や河川などが適切に維持管理(側溝清掃、草刈りなど)されていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 10

自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 11

公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>	○満足していない理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>

問 13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 広域幹線道路(国・道道)の整備充実 2. 町内幹線道路の整備充実 3. 地区内の身近な生活道路の整備充実	4. 中標津空港の航路の充実 5. 路線バスの利便性向上 6. その他(具体的に:)
---	---

問 14 安定して水道水が利用できていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>	○そう感じない理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>

問 15 墓地の施設に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>	○満足していない理由 <div style="border: 1px solid black; height: 80px; margin-top: 5px;"></div>

問 16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 道路の改良、舗装 2. 道路側溝の整備 3. ガードレール等交通安全施設 4. 下水道・排水路 5. 駐車場 6. 公園、子どもの遊び場(ひろば)	7. 集会所 8. 高齢者福祉施設 9. 障がい者福祉施設 10. 商店・スーパー 11. 街路灯・防犯灯 12. その他(具体的に:)
---	--

問 23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 消防・救急体制（消防署）の充実 | 7. 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実 |
| 2. 消防団の体制の充実 | 8. 災害時の情報連絡体制の充実 |
| 3. 防火・防災意識の啓発活動の充実 | 9. 河川など災害発生危険箇所の整備 |
| 4. 消火訓練・避難訓練の充実 | 10. その他 |
| 5. 地域における自主防災組織の育成 | (具体的に：) |
| 6. 防災ボランティアの育成 | |

問 24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

環境問題への取り組みについてお伺いします

問 26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 意識している | 3. どちらかといえば意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 4. 意識していない |

問 27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. どちらかといえばしている | 4. していない |

産業振興についてお伺いします

問 28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. どちらかといえば参加している

3. どちらかといえば参加していない

4. 参加していない

問 30 地元で買い物をすることを意識していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 意識している

2. どちらかといえば意識している

3. どちらかといえば意識していない

4. 意識していない

問 31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 商店の専門店化や品揃えの充実

2. 歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備

3. 地元商業者主体の共同店舗等の整備

4. 休業日、営業時間の改善など

5. イベント、売出し等共同事業活発化

6. 駐車場や自転車置き場の整備

7. 後継者（若手経営者）の確保・育成

8. 核となる大型店の誘致

9. その他

（具体的に：

）

問 32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 美しい景観の保全・整備 | 7. 観光ルート設定や観光案内標識整備 |
| 2. 既存観光施設の充実 | 8. 町外への観光PRや情報提供の強化 |
| 3. 地域特色のある観光・体験施設整備 | 9. 地域性のある各種イベントの充実 |
| 4. 観光サービス施設の整備 | 10. 来訪者へのサービスの向上 |
| 5. 地域特色のある料理、土産品の開発 | 11. その他 |
| 6. リゾート施設やテーマパークの整備 | (具体的に：) |

問 34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している	3. どちらかといえば満足していない
2. どちらかといえば満足している	4. 満足していない
○満足している理由	○満足していない理由

保健・医療・福祉についてお伺いします

問 35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している	3. どちらかといえば満足していない
2. どちらかといえば満足している	4. 満足していない
○満足している理由	○満足していない理由

問 36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 医療機関の充実 | 7. 健康づくり活動の充実 |
| 2. 救急・休日・夜間医療の充実 | 8. 健康に関する知識の普及 |
| 3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 9. 保健師などの訪問活動の積極的推進 |
| 4. 各種検診の充実 | 10. 食育や食生活改善運動の推進 |
| 5. 感染症対策の充実 | 11. その他 |
| 6. 健康教育や健康相談の充実 | (具体的に：) |

問 37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 保育所の充実	5. 子どもの遊び場など公園の整備
2. 子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	6. 児童館の整備
3. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	7. 児童虐待の予防・解消対策の推進
4. 学童保育の充実	8. その他
(具体的に：)	

問 39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 生きがいづくりや働く場の充実	5. 介護保険サービスや施設の充実
2. 安心して利用できる道路づくりや施設づくり	6. 高齢者保健福祉サービスや施設の充実
3. 高齢者と若い世代の交流機会の充実	7. 地域で見守るような住民の助け合い活動の育成
4. 学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	8. その他
(具体的に：)	

問 41 障がい者サービスが整っていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 相談窓口や情報提供の充実 2. 障がいの早期発見と教育・療育の充実 3. 在宅支援サービスの充実 4. 入所施設やグループホーム等の整備 5. ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの 推進	6. 就労に向けた支援や雇用環境の整備 7. 障がいへの理解や交流 8. 社会参加の促進 9. ボランティア活動などの地域福祉活動の促進 10. その他 (具体的に：)
--	--

問 43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。
 (1つに○印を付けて下さい。)

1. 毎年受けている 2. 毎年ではないが定期的に受けている	3. 定期的ではないが受けたことがある 4. 受けたことがない
-----------------------------------	------------------------------------

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問 45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 46 青少年を見守る活動に参加していますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 現在、参加しているし、今後も参加したい

2. 現在、参加してないが、今後は参加したい

3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 現在、参加してないし、今後も参加するつもりはない

問 47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 家庭のしつけをとおした思いやりの
心の育成

2. 地域ぐるみでの子どもの育成活動

3. ボランティア活動に重点をおいた教育

4. 地域特性や地域の人材を活用した特色
ある教育

5. スポーツに力を入れた教育

6. 音楽や美術に力を入れた教育

7. 情報化に対応できる教育

8. 基礎的な学力の向上を目指す教育

9. 食育に関する教育

10. いじめなどの心の問題への対応

11. 子どもの安全・安心対策の強化

12. その他

(具体的に：

)

問 48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない

2. どちらかといえば取り組んでいる

4. 取り組んでない

問 49 生涯学習情報誌「らいふまっぷ」から知りたい情報は得られていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 得られている

3. どちらかといえば得られていない

2. どちらかといえば得られている

4. 得られていない

問 50

生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. 音楽・美術などの鑑賞機会の充実 |
| 2. 指導者や相談体制の充実 | 7. 学習・文化活動等の発表機会の充実 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 8. 学習・文化団体への支援 |
| 4. 文化施設など活動の場の整備充実 | 9. 文化イベントの企画・開催 |
| 5. 史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 | 10. その他
(具体的に：) |

問 51

運動やスポーツに取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 4. 取り組んでない |

問 52

スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 指導者や相談体制の充実 | 5. スポーツ団体への支援 |
| 2. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. スポーツイベントの企画・開催 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 7. その他 |
| 4. スポーツ施設など活動の場の整備充実 | (具体的に：) |

人権・男女共同参画についてお伺いします

問 53

男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

<p>1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる</p> <p>○そう感じる理由</p>	<p>3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない</p> <p>○そう感じない理由</p>
--	---

問 54

男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 女性の働く場所の充実 | 6. 男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 |
| 2. 保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 7. 町の審議会や委員会などへの女性の登用 |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | 8. 男女共同参画についての学習の充実 |
| 4. 女性の就労条件など企業に対する啓発 | 9. その他 (具体的に：) |
| 5. 女性のための職業訓練の機会の提供 | |

地域間交流についてお伺いします

問 55 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 56 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思えますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 国内外の姉妹・友好都市交流 | 6. 案内板や刊行物等の外国語併記 |
| 2. スポーツ、文化を通じた人的交流 | 7. 地域の歴史等を通じた交流 |
| 3. 文化などを紹介するイベント | 8. その他 |
| 4. 町内や隣接圏域の外国人との交流会 | (具体的に：) |
| 5. 学校教育・生涯学習などでの外国語教育 | |

北方領土問題についてお伺いします

問 57 北方領土問題を身近な問題として感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる	3. どちらかといえばそう感じない
2. どちらかといえばそう感じる	4. そう感じない

<input type="checkbox"/> そう感じる理由	<input type="checkbox"/> そう感じない理由
<div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>

取り組みに対する費用負担についてお伺いします

問 58 これまでの設問4から設問57において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 賛成である | 4. どちらかといえば反対である |
| 2. どちらかといえば賛成である | 5. 反対である |
| 3. どちらともいえない | 6. その他 () |

住民活動等についてお伺いします

問 59

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印を付けて下さい。）

- 1. 現在、参加しているし、今後も参加したい
- 2. 現在、参加していないが、今後は参加したい
- 3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
- 4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない

【①で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。】

② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

- 1. 町内会や自治会などの活動
- 2. 公園・道路の清掃や花壇の世話
- 3. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
- 4. 農協や商工会などの活動
- 5. 老人クラブや女性団体、子ども会などの活動
- 6. 子育て支援に関する活動
- 7. PTA、青少年の健全育成に関する活動
- 8. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
- 9. 伝統芸能の保存に関する活動
- 10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- 11. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
- 12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
- 13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
- 14. 自主防災や災害援助に関する活動
- 15. 交通安全に関する活動
- 16. パトロールなど防犯に関する活動
- 17. 国際交流、国際協力に関する活動
- 18. その他（具体的に： _____）

中標津町役場についてお伺いします

問 60

町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 61

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる
2. どちらかといえばそう感じる } ↓
○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない } ↓
○そう感じない理由

将来人口目標についてお伺いします

問 62

第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成27年4月末現在24,063人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思えますか。

Blank area for writing answers to Question 62, featuring horizontal dashed lines for text entry.



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日 制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】シラカバ



【町の花】エソリンドウ

発 行 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 標津郡中標津町丸山2丁目22番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp